



報告事項

報告事項 1

協議会議長

福永 栄一

- 【社団日本 L】 第 1 回理事会議事録（2021/8/2 開催） P4～5
- 【社団日本 L】 第 1 回全国ガバナー会（社員総会）議事録（2021/8/2 開催） P6～11
- 【社団日本 L】 第 1 回執行理事会議事録（2021/8/23 開催） P12～44

報告事項 2

LCIF コーディネーター

橋本 充好

10 月 19 日（火）西日本水害復興支援委員会開催（岡山市内）
「真備町復興支援に対する LCIF 交付金事業進捗状況について」

- ①防災コミュニティハウス建設事業
- ②防災標識と防災碑の設置事業

2018 年発生の豪雨災害での LCIF 補助金となる。既に LCIF より着金している。
現在、下記口座にて残高を確認している。
取引銀行：中国銀行 大供支店
口座名義：西日本水害対策委員会 委員長 太田 健一
通帳残高：30,205,057 円（※2021.10.18 現在）

- ①防災コミュニティハウス建設事業
工期：2021 年 8 月 18 日～2022 年 2 月 20 日
ボーリング調査費用：234,300 円 ※2020.10.16 に倉敷真備 LC へ支払い済
第 1 回目の支払い⇒着工時 1600 万円 ※2021.8.31 に(株)中本屋工務店へ支払い済
第 2 回目の支払い⇒着工時 1600 万円
第 3 回目の支払い⇒着工時 1616 万 2400 円

※倉敷市からの地域集会所設置補助金 800 万については事業完了後の交付となる。

- ②防災標識と防災碑の設置事業
工期：2021 年 11 月～ ※2022 年 2 月倉敷市への寄贈予定
2020.1.16 LCIF より 491 万 6990 円交付（MCAT）
第 1 回目の支払い⇒着工頭金 100 万円の支払い依頼を受け、10 月 19 日の会議の際に、
見積予算書と支払い先情報をいただくよう倉敷真備 LC へ依頼中。

竣工お披露目会について、運営主体、招待者、費用負担について話があった。

- 336 複合地区西日本水害復興支援委員会次第 P45
- 申請資料 P46～47

11 月 11 日（木）MD336 内 LCIF 推進会議開催（岡山市内）
出席対象者：準地区 LCIF コーディネーター、LCIF キャンペーン 100 コーディネーター
準地区 LCIF 担当委員長

報告事項 3

GMT コーディネーター

真鍋 隆

SCP・FWT コーディネーター

有本 みどり

第 2 回全日本スペシャルティクラブ FWT 会議が Zoom により 10 月 13 日に実施。

奉仕のすそ野を広げるためにも会員増強は欠かせない事である。

各クラブに退会者数を予測していただき、今期末に最低でも純増1が達成出来るようガバナー、GMT、RC、ZCと共にご協力をお願いしたい。

GMT 報告書（2021 年 9 月末現在）	P48
国際本部集計 クラブ数・会員数	P49

報告事項 4

GLT コーディネーター	池原 堅
--------------	------

10 月 12 日（火）第一・第二副地区ガバナー研修会開催（岡山市内）
講師：MD330 GLT コーディネーター 濱野 雅司氏

11 月 22 日（月）公認ガイディングライオン講習会開催（岡山市内）
講師：MD330 GLT コーディネーター 濱野 雅司氏
申込締切日：11 月 12 日（金）参加費：5,000 円（※当日受付時にお支払いください）

報告事項 5

GST コーディネーター	澤 辰水
--------------	------

第 1 回 8 複合地区 GST コーディネーター会議議事録（2021/8/18 開催） P50～53
第 2 回 8 複合地区 GST コーディネーター会議議事録（2021/9/29 開催） ※未配信

第 3 回 8 複合地区 GST コーディネーター会議議事録（2021/10/6 開催） P54～64

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード

現時点で下記 3 クラブについて推薦状を受理。
複合地区 GST コーディネーターが推薦事業 1 件を選考し、10/31 までに国際本部へ提出。
1 月に国際理事会奉仕事業委員会が受賞クラブを選定し、受賞クラブへ通知する。

A 地区：土佐清水 LC 「土佐清水に生まれてくれてありがとう」事業
B 地区：岡山ハーモニー LC 「AMDA 子ども食堂」事業
D 地区：鹿島島根 LC 「島根原子力発電所構内での献血のサポートと推進」事業

報告事項 6

大会参加・迎接・プロトコール委員会委員長	福代 明正
----------------------	-------

モントリオール国際大会について

OSEAL 調整事務局からの通達 P65

報告事項 7

アラート委員会委員長	高岡 英治
------------	-------

第 1 回 8 複合地区アラート委員会議事録（2021/9/10 開催） P66～70
第 1 回 8 複合地区アラート全体会議議事録（2021/9/24 開催） P71～78

報告事項 8

ライオン誌日本語版委員会委員

玉浦 巖

8/17 第1回 WEB 会議

1. 2021～2022 年度 委員長 編集長互選
2. ライオン誌日本語版の運営…今年度から社団会計に合流
3. 印刷版関係 4. ウェブマガジン関係 5. 主要記事予定 6. その他…サポーターの委嘱

9/9 第2回 WEB 会議

1. 7 月度会計報告.
2. 理事会方針書と公式版ライオン誌の発行状況
3. 印刷版関係 4. ウェブマガジン関係 5. 主要記事予定 6. その他…小委員会設定

10/7 第3回 WEB 会議

1. 7～8 月度会計報告 2. 印刷版関係 3. ウェブマガジン関係 4. 主要記事予定
5. 小委員会報告…ウェブマガジンの普及とその問題点を検討した
6. その他…ライオン誌サポーター・アンケート

第3回会議報告書（2021/10/7 開催）……………P79～81

報告事項 9

YCE・国際関係委員会委員長

高橋 淳

- 第1回8複合地区 YCE 委員会議事録（2021/9/29 開催）……………P82～87
- 第1回336複合地区 YCE 委員会議事録（2021/10/18 開催）……………P88～91

報告事項 10

青少年ライオンズクエスト委員会委員長

酒井 公一

第1回336複合地区青少年 LQ 委員会議事録（2021/9/28 開催）……………P92～97

報告事項 11

IT・MC・情報特別委員会委員長

大木 寿之

今後の議事録についての提案

一般社団法人 日本ライオンズ 第1回理事会議事録

開催日時：2021（令和3）年8月2日（月）14：00～14：55

場 所：ウインクあいち1101会議室（愛知県名古屋市）

理事総数：22名 / 監事総数：4名

出席者数：21名、欠席：1名（議決権行使書あり）

村木秀之、鶴嶋浩二、下間俊悦、山川洋、山本基博、三宮秀介、福永栄一、古川隆、森川明治郎、中谷宣巨、伊藤明彦（WEB）、石橋貞（WEB）、仁科良三、松岡勲、岡村聖爾、森口孝行、川島正行、渡部雅文（WEB）、藏大介（WEB）、山田實紘、鈴木誓男

出席監事： 竹下直義（WEB）、高橋克文、福田恵太、吉見章一（WEB）

オブザーバー： 識名前理事長、石原副理事長、藤川前専務理事、

14：00、司会藤川清幸前専務理事より開会。

1. 仮議長の選出。

司会者に一任を受け、識名安信Lを仮議長に指名。拍手。

2. 識名仮議長により、定款34条、同22条を確認。

第1号議案 理事長並びに執行理事の選出について

識名仮議長から新理事の中から理事長として立候補する理事の自薦他薦の有無について挙手を求めたところ、森川明治郎前常務理事及び仁科良三前副理事長から立候補の表明があり。各候補者の所信声明後、全理事出席者による無記名投票による選挙を行い、新理事長を決定する方法を説明した。

投票方法について、藤川前専務理事から説明があり。

会場出席理事（17名）には紙による無記名投票、ウェブ出席理事（4名）にはウェブ会議システム（ZOOM）に付随した電子投票機能（投票者が特定されない）を利用すること説明があった。また、理事1名が欠席の為、当日FAXにて議決権行使書を受領しており、それには選出が選挙になる場合には白票とする旨記載があったことの報告があった。

投票はまず先に会場出席者に対して投票用紙が配布され、候補者名を各自で記入の上、投票箱に投入した。次にWEB出席者の電子投票の手順説明と模擬投票のテストが実施された後、本投票が行われた。WEB出席者の集計結果は会場内モニターに表示され（%と票数）口頭報告もあり。合算した投票結果は会場内白板に書き出された。

理事22名による投票結果は；

A. 森川明治郎	8 票	WEB	2 票	計 10 票
B. 仁科 良三	9 票	WEB	2 票	計 11 票
C. 白票	1 票（議決権行使書）			

よって、仁科良三が新理事長として選任された。以後仁科議長が議事進行を行った。

仁科議長から、新執行理事会構成員の指名について候補案があるので、各人の同意を得てから発表されたいとコメントあり。10分の休憩に入る。

再開後、仁科理事長から現議長を中心とした新執行部理事会構成員の発表があり。

副理事長3名：MD333 山川洋、MD337 古川隆、MD335 松岡勲(前副理事長)

専務理事1名：MD330 村木秀之

常務理事5名：MD31 鶴嶋浩二、MD332 下間俊悦、MD334 山本基博、
MD335 三宮秀介、MD336 福永栄一

上記構成案についての賛同

を挙手で求め、賛成多数で可決。。

2. 第2号議案 2021-22 事業計画 及び予算案について

仁科理事長からの指名を受けて、藤川前専務理事が事業計画について説明。

質疑応答特になし。事業計画について挙手による賛同を求めたところ、
賛成多数で可決。

続いて予算案について藤川前専務理事からの説明。質疑応答特になし。

予算について挙手による賛同を求めたところ、賛成多数で可決。

14：55、仁科議長により閉会。

以上

2021（令和3）年8月2日

議事録署名人

代表理事 仁 科 良 三 【押印省略】

監事 竹 下 直 義 【押印省略】

監事 高 橋 克 文 【押印省略】

監事 福 田 恵 太 【押印省略】

監事 吉 見 章 一 【押印省略】

第 1 回全国ガバナー会（社員総会）議事録

日時：2021 年 8 月 2 日（月）13：30—16：00

会場：ウインクあいち 901 会議室 （名古屋市）

出席者：別紙参照

議事録作成：中谷理事 森口理事

議事録署名人：330-A 地区中井ガバナー、334-A 地区大山ガバナー

藤川専務理事

本日はご多忙のところ、ご出席頂きまして有り難うございます。

只今より 2021 から 2022 年度第 1 回社員総会を開催致します。出席者リストをご覧下さい。今年度の正社員の合計は 59 名と成ります。本日の出席者数は本人出席が 26 名、ウェブ、出席が 30 名、委任出席が 3 名、で定款 17 条、総正社員の過半数が出席していますので、総会が成立致します。また定款 18 条により決議は総出席社員の過半数をもって決します。はじめに理事長に挨拶を頂きます。識名理事長宜しく申し上げます。

識名理事長挨拶

皆さん今日は、今ご紹介頂きました理事長の識名安信です。MD337 沖縄、八重山ライオンズクラブ所属です。新年度に成り 1 ヶ月が過ぎようとしています。本当にご多忙の中ご出席頂きまして感謝致します。開催にあたり 334-A 地区の大山ガバナー、並びにキャビネットの皆様にはご協力頂き、本当に有り難うございました。

7 月に入り各複合地区で GMT の会議を行っています。ご存じの様に前年度は 66 クラブが解散、そして 10,858 名が退会し、4,690 名の減となりました。2015 年から 5 年間で約 280 近いクラブが解散致しました、そして 20,000 人の退会者が出ています。

ここで退会を食い止めなければならない、という一人一人が強い決意を持たなければならない。私達は戦後最大の試練を迎えています。終戦後立ち上がってきた先人の強力な精神力をもって、我々も立ち上がらなければならないのではないのでしょうか。他人の痛みを気づける心をもって行かなければ成らない時期ではないのでしょうか。私達に一般社団法人日本ライオンズも 6 年目を迎え色々な問題もあります、しかし大切な事はその問題に如何に取り組んで行くか、丁寧に 1 つ 1 つ議論を交わして行く事が求められています。単なるクレーマーではいけない、寛容な精神、友愛、総合理解の精神をもってライオンズらしい、そういった社団であって頂きたいと思います。そしてこの 1 年間の皆様の活躍を心から祈念致しまして挨拶と致します。

山田元国際会長挨拶

皆さん今日は、本日はこの暑い名古屋において頂き有り難うございます。

私は、週に 1 度国際本部とウェブでやりとりを行っています、今世界中のいろんな国ではこのコロナ禍だからこそ、ライオンズの力を借りたいと言っています。それに対応しているところです。現在キャンペーン 100 も、ウェブでいろんな事が出来るようになりました。キャンペーン 100 がようやく地に着いてきたというか、世界の人に理解されて来ました。3 年間だった期間がコロナにより 1 年間伸び、またキャンペーン 100 により集めたお金 300 億円の中からコロナ対策に使って来たからです。さて日本ライオンズが出来て 6 年目に入ります、今後しっかりした皆様が理事に入られ、ようやく 5 年たった中で定着してきたかなと思います。

しかしまだまだ色々な単一クラブには理解されて無いと言うか、知られていません。
もっともっとPRして行かなければなりません。
ライオンズも100年が経ち、進化して来ており、時代に合わせて行っています。しかし色々な単一クラブではライオンズがどの様に変化して行っているかわからないままアクティビティーや例会が行なわれています。そういった中でライオンズが面白くなり4,700名近くの方が退会しています。ライオンズに入っていて良かったと思う満足度が、会員の皆さんに伝わって居ません。創設の時から古い感覚がまだ残って居ることが原因かもしれません。私はこの1年間外国に行く事が出来ませんでした。執行役員、アポイント3回を行う中で、本当のライオンズを280ページ程度の本にまとめてみました、この本を読んで頂き、こんなに面白いのか、ライオンズって世界でこんな事をやってるんだと理解して頂ければ、またクラブ員に伝われば辞めるのは損だと思って頂けるのではないかと思います。この本を各キャビネット事務局に送りますので、各クラブ、役員に読んでもらいたいと思います。お役に立てばと思います。そして日本のライオンズをもっともっと改善して行って頂きたいと思います。日本のライオンズを世界の人が待っています。

藤川専務理事

本日のスケジュールの説明、第1議案終了後、別室で第1回理事会を行い、その後全国ガバナー会を再開見込みである。

識名理事長

社員総会開催、定款第16条社員総会の議長は理事長があたるとの説明、議事録署名人及び議事録作成人の指名、議事運営ルールの説明があり。
第1号議案、新理事、監事の選出について、藤川専務理事より説明が有り、その後質問、意見を求めるが出席者から質問、意見とも無く、議長により一括採決が提案され全員同意した。
新理事、監事の選出について全員に諮り、理事長より賛成の方は挙手を求められた。
賛成過半数により、新理事、監事の選出は（案）の通り承認された。
その後識名理事長より第1回目の理事会開催、並びに社員総会再開時間について説明が有り、社員総会は一時休会となった。

（再開）

識名理事長

第1回理事会報告があり。理事長選任については理事の互選であり、新理事長選挙が行われ、理事長に仁科良三前副理事長が選出された。今後は仁科新理事長が議長となり議事進行をお願いする。

仁科新理事長

只今別室におきまして1回目理事会を行いました。そして選挙にて、私が新理事長に選出されました。選出されました以上は精神誠意一般社団法人日本ライオンズの発展の為にしっかりリーダーシップを取り尽力して行きたいと思っています。
私はライオンズクラブに感謝しています。私は40年ライオンズクラブに所属しています。来年は、日本にライオンズクラブが来て70年になります。
山田元国際会長の本も読ませて頂きました、今後は楽しいライオンズ活動に行きたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。
それでは第1回理事会の報告をさせていただきます、まず私が理事長につきまして、副理事長には2年理事からL.松岡（MD335 元議長）、1年理事からはL.山川（MD333 議長）、L.古川（MD337 議長）、

正副4名で今期はやって行きます。

また専務理事にはMD330議長のL.村木1年理事にお願いしました。それは日本にライオンズの灯が灯って2022年3月で満70年になります。そのアニバーサリーを思い、MD330のL.村木に専務理事をお願いしました。また常務理事は5名の現議長（MD331 L.鶴嶋、MD332 L.下間、MD334 L.山本、MD335 L.三宮、MD336 L.福永）にお願いしました。また今期の事業計画、並びに予算案についても理事会にてご承認頂きました。

以上をもちまして第1回理事会の報告とさせていただきます。

それでは只今より、社員総会の議案、2号議案2020-21年度計算書類及び事業報告について藤川前専務理事から説明をお願い致します。

藤川前専務理事

お手元の資料の2号議案、事業報告について、今回は皆様ご承知の通り殆どがウェブによる開催でした。資料2ページわたりますが各委員会はこの様に行われました。続きまして2号議案の会計報告書ですが、はじめに貸借対照表について、正味財産の増減計算書、財産目録、オリンピック・パラリンピック特別会計、アラート委員会の特別会計その他残高証明書です、以上で2020-21年度事業報告並びに計算書類についての報告と致します。

仁科新理事長

藤川前専務有り難うございました。それでは続いて高橋監事、監査報告をお願いします。

高橋監事

まずは会計報告から致します、8名の監査委員の皆様と7月15日監査致しました、会計につきましては、適正に処理が行われていますという8名の印鑑をついた書類が有ります。それから私ども監事が4名います、皆様お手元に監事監査報告書が有ると思いますので、それをご覧下さい。これは日本ライオンズの定款25条、52条に基づき私ども4名の監事が情報交換を行いながら作成したもので、ここで監査の1、2は会計の監査のことでして、3からは法人の事業に沿った事が書かれています。執行理事会や理事会の在り方、さらに検討する必要があります。4は今期運営組織の在り方について、年度の切り替えについては次期役員人事について、各複合地区次期理事予定者による準備理事会が開催出来る様に、そして事業計画及び予算案の検討を早期に行って頂きたいのです。また、7月1日から第1回目の社員総会までの1月間の委員会活動について、新理事招請により会議が行われなければならないところが、旧役員にて行われるという矛盾を解消出来る様にして頂きたい。また5は災害支援について支援の範囲、優先順位をアラート中で支援詳細規則を作るべきです。6は事務所運営についてベテラン職員の退職後未だに補充されて居ない、職員の疲弊が感じられるので、速やかに職員採用をするか業務の適性分掌する事が望まれます。

仁科新理事長

有り難うございました。只今高橋監事より説明が有りましたが、何か質問がありますか。337-E地区宮川ガバナーどうぞ。

337-E地区宮川ガバナー

1年間お疲れ様でした、会議の総括、委員会の総括、成果について触れて頂きたい、また事業報告についてもそうです。337-E地区の水害に対して大変お世話になりました。感謝申し上げます。監査報告にあります支出明細について、目的外への支出とのバランスについて支出の基準を明確に願います。また、アラート委員会支出報告について、預金通帳のコピーでなく、残高証明をつけてください。

藤川前専務理事

質問有り難うございます。事業内容についてはこの後各委員会報告を行います。
アラート委員会の支出についても、アラート委員会より報告致します。
また、次年度の執行部にも申し送り致します。

仁科新理事長

他にご質問は有りますか。

福永常務理事

MD336 から選出されました福永です、宜しくお願いします。
6月30日の社員総会において、スペシャルオリックス広島大会の承認について承認されたと言う事ですが、MD336 への委託文書をお願いします。
支援金については1クラブ5,000円をお願いします。

藤川前専務理事

その事については、6月30日の理事会と社員総会にて承認して頂いているので、前年度承認頂いたと言う事で実行していただければ良いと思います。

仁科新理事長

それでは、2号議案について、また監査報告を含めて承認頂ける方は挙手をお願いします。
挙手及び委任状を含め過半数をこえていますので、承認されました。
それでは3号議案、4号議案について、藤川前専務理事から説明お願い致します。

藤川前専務理事

まず3号議案事業計画案ですが、会議の開催、集合会議は何回か、個別の各委員会は各委員会にて、日本ライオンズと他団体の協定などについては、執行理事会にて協議を行います。
まず社員総会は年4回、理事会は年6回、委員会は合計年46回 マーケティング委員会ですが、殆どライオン誌作製委員会年12回開かれ、全てがウェブによる開催でした。
続いて収支予算案ですが、事業計画を元に予算を組んでみました。収入の部ですが8万人で組みました。国際協会の補助金も会員減少に伴い減少しますが、前期は繰越金を取り崩し致しましたが、今期していません。支出の部ですが、まずライオン誌の印刷費はページ数を減らしコストを抑えて出版する様にしています。各委員会も旅費の削減を行う様に致しました。
また事務費の中で大きく減額になっているのが人件費です、先ほど監事報告にも有りましたが、職員の退社後補充をせず、業務を一本化して業務をスムーズ行う事、またウェブの活用等リモートワークを取り入れ人件費を抑えることで黒字の予算となっています。
以上でございます。

仁科新理事長

はい有り難うございました、現在こういうコロナ禍ですから、スタートはウェブ会議となると思います。生命が最優先ですがライオンズとしての活動の手は緩めないという方針です。
何かご質問が有りますか。三宮さんどうぞ。

三宮常務理事

今年度 MD335 の議長を拝命しました三宮と申します、どうぞ宜しくお願い致します。
只今の予算案、別に何も質問は有りませんが、通常次年度の予算は次年度を担当する理事、

執行役員が組んで案を出されますが、日本ライオンズでは慣例でこの様形になっており、先ほど高橋監事の話にも有りましたが、次年度からはこういう事は改めて行く必要が有るかと思います。それと MD336 福永議長もおっしゃっていましたスペシャルオリンピックスへの支援につきましては、私も長い間携わって来ていますので、宜しくお願い致します。ただ日本ライオンズの社員総会にて決議して下へ降ろしていくのでは無く、各 MD のガバナー協議会でも議論して頂きたいと思います。

仁科新議長

はい、有り難うございました、他に何か質問がありますか。

はい、下間議長宜しくお願いします。

下間常務理事

識名前理事長には 2 年間、大変お疲れ様でした。

私は、今回が 2 回目の社員総会ですが 1 つ感じた事が有りまして、それは今回第 1 回目の総会で、まだ理事長が決まって無いと言う事でした。

今日の理事会で立候補者を募り、その場で選挙を行うと言っても 22 名の理事がいて今回は 2 名の立候補者でしたが、私は 2 人共あまり知りませんでした。

何時もこの様に行っているのですか。前もって決めておくべきでは無いでしょうか。

監事の監査報告でもあった様に、7 月からすぐに動けるようにするべきだと思います。

もう一つ、ガバナーにはサーバントリーダーを目指せと言いますが、日本ライオンズではトップダウンのイメージが強いと思います。

日本ライオンズの仁科理事長には、サーバントリーダーでお願いします。

仁科新理事長

はい有り難うございました、来年はその様に出来る様にしたいと思います。

藤川前専務理事

はい、今までは議長連絡会が有り、その中に世話人の方がおられ、その方が暗黙の了解で理事長となっていたが、今回はウェブ会議で意思疎通が成されなかった為、また定款などにより社員は 6 月末で決まりますが、任期は事業年度が始まってからなので、7 月 1 日から社員になる、またその後に社員が理事を選任して理事会にて理事長が決まるという事で時間のずれが起こり、今回の様な事になるわけです。

私もこの様な流れを、何時か変えなければいけないと思っていましたので、今期の執行部の皆様に私からもお願い申し上げます。

仁科新理事長

先輩の出来なかった事をやるという事は大変ですが、思いは一緒ですから何としてもやりたいと思います。他に何かありますか、無いようでありますので賛否を聞きたいと思います。3 号議案及び 4 号議案賛成の方は挙手をお願いします。賛成多数で成立致しました。それでは委員会報告をお願いします。まずはオリパラ委員会の松岡委員長をお願いします。

松岡 2020-21 オリンピック・パラリンピック委員長（本年度副理事長）

MD335 の松岡です、宜しくお願い致します。前回の 6 月 30 日の社員総会でも報告致し、また 7 月 9 日に委員会を開催致しました。

MD330 を中心に、皆様方から貴重な資金を頂き事業を行って参りましたが、最後の事業で有ります。障がいの有る子供をパラリンピックへ招待する、これがコロナ禍により中止に致しました。

その為に違約金が発生しましたが、3,000 万の手付金を支払っていましたので、差額が近日中に返金される事となりました。以上です。

仁科新理事長

有り難うございました、それでは続きましてアラート委員会から報告をお願いします。

森川 2020-21 アラート委員長（本年度理事）

アラート委員会からの報告ですが、昨年度アラート委員会では規則を制定させて頂きました。規則の制定に伴い皆様に周知して頂き、また規則に付随する細則を制定して頂きたいと思います。

仁科新理事長

他に委員会で報告の有る委員長は居られますか。はい三宮さんどうぞ。

三宮常務理事

先ほどのオリパラ委員会の残金の件ですが、各地区に返金するとの事でしたが、その件は如何でしょうか。

松岡 2020-21 オリンピック・パラリンピック委員長

申し訳ありません、その件につきましては、残金の金額が本日確定致しました。残金は、各地区の拠出額に応じた金額を返金致します。

藤川前専務理事

先ほど、山田元国際会長がお話しになった本を、各キャビネットへ送りますので、議長は MD にて説明宜しくお願いします。

仁科新議長が、識名前理事長に対し 2 年間の労をねぎらい、粗品を送る。
また閉会宣言を行い、本日の社員総会を閉会する。

議事録作成人

理事（MD331 前議長）中谷宣巨

理事（MD337 前議長）森口孝行

2021年8月2日

議事録署名人

議長・代表理事 仁 科 良 三 【押印省略】

330-A地区ガバナー 中 井 正 力 【押印省略】

334-A地区ガバナー 大 山 恭 範 【押印省略】

2021－2022年度 一般社団法人日本ライオンズ 第1回WEB執行理事会議事録

開催日時：2021年8月23日（月）15：00～18：00

場 所：各自アクセス（ZOOM）

出席者：理事長 仁科良三

副理事長 山川 洋、古川 隆、松岡 勲（欠席）

専務理事 村木 秀之

常務理事 鶴嶋 浩二、下間 俊悦、山本 基博、三宮 秀介、福永 栄一、

オブザーバー 法律顧問 池田 和司、会計顧問 吉田 宗一郎

事務総長 菅原 雅雄

14：55 司会 村木秀之専務理事より開会

※次第別紙

1. 出席者確認と本日の資料確認

2. 議事録作成人の指名

作成人 MD331 鶴嶋 浩二

MD332 下間 俊悦

理事長挨拶

オールジャパンライオンズが、結束して進むべき時ではないかと思っております。所信表明でお話した通りに、私は進めていこうというふうに思っております。すなわち、ライオンズクラブをどういう風にしていくのか。それから日本のライオンズは、どういう方向に向かっているのか。その時に強い組織を作って、何を目指すかという事をお話ししてあります。その方向に向かって進めていきたいと思っております。本日は執行理事会ということでございまして、その最終決定は理事会で行われるわけですが、理事会に提案する議案でこの審議をし、理事会にもっていこうということを、決定付けていきたいと思っております。特に執行理事の皆さんは、来年も理事あるいは場合によっては、さらにその先も続くわけです。私は理事長になった以上、今までのこの5年間の、まあ雰囲気というか、あるいは少し足踏み状態だったかなと。あんまり言うと先人の皆さんに申し訳ないので、そのくらいにしておきますけれども、そんな中で今日、執行理事の皆さんと一丸となつてですね、100年続く日本ライオンズの方角をしっかりと見据えて、その第一歩を踏み出していきたい、まあこんな思いでおります。幕末の志士ではありませんけれども、皆さんにはこれから、活躍していただける場もあると思っておりますので、1課題、1課題丁寧にやりながら方向をしっかりと見ながら、一つずつ仕上げてと思っております。そんなことでこれから議題に入ってきますけれども、是非よろしく願いしたいと思っております。

3. 協議及び確認事項

仁科理事長：8委員会中、PR マーケティング、ライオン誌委員会はスタートを切ってもらいましたけども、SON については仮称となっていますけれども、今日皆さんと相談して、仮称から正称にしたいと思います。他は昨年並となっております。このことについては皆さんの方で宜しいでしょうか。

三宮常務理事：組織図 理事会 執行理事会構成員の中に前・元&現とありますが、この元は必要でしょうか。

仁科理事長：元協議会議長っていうのは、2年理事のことを指しております。

菅原事務総長：昨年、識名理事長就任にあたり、前議長ではなく、元議長でしたので、そのようにさせていただきました。

三宮常務理事：コロナという不測の事態がありましたから、識名理事長退任にあたり、必要のないのではないのでしょうか。国際協会は、昨年は選挙も出来ず、一応理事はそうになりましたけども、協議会議長は年々新しく変わっているわけです。元が入る必要性はないかと思います。

仁科理事長：そこは直しておらず、皆さんのコンセンサスを得ていないので、そこは理事会の方に提案してここを取るようにしましょうか。

三宮常務理事：そうですね。それともう一つですね、執行理事会が構成員現ガバナー協議会議長8名と前・元ガバナー協議会議長3名の11名になっておりますが、先日の第1回理事会で決まったのが、10名ですね。前・元ガバナー協議会議長は、2名しか理事長と松岡副理事長2名しか入っておられないですが、よろしいのでしょうか。

菅原事務総長：前回、皆さんでご相談なさいまして、今回は10名でいこうと。規約上は11名以内となっておりますので、1名少なくともいいじゃないか、ということ10名になさったと思います。

三宮常務理事：分かりました。

池田顧問：総長のご説明で、間違いやすいところがでてくるのではと。懸念するのは、執行理事の人数は定款によると、10名以内となっております。ですから、11名になってはいけないので、その辺りをちょっと整理していただく必要があるかなという風に思いますけど。以上でございます。

菅原事務総長：11名というのは理事長を含めての11名でございます、理事長を除くと10名ということでございます。今回は理事長を除くと9名でございますので、前回の理事かで1名少なくとも良いのではないかな。10名でいこうということで理事会は発足したかと思えます。

池田顧問：今の説明であれば問題ないかと思えます。書き方の問題ですから、理事長を除いた例えば元ガバナー・協議会議長の8名をこれを7にすると1、0名以内ということになりますので、この表の書き方がね、ちょっと分かりにくいかなという風に、今三宮さんも領いておりますけれども、表をちょっと工夫したらどうかなと思います。

菅原事務総長：はい。まああの私が思うには、元議長ってことで、このままでいいんじゃないかなと思います。その時によって理事会によって人数を10名以内ということでございますので、お決めいただければいいんじゃないかなと思います。

仁科理事長：：はい。わかりました。意思統一ができましたということで、お願いします。

下間常務理事：今の論点は、識名理事長におかれましては、仮称広島大会委員会を先にやるか、やらないかということを先に話したと思うんですけど、それを決めて頂いてから、次のに移っていただければ、一番分かりやすいのかなっていう、気がいたします。この8の委員会があったんですけど、この委員会を先に8の委員会の1番の仮称広島大会委員長の名前で、名称でそのポストでいいか、っていうのを、まずは決めていただければなっていう気がいたします。その他の時に、資料の三宮さんおっしゃったことをもう1回話していただければと思いますけどいかがでしょうか。

菅原事務総長：これは実行するということをですね、議事録にもございますけれども、これに関しましては、応援するということを決定しておりますので、当然このまま委員会があって、仮称ってなってるもんですから、これも今、議長がおっしゃったんじゃないか、常務理事がおっしゃったんじゃないかと思いますが、この仮称だけを消していただくって事だけを、今おっしゃってるんじゃないかなと思いますので、ですけれどこれを広島の大会をやるということに対して支援するということは、前回の社員総会で決定しておりますので、よろしくお願い申し上げたいと思います。以上でございます。この仮称を消していただくことで。

：仮称をとるということで、SON広島大会委員会ということで持っていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。じゃあこの表はこれで終わります。

下間常務理事：まずは資料として21年 - 22年の案をあげていただく時に出来れば、前回の組織図もつけて、ここが変わったんだよと、ちゃんとわかるようにしてれば、本当は一番いいのかなと私個人的には思ってます。前はこうだったけど、ここここを変えたんだよということが分かればとおもっております。その中でたまたま、三宮さんから理事会や執行理事会の話も出たんですけど、私わからなくて、ちょっと教えて頂きたいんですけども、あのその横に理事会の理事長は執行理事会の中から選出され理事長が統括するってなってるんですけども、理事長は理事会から選出されているような気がするんですけども。要は理事会が決まってから、理事長が決まって、その後執行理事会ができるイメージなんですけども、先執行理事会ができてから、理事長が決まるような感じがしないんですけど。ここの文言は、どんな感じなのかなっていうことを確認していただければと思いますけどいかがでしょうか。

仁科理事長：はい私のから補足して、変わったところはこの仮称って書いてあるところと、青字で入ってるところが、変わってるだけです。あとは変わっておりません。その中で今の質問について、事務総長の方でお話あったら、お願いします。

菅原事務総長：上へ上へと向かっているんで、今そうおっしゃたんじゃないかと思いますが、現実的には、今下間常務理事がおっしゃた通りで、別に問題はないと思うんでございますけど。

仁科理事長：：それと今言ったあの例えば SON にしても特別この後に少し協議する項目が入ってますんで、またその時に詳細をお話ししたいと思います。じゃあまあとりあえず組織図については、

三宮常務理事：先程下間常務理事がおっしゃったのは組織図の左上の注意書きですね理事会となって理事長は執行理事の中から選出されというのに書いてますよ。これは理事の中から選出ですね。

：おっしゃる通りです。これは間違っておりますね。理事の中から選出される。執行理事の中じゃなくて。今おっしゃった通りです。大変これは文章間違っていると思います。

仁科理事長：至急訂正をお願いします。そのままいけば、私は理事長になれませんから。1の議案は次へ司会者をお願いします。

村木専務理事：はい、ありがとうございました。それでは今の確認ですが、表の左側のところ、理事会会長は執行理事の執行をまずとる。それから委員会の1番から8番までのところですが今、①、②という風になって、仮称がついておりますけど、この左側の②を消していただいて、仮称も消していただいて、①が SON 広島大会委員会という風な形になるという、取りまとめでよろしゅうございますでしょうか。はいありがとうございます。それでは、この各委員会の担当議長さん、これは前回第1回の時にもお話になってるんで、それぞれの議長さんは、この①から⑧までの委員会をご担当させていただく、ということでよろしいでしょうか。一応次の表がございます。資料の2でございますけれども、ちょっとご覧をいただいて、このそれぞれの議長さんにおかれましては、それぞれの委員会をご担当いただくと、委員長になって頂くということになると思うんですが、再確認でございます。理事長、一度ここでご確認をお願い致します。

仁科理事長：はい。これは、一括でお願いをします。8名の皆さん、ここで一覧のとおりです。委員長をお受けいただくということでよろしいでしょうか。

一同：異議なし

仁科理事長：はい。それで決定ということでお願いします。その右の方の、その回数とか集合とかWEBとか、これは想定で書いてありますけれども、コロナでちょっと大変な時期ですから、まあ集合の1回目は出来ないと思いますし、最後に1回ぐらいであれば、まあ皆さん、ここはそれぞれの委員会で書き直すなり、よろしくをお願いします。

福永常務理事：1点宜しいでしょうか。先程の組織図の中の、①で仮称が取れたSON広島大会委員会というのと、今お示しの、下から3段目のスペシャルオリンピックス広島大会委員会名が違ってるんですが、どちらかに統一すべきじゃないでしょうか。

仁科理事長：はい。なまあ中身は一緒だと思ってるんですが、タイトルは統一しましょう。

1で決めた方で福永さん、よろしいですか。

福永常務理事：あのいいですか。今、これ正式名称を言いますと、第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム広島というのが実は正式名称でございます。でスペシャルオリンピックス日本を略して、SON という名称になりますので、まあ第8回と夏季ナショナルゲームを省略して、このスペシャルオリンピックス日本広島大会という風にされるのであれば、そういうふうを考えさせ

ていただきたいと思います。いずれかを選ぶかということになると思います。
今言う正式名称で言うと、第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム広島というのが正式名称になっております。いかがいたしましょう。

仁科理事長：第8回 SONは使わせてもらおうとしても、やはり第8回というところから、真ん中 SONで綴って、あとは、正式名称でいきますか。

福永常務理事：できたらその方が、皆さんには分かりやすいと思っております。いいと思います。はい、じゃあ第8回 SON夏季ナショナルゲーム広島大会ということにさせて下さい

仁科理事長：はいお願いします。皆さんよろしいですか。

一同確認：

菅原事務総長：ありがとうございます。そういうことで2番司会者をお願いします。

：訂正をお願いしたいのですが。ごめんなさい。最後の方のPRマーケティング委員会でございますけれど、集合が2回、そしてWEBが10回でございます。12回になっておりまして申し訳ございません。それを訂正していただきたいと思います。1つ下の段の PR マーケティング委員会、集合が2回WEBが10回です。そしてトータル12回という風に訂正よろしくお願い申し上げたいと思います。以上でございます。

仁科理事長：はい、了解しました。

村木専務理事：ありがとうございます。それでは委員会出席者の流れの中で、ちょっとご説明というか、それぞれの委員長の皆様方、ご認識をいただきたいと思いますが、まず黒ポチの2つ目、各委員会初回開催は、理事長が招集にということでございますので、委員長の皆様方におかれましては、理事長にご相談をさせていただいて、委員会、最初開催をされるという風な運びで、お願いをいたします。また、PR マーケティング委員会につきまして（ライオン誌委員会）職権委員として、現国際理事も含まれる、ということをご理解ください。続きまして、集合開催時の旅費はプール旅費制となるが、ライオン誌委員会、法人理事会、執行理事会は、法人予算から支出をいたします。旅費算出は、旅費補助規定によるということで、後でこの旅費規程については、添付資料がついてございますので、後でそれをご参照頂きたいと存じます。続きまして、法人理事会内、分野別担当理事ということでございますが、これは今ほどお決めいただいた、委員長のことでよろしいんでございましょうか。理事長。

仁科理事長：そうですね。今決まった通りであります。

村木専務理事：この後の担当委員会の責務の確認ということでございますが、これはどういたしましょうか

仁科理事長：担当委員会の責務の確認ということですけど、これはあのそれぞれの委員会に色々な種類も違いますんで、去年からの引き継ぎ事項があります。それをしっかり見て頂きながら、必要においては、前任の委員長と相談しながら、あるいは議事録等を使いながらやっていただく、ということと後総会での報告資料がござい ます。その辺の確認をぜひお願いをしたい。こんなふうに思っております。特段ここできちっとお話しておくことがあれば、事務総長の方からお願いします。

菅原事務総長：はい、発言させていただきます。定款によりますと、執行理事の皆様におかれましては、それぞれの担当の委員会におきまして開催し、そして年に2回以上は理事会に報告するように、ということでございますので、委員会の開催されましたらば、必ず報告をお願い申し上げたいと思います。以上でございます。

仁科理事長：はい。ありがとうございましたということで司会者をお願いします。

村木専務理事：後ほど触れて参りますが、まあ、このコロナ禍でございますので、なかなか思うように委員会を開けないのかないうふうに思っておりますけれども、今事務総長がおっしゃったとおり、最低でも年2回ご報告をいただきたい、というスタンスで委員会の方を開催をしていただきたいと存じます。また議長の皆様方におかれましては、各複合におかれましてもですね、前期何をやってた、今期はれを引き継いでどうする、というようなことがあるかと存じますので、この一般社団法人日本日本ライオンズにおかれましてもですね、この責務については、やはり前期の議事録等と先ほど理事長がおっしゃいましたように、ちょっとお勉強をしていただいて、委員会の中に積極的にご参加を頂ければという風に思いますので、よろしくお願いいたします。

村木専務理事：続きまして（2）各委員会の議事録議、議事要旨の作成と扱いについて、これは私が読み上げてよろしゅうございますか理事長。委員会内で作成人を決め、原稿作成後、法人事務所宛に送付。最終的には理事長の配信許可を得てから配信をする。そして配信先は8複合と35地区へ配信するというところでございます。よろしくお願いいたします。続きまして、（3）各法人会議議事録（議事要旨）の作成と扱いについて。執行理事会の議事録、原稿を作成、そして理事長へ提出後、配信の了承を得てから、執行理事会、構成員へ配布。また直近の理事会へ提出する。とこれは後ほどまた日程が出てまいりますけれども、執行理事会が行われた後、大体2週間後ぐらいに理事会を開催するという風な流れになっているかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。星印がついております、協議内容が継続、または保留中のものもあるかと存じます。その場合は、まだ8複合35地区へ配信されませんよ。ということで、あくまでも理事長がご承認をされた時点で配布をする。そういうことになると思います。

菅原事務総長：すいません。執行理事会の議事録は決定されたわけではございません。理事会がが決定になりますので、理事会で変更されることもありますので、執行理事会の議事録に関しましては、一切ですね、8MD35地区には配布いたしませんので、その点よろしくお願いいたします。以上でございます。

仁科理事長：ありがとうございました。冒頭に申し上げました通り、執行理事会は、日本ライオンズをどのように運営していくか。そこを検討する会で、必要なものは理事会に提案し、理事会で決定を見て、実行ということになっていくわけでして、そのことは、今の細かいことになると、微妙なところですけれども、そういう話になると思いますので、よろしくお願いいたします。じゃあ次をお願いします。

村木専務理事：次2ページに移ります。理事会の議事録に関してです。2時間以内では、作成に2名を指名、議事録署名には理事長の他、出席した全幹事の下承が必要となり、記名押印が必要です。これは定款の第43条ということでございます。そして8複合並びに35準地区への配信を行います。そして社員総会（全国ガバナー

会）議事録です。1これにつきましては、2時間以内に作成に2名を指名、議事録署名人は議長のもと、他2名の社員を示す内容の了承後、記名押印が必要。これは定款の第21条に書いてございます。そして8複合35地区へ配信するということです。年度初めの第1回総会議事録は、理事会構成員の一部交代に伴い、別途登記用に必要な理事長選任書を作成し、新理事会構成員全員による記名押印が必要となります。多分、皆様方のお手元に届いておるかと思いますが、ぜひ押印をしていただいて、必要な証明書類を添付の程でお願いをいたします。今回も新理事会構成員に、議事録原本に記名押印依頼をお願いしていますが、集合会議開催ができない為、個別に郵送にて、依頼をしております。ゆうパックの返信用ゆうパックは届いてると思いますので、ぜひそでご返信を頂きたいと存じます。そんな流れで理事長よろしゅうございますか。

仁科理事長：はいありがとうございました。執行理事会とは逆に、理事会で決定したことは、8MDに全部報告。そしてもちろん、この理事会にかかっている内容については、この執行理事会で検討してかかるわけですから、理事会だけで単独で決めてやるものではありません。したがってそれを本当には各35の地区にそれぞれ自分の地区に配信してほしいと思うこういうことですね。これは去年の末にも徹底されてますんで、そのルールでお願いしたいと思います。以上です。はいありがとうございます。

村木専務理事：3番の事柄を踏まえて、（4）次回のを社員総会及び理事会の日程についてです。202—22年度事業計画では総会は年4回開催の予定。すでに第1回8月2日は開催済みでございますので、今後は12月、来年の4月そして6月に開催の予定であります。理事会は総会開催の2週間前には、開催の必要があり、メモのご用意を・・・。次回の開催は11月25日を予定しております。

仁科理事長：20日付で文書がでております。コロナ対策についての文書。後で読みますが、そういうこともあり、出来れば理事会はミーティングでやりたい。3週間以内に社員総会を開きますが、12月16日前後が3週間。今の状況でいくとWEBの可能性あります。

下間常務理事：（4）の前話で、3の（1）議事録の事を話たと思うんですけど、その前に確認したいことがありまして、3—（1）③なんですけれど、資料2各議長が8の委員会ににわかれてやるというのはわかりましたけど、その後に資料3の案なんですけど、21—22年各委員会の名称並びに担当理事の選任であるんですけど、1総務・人事・管理2財務・会計・資産管理3渉外・PRマーケティング・スペシャルオリックス4地区クラブサービスとなってるんですけど、この担当のやつに対しての質疑がなかったように思うんですけど。これをとんでるような気がするんですけど。如何でしょうか。

村木専務理事：申し訳ございません。飛ばしておりました。法人理事会内分業別担当理事案のところがございます。資料3 1, 2, 3, 4それぞれ担当業務内容が記載されております。この委員会がございます、それぞれ担当業務担当内容がここに記されてございますそして右側に敬称略で各部長様お名前が書いてございます。この委員会に対して、この担当理事さんが、この委員会をご担当いただくということになってくると存じますが、理事長、これで皆様方のご指名と

言うか、ご許可をご承認を頂戴してればと思いますが、よろしくお願い致します。

仁科理事長：すいません、飛んでしまいまして。資料では配布してありますけれども、この業務内容を担当のですね、委員会ですね、これは私の方で総合的に判断して、持っていただく委員会と、このここで4つの委員会と関連ある方は、そこへ優先して入ってもらうようにしました。後は多少遠距離近距離いろんなことがあるんで、あれはまあ、私も皆さんのことよく知ってるわけではありませんけれども、まあこの委員会を是非お願いしたいな一というところで、これを割り振って4つしかありませんので、皆さんにそれぞれ四つの中に入っていただくようにしました。もちろんその総務人事については、私と専務理事でやるんですけれども、2人だけでやったんじゃいけないんで、1人は山川くんをお願いしよう。これ色々サイン事やらか色々あるんで、まあそんな風にしております。それからの財務会計、これは金庫番の方ですけどこれ鶴嶋さん。そして山本さんに見ていただこう。それから渉外・PR マーケティング 古川さん委員長なんですけれども、あのご近所で福永さんと一緒に見ていただければどうかなあと。地区クラブサービスということでここについては松岡さんは GMA のあれんなってますんで、松岡さんに入って頂きながら、下間さん三宮さんに一緒にお願いしたいということで、これは私の推薦ですから、もしいやいや俺はこっちがいいよ、ということであれば、今日変更は可能でございます。いつでもあの申し出ていただきたいと。あとは理事長と副理事長は2年理事の方から入ってますんで、そんなことで、松岡さんについては、両方入っておりますんで。私もそうなんですけども。そういうことでよろしくお願いします。

下間常務理事：私事で大変申し訳ないですけども、この8の委員会は、大体理解出来たんですけども、もしできたら総務人事委員会とか、この委員会の内容について、事務局の方からどういうことを実際やるのか。大体の簡単な説明いただければと思っております。具体的にどんな形の事をやるのか、教えていただければと思います。後、私事で申し訳ないんですけども、私はその8つの委員会の中では、たまたまその国際理事候補者推薦委員会なってるんですけども、たまたま国際理事の多分指名はないと思いますので、できればこの委員会のやつで地区クラブサービス委員会から財務会計資産委員会に行きたいと思うんですけども、いかがでしょうかと思いますけど。それまで識名理事長をはじめ皆さんいかがでしょうかと思うんですけど。この委員会は移りたいっていうやつと、この中身事務局から説明いただけないでしょうかってお願いの2点ですけど。よろしくお願いします。

菅原事務総長：はい。三宮理事が手をあげておりましたんですけど、よろしいですかね。

三宮常務理事：先程の下間さんと同じような内容なんですけど、具体的に地区クラブサービスが、会員減少に対応するための運営計画。これは去年もこうゆう担当があったわけですか。

仁科理事長：そうです。まったく一緒です。

三宮常務理事：具体的にどういうことをするんでしょう。ちょっとイメージ的にわからないんですけど。

仁科理事長：この総務人事管理とか財務とか PR マーケティングってば想像つくんですけども、この特に地区クラブサービスっていうタイトルだけでは想像つかないんで、そこは事務総長、ちょっと説明お願いします。

菅原事務総長：はい。ご指摘がございました123はもうこの通りでございまして、総務人事管理というのは、あのここに書いてございます通り、運営の全般、そして総会の準備、採用これは、あの職員の採用ですね、あるいは査定、それで特にこの中においては、決済の承認もこの中で組まれております。財務に関しましては、収支の予算、これはこの後、補正予算を組まなくてはならないことがたくさんあると思うんですね。その時に補正予算を組んでいただくとか、会計を毎月、会計をこれは吉田顧問さんから会計の監査を入れております。

年に2回の監査がありますので、その監査の折に、またその前にですね、確認を取っていただくとか、そういうことをしていただいております。3番ございますけども、もちろんこのスペシャルオリンピックもございます。当然ライオン誌のこともあります。それからもう1つ、この社団でホームページを持っております。ホームページに対してのちょうど切り替え時でございまして、先ほども池田顧問に見ていただいたんですけど、契約書が来ておりまして、その契約書の確認などやいわゆるホームページに関してのこと。あるいは、一般的な PR やなんかに関することに対してもやってもらいます。具体的にはあんまりPR とかそういうことに対しては、動いてございませぬ。まああのホームページ年に1回あるいは後期2回ぐらいしか書いてないということだけ、ご連絡させていただきます。4でございしますが、現実には地区クラブサービスに関しては、去年は全くございませぬでした。特に会員増強っていうことを今期の国際会長がうたっております。先ほど理事長が申しましたが、松岡副理事長がちょうど会員増強の担当にもなっておりますので、今期において、そのことを検討していただければいいんじゃないかなと思っております。残念ながら去年はこれに関しましては、何の動きもなかったように思います。以上でございます

仁科理事長：：その他の委員会は、昨年実行されてる委員会ってこの担当。当然そうですね。総務はどんどんやってるわけですよ。

菅原事務総長：はい。あの先程の委員会の担当は大変大事でございます。これは定款にのっとってやっておりますので、ぜひあの委員会はよろしくお願い申し上げたいと思います。

仁科理事長：地区クラブサービスで想定できるのはGMA いわゆるGATのグローバルアクションメンバーアプローチの推進の、何かあればお手伝いをすると。執行理事会として、あるいは日本ライオンズとして、相談に乗ると。こうゆう解釈でよろしいですか。

菅原事務総長：結構だと思います。いわゆる日本ライオンズとして、全域に通達ができます。

その点を利用していただくことが、重大かなと思っております。以上でございます。

下間常務理事：あの。事務長に再度お聞きしたいんですけども、先程決めた、前回8委員会、割り振りしたんですけども、その委員会とは別に、今この理事会内担当委員会が別にあるのでしょうか。それで、かぶるような気もするし、上の2つはかぶ

らないような気がするんですけども、実際この3とか4とかは何をするんでしょうかと思ひまして。教えていただければと思ひますけど。実際のやることですね。

菅原事務総長：先程申し上げた通り、3の場合は、もちろんスペシャルオリンピックスのお手伝いをすることもあります。それでそれ以外のホームページを作成することもあります。それからあちこちの問い合わせがあった場合、大体の問い合わせは事務局で答えております。今までも。でも将来的にわからないことに対しては、ご相談させていただきたいと思っております。その3番でございます。4は先ほど申し上げたとおり、昨年ほとんど動きありませんでしたが、今回は、松岡副理事長が担当されております、会員増強これについて、色々と決める事もあると思ひます。それを流すような結果、ご相談いただいて、日本全域に流すそういうような結果になっていくのではないかなと思っております。以上です

下間常務理事：今の話聞いても、ちょっとわかんないんですけど。そうするとこの委員会ありますけども、この例えば、総務人事は例えば、3人で何を決めるのかっていうとおかしいですけども、その委員会て、実際は委員会の会員はいらっしゃるわけですか。それともこの3人だけなんですか。それとも委員会て、この下に組織とかあるのか。この3人なら3人2人なら2人の塊なのか。そのイメージがちょっとわかんないんですけど。教えていただければと思ひますけど。

菅原事務総長：委員会の方はですね、例えば常務理事は、国際理事の推薦ですよ。選挙管理委員会。これはあの各複合地区に、それぞれの委員の委員長がおいでになります。委員がおいでになります。その方もまとめたの委員会を開始、全日本で委員会を開催する。だいたい、国際大会委員会もそうでございますし、もちろん会則もそうでございます。全複合のそれぞれの委員さんを、あるいは地区によっては委員長さん。その方が集まっていたいて、これは会議していきます。しかし今で申し上げたところの1234に関しては、あくまでもこれは執行理事の皆さんだけで、やって頂くということでございまして、この担当された方にご相談しながら、事務局からご相談しながら、進行するというような格好になりますので、宜しくお願い申し上げたいと思ひます。以上でございます。

仁科理事長：ありがとうございます。私からちょっと説明すると、委員会は具体的に活動計画を立て、その計画によって活動してそして成果を出した報告をするというのが委員会ですね。これは、この委員会はこちらの担当委員会は言い方悪いけど、事務局がほとんど作業をしていく中で、事務局が単独で動いていっちゃうと困るねえと。そうすると4つぐらいの分野に、事務局の仕事するのは分かりますよね。そうした時にそのどこかに相談をし、許可を取って事務局が業務を推進するという風に解釈してもらえばいいと思ひます。だから事務局が直接、項目別に相談する委員会と受け取ってもらいたいと思ひますが。あの事務総長それで間違ってますか。どうでしょう

菅原事務総長：全くおっしゃる通りその通りでございます。国際理事選挙管理委員会、そういう各複合から全部委員さんがおでになって、8複合のまとめたものをやっております。こちらの方の1234に関しましては。今おっしゃる通りでございます。宜しくお願い申し上げたいと思ひます。以上でございます。

下間常務理事：はい。わかりました。中身も出だいたい理解できたような気がします。それとは別に、是非とも財務会計委員会に行きたいんですけども、取り計らいの方よろしくをお願いしたいと思います。以上です。ありがとうございます。

福永常務理事：すいません。あのこの委員会はあの先ほどの8 委員会 のように開催数をいくらか言う必要性はないということ？

菅原事務総長：全然ございません。ほとんど事務局からお問い合わせの時ぐらいしかございません。

福永常務理事：まあ、私の3委員会目っていうのは、言い方おかしいかもしれませんが、スペシャルオリンピックスの委員会をやって、なおかつここでまた委員会という名称になっちゃうん。

菅原事務総長：スペシャルオリンピックスに対して何かありました時は、ご許可をいただくというの格好になります。例えばスペシャルオリンピックスの方から、こういうのセミナーがあるよとか、こういう講演会、是非聞いてくれというような通達があった場合は、大変恐縮でございますがWEBが多いんですけど、そういう時は年に1回か2回あるかないかだと思うんですけど、聞いていただくとか、そういうことでございます。

福永常務理事：この報告というのは、どちらへ向かっての報告なんでしょうか。

菅原事務総長：報告っていうのは、あくまでもこれは理事長あての報告でございます。

三宮常務理事：下間さんのご希望はどうするんですか。YESかNOかはっきりしてあげないと。

村木専務理事：地区クラブサービスにおられる下間ライオンの担当を財務会計資産管理に移すかどうかで話ですね。委員長どうでしょう

仁科理事長：いいですよ。私が推薦したんですから、私が替えてもいいと思います。2番のところですか。2番のところですか。2番のところが3名になるということですね。人数に定員はありませんから。

三宮常務理事：私はできたら残って頂きたいんですけども。結構ですよ。

仁科理事長：下間さんどうしますか。

下間常務理事：できれば叶えていただければと思います。たいしたことではないのかも知れないんですけど、たまたま委員会とすれば、国際理事の推薦の委員なんですけど、今年は多分できないと思うので、そんな感じで立候補させていただきました。何卒認めていただければと思います。以上です。

仁科理事長：事務総長どうですか。

菅原事務総長：私の方はまったく。それを皆様にお受け入れていただければ。

鶴嶋常務理事：ちょっと伺いたいんですけど、2名から3名になった時の職務職責っていうんでしょうかね。あのまあ多分にして、これ僕が選ばれてる理由とか、なんとなくこうあの LCIFの交付金なんかを使った、いろんなことをやってた関係上ですね、まあそういうことで選ばれてんのかななんて思ったんですけど、3名になった時の責任分担とかですね。まあ、この例えば会計の方と相談する時に事務局に行かなきゃなんないっていうと、これ輪番制とかできる人とか、まあ立候補されたかとか、そういうような感じで関わればいいんでしょうかね。

菅原事務総長：はい。あの現実にはですね、基本的には専務理事がほとんどをおやりになりますので、それのご許可を取っていただくというな格好になると思うんでございますけど。

鶴嶋常務理事：はい。であればですね、どこに誰が入ってもいいと思うんですけど、ボール与えられた以上は、これ責任を持ってやらなくちゃいけないと。私もガバナーになる時の教育の中で、与えられたことは与えられたようにやる、というような教えできてるもので。全ての役に関して、今のこの場所につく、この役に就くくまでにも与えられたことを、与えられたことに喜んで進んでというつもりでやっておりますので、そのところを皆さんお汲み取りを頂きたいというように思います。以上です。

仁科理事長：私とすれば、心あってお願いしてるわけですから、できればこのままでいて、支障がなければ、是非お願いしたいと思いますが。下間さんの強いご要望であれば、4を2に変更するのは、いくらでも結構です。今鶴嶋さんのお話聞いても、きっとそんなことじゃないかなと推察をして、お願いしてるのですが、どうでしょう。下間さんも財務じゃなきゃできねえよ、と言ってるわけじゃないんで、あのいいと思うんですけども、できたら原案通り可決してもらえば、皆さんも何か色々はなくて。皆で言い始めちゃうと、キリがないので。僕はこちらの方が良いと。まあ委員会は、そういう意味で早い者勝ちとは言わなかったけど、自分で決めてくださいということで、これをやったんですけど。原案通りお願いできますか。下間さんどうでしょう。

下間常務理事：私はあの、多分このやつは、理事長一任で多分決められると思うんですけども、移れることであれば、移していただきたい。先ほど審議なかったもんですから、移していただきたいっていう中身もわかったので、話をした次第ですのでよろしくお願いしたいと思います。それしかないと思うんですけど。

仁科理事長：じゃあ2に変更ということですね。そういうことで事務総長お願いします。

菅原事務総長：そうしますと理事長、変更するってことですか。

仁科理事長：はい。今下間さんのお話は

菅原事務総長：このままで良いってことでしょうか。それとも変更するってことでしょうか。

下間常務理事：私は変更をお願いしたいという話をしたので、理事長の方、もしくは委員の方から認めて頂きたい、という話をお願いただけですので、それを決めていただければと思います。

仁科理事長：2番に移動してください。以上です

菅原事務総長：はい。わかりました。移動させていただきます。

村木専務理事：ありがとうございました。では担当理事の1234のところを下間常務理事が2番の財務会計資産管理の方に、移られるということで進めさせて頂きいと存じます。

それではよろしゅうございますか。仁科理事長からの提案事項ということで、①全国ガバナーへ理事長公式訪問8複合への理事長が訪問なさるというお話ですね。理事長お願いします。

仁科理事長：私はここで全国35人のガバナーにお願いしに精力的まわりたいと思っております。まわる理由は、ご存知の通りでありますけれども、日本ライオンズができ

て5年、6年目になり、そろそろ構築できる体制にしていきたいな、という風に思っております。それには8人の議長の皆さん方のご協力をいただかないとできないわけですが、近々はもうコロナで、そんなことではありません。まあ一応1か月ぐらい余裕を見て、9月の22日ぐらいからスタートが切れればいいなというところから、10月の終わりまでということで期限を切らせていただきます。あとはそれぞれの議長さんのご都合そのMDの4人から5人のガバナーの都合に合わせます。私の方で合わせますので、早めに日程を決めて、私の方へ連絡をお願いしたい。どうしても都合、何かの理由で都合合わない方は、ピンポイントで行きますから。まあ例えば、北海道の鶴嶋さんの所であれば、釧路からガバナーが来れなかったということであれば、最後に釧路まで行きます私は。じゃあこいよ。ってことでやられてしまうと困るんですけど、正当な理由があった場合、しっかり懇談をし、今の日本ライオンズの目指すところ。なんで必要なのかとか、何をやってんだとか、いろんな話が聞こえてきます。私の耳や文字で入っております。ここを誰かがしっかり舵を切っていないと、日本ライオンズになりませんので、ぜひ皆さんのご協力をお願いしたいと思います。以上です。

村木専務理事：ありがとうございます。仁科理事長あのご公式訪問に関して、今ご出席いただいています、8複合議長の皆様方に日程、それから会議の時間、そして理事長の方にお聞きして通ります通り、食事は無しにする。それから日帰りで帰る。お泊りなされる。そのあたりのところもちょうとこいつまんで、ご説明頂ければ、議長の皆様が動きやすいかと思うんですが。

仁科理事長：はい。わかりました。できれば日帰りで、午後の一番あたりにセットしていただければ、その日のうちに帰れると思います。私も札幌も行きましたけれども羽田から舞い上がって1時間15分でカタカタって降りております。むしろ長野の方が遠いぐらいで。福岡もそうですね。まあそんなことで精力的に行きますので、今日、ここで決めてくださいということ言いません。まだまだ慌てなくて結構です。出来るだけ皆さんの都合のいい日に、一番多い所でガバナー6人だと思います。だから少ないところは3人。でも35人の皆さんのご尊顔を拝しながら、ライオンズについて語りたと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

三宮常務理事：今の理事次長の話でしたら、ガバナーだけを対象に、もちろん我々議長も入りますが。そういう解釈で宜しいんでしょうか。この公式訪問ですけどね。理事長のお話でしたら、地区ガバナーだけを対象にした、それと我々議長ですね。の話し合いで宜しいでしょうか。

仁科理事長：はい。地区ガバナー、すなわち日本ライオンズの社員の皆さんと会うと。まあそういう言い方しちゃうと、ちょっとおかしいんですけども。まあ、もちろん地区ガバナーの皆さん、議長さんは参加してもらわないと困るんですけども。こちらも少なくとも専務理事、そこに映ってません専務理事が都合悪い時は、その西東の副理事長とも声掛けて多勢に無勢じゃいけないんで、一人ぐらいは是非同伴で行きたい。そして夕食宴席は無しで、中身本位で行きたいと思えますので、そんなにあの、もっと分かりやすく言えば、2時ぐらいからあるいは1時からお昼もなし、4時ぐらいで解散まあみたいな感じでいいと思いま

すんで、是非お願いします。その時にあの去年社団法人でですね、ゴリサーノリーダーシップアワードってもらってるんですね。これは名誉ある賞なんですね。これを識名理事長が貰ってるんで、今そのレプリカを作ってます。このレプリカを複合単位で、同じ喜びとして贈呈して参りたいと。この儀式は一つ考えております。それぞれ8複合に分かれてる意味もそれぞれの事情を色々あると思いますので、ぜひ聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

村木専務理事：9月22日から10月25日ということですが、コロナの感染拡大中の時期で、もう少し感染が縮小しないと、ちょっと難しいんじゃないかなと思うけど、その辺はいかがでしょうか。

仁科理事長：はい。そこにも一つあるんですけども、理事会を11月25日と設定しました。もうぶっちゃけ11月の20日ぐらいまで大丈夫ですから、できるだけ後ろに持ってきてください。コロナの感染を十分睨みながらの行動です。一つよろしくお願いします。場合によっては、来年にずれ込むかもしれません。この話は。理由はコロナで、それ以外ではありません

三宮常務理事：具体的な日程は複合の方から理事長の方へ提案するということ。

仁科理事長：はい。日にちを決めていただいたら、議長さんの方から事務局へ通しててもらえば、それで結構で。その日に100%合わせますから。あの複合同士でかぶった場合、ちょっと駄目ですけど。よろしくお願いします。

山本常務理事：はい。えーと日程的にですね、あのずれるかどうか分かりませんが、複合同士が、重なることも可能性としては、あるかと思しますので、出来ましたら事務局で、取りまとめをしていただいた上で、第一希望第二希望を各複合から出させていただく、という形の方が、調整しやすいんじゃないかなと思います。それともう1点先程13時から16時ぐらいの間に開催をということでしたが、この項目は絶対入れてもらいたいっていう、項目。例えばタイムスケジュールの中で、この部分は絶対この時間を取ってほしい、とこういうことを話しができるようにしてほしい。オリジナルで複合地区で、この時間帯はそれ以外でやってもらってもいいですよ。ってことであれば、スケジュールの中に入れることができるんですが、概略のタイムスケジュールいただけると組みやすいかなと思いますが、いかがでしょうか。

仁科理事長：はい。わかりました。じゃあのスケジュールのフィードバック表と合わせてタイムスケジュールを入れたのを至急作って流します。よろしくお願いします。

福永常務理事：すいません。私どもの地区はABCでの4地区なんですけれどもそのうちお2人は開業医の方でございまして、その今先ほど言われるような時間帯っての一番その都合の悪い時間帯でございます。であの例えば、その先ほど昼間にやれ会食なしということ構わないんですが、土曜とか日曜日を使うということも可能でしょうか。

仁科理事長：十分可能です。私はもう土日祭日ウェルカムで行きます。是非お願いします。

福永常務理事：わかりました。それともう一つは、あのさっきあの私ともさっき私を含めたガバ協のメンバー5名でございしますが、その中に前議長が理事でおりますから、6名という判断でいいんでしょうか。前あの前議長がですねあのおります

元議長っていますかが、入ってます。岡村理事がそこへいますので、この理事も含めるということですか。

仁科理事長：いや、そうじゃなくて私は35人のガバナーに会いに行くんです。社員に。その時に議長さんには同席して欲しいなあ、ということでございますんで、そういう解釈をお願いします。

福永常務理事：ということは、執行理事は入るけれども、理事は入らない、という解釈でいいわけですね。

仁科理事長：あの、地元訪問ですから、そういう解釈で結構です。

村木専務理事：はい。わかりました現議長さんには、ご出席いただきたいけれども、前議長さんは特にというところでございますね。

仁科理事長：そういう言い方をすると、前議長はいらないみたに聞こえるんで。現ガバナーに会いに行くので。議長さんはこうやって会ったりできるわけですよ。ガバナーは私も2年ほどやってきましたけど、社員総会と銘打ってくるけど、中々意見交換できないわけですよ。そこを私は足を運んでしっかりやりたいわけですよ。基本的にはガバナーに会いに行くと、そういう解釈をお願いします。

村木専務理事：②にコロナ拡大対策の徹底ということで資料の4をご覧を頂きたいと存じます。仁科理事長からこのようなコロナ対策最大の対策をお願いいたします。ということで文章が出てまいりました。

仁科理事長：20日付でもう配信済みでありますけれども、ライオンズメンバー2021年8月20日、一般社団法人日本ライオンズ理事長仁科良三、緊急新型コロナ感染拡大に最大の対策をお願いします。政府は東京オリンピックを、東日本災害復興オリンピックまた、コロナで開催を検討する中では、疫病に打ち勝った証としてのオリンピック名打ち、実行いたしました結果、デルタ株が猛威を振るい、これまでにないスピードで新規感染者が増加し、感染拡大オリンピックとなりました。8月24日からはパラリンピックが開催されます。感染力は強く、重症化リスクを高めると言われている感染爆発は、医療法崩壊も懸念される状況です。このような状況下で、私達ライオンズメンバーは社会またボランティアのリーダーとして、下記の通り徹底した対策と責任ある行動をお願いします。一つ、基本事項個人の責任、かからない責任、映さない責任、ワクチンの接種の実施、実施団体の責任、家族を守り社会を守る、クラスターを作らない、自ら手本を示す。二つ目例会、理事会等への対応完全 Web での実施を望む、三つ目、アクティビティの対策、命最優先自分を守り周りを守る。できることに集中して実施する。4番飲食への対応、例会及び会議後の食事は避けてください、5、最新の報告事例、実際に法人宛に一般社団法人ですね、法人宛に問い合わせが入りました。一つの例は例会後の会食でクラスターが発生、地元市民から問い合わせがあり、ボランティア団体はどうなっているんだ、責任者が出て説明すべきである。2つ目、ライオンズメンバーの会食の様子が画像 SNS に投稿されている。この時期にどうなっているのか。認識が甘いのではないか。先の見えない長期戦ではありますが、今後も状況の変化を見極めながら、対策を講じて、この難局を乗り越えて行きたいと思っております。という文章を流させてもらいました。やっぱり、社団にも書き込みページがあっ

て、そこへ書き込んで来られますので、これを皆さんに流してありますので、再度リーダーとして指導をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

下間常務理事：先程の①理事長のガバナーへの公式訪問も、大変難局だと思いますけども、是非とも実行していただいて、成果を上げていただければと思っております。それから②のコロナ対策の徹底に対しても、このような文章を頂き、本当に私は全くだなと思ってるところもあります。その中で一つ一番も二番も全くその理事長に難かけてるって思いはあるんですけども、会員増強に対することと相反することになってるかな、自粛することが会員増強に対して、相反するところが多分あるような気がするんですけども。その会員は増やせ。コロナで動くな。というような二つの指示を同時にすると、相反するような気もするんですけど。そこら辺はどのような解釈でしたらいいのかなって思ってるところが、私個人ではあるんですけども、理事長の見解を教えていただければと思いますけど、いかがでしょうか。

仁科理事長：はい。私の見解としては、ここにも書いてあるように、何ととっても、命最優先です。けどもやっぱりだからって何もしない。何も出て歩かなきゃ、かからないことは、はっきりしますね。でも生活もある。動きもするボランティアもする。まあ世の中、国もも都道府県知事も非常に悲鳴を上げるような騒ぎでやってますけれども、日頃県民の国民も知事の方角いたり、総理の方角いて、生きてる人割合少ないって怒ったしちゃいけないけど、慣れてないんですね、そういう発信に。で具体的には親から言われてもみたいなどもあって、若い人はワクチン打たないと。それはいいんです。打たなくてもね。それを打ってわけにはいかないけれど。まあ我々がこういうボランティアいろんな事業をやるのも大事ですけども。ここをやりきるのもボランティアの1つだと私は思ってます。まずはここが出来なければ、次の仕事もできないとは言いませんけれども、まあそういう中で会員の増強必要である人は、是非会合を増やして、こういうこともやってんだっていう話をしながら増えれば感動する人はいれると思います。今までのライオンズの歌がはいりませんかっていうのじゃなくて今こうやってるけど、それでも頑張ってるんだという思いで、これはまあ私の基本方針の中にもある話なんで、ぜひ頑張ってもらいたい。よろしくお願いします。

村木専務理事：これを受けてですね、各委員会に対しての Web 開催を。これは私の方からお話しさせて頂きますけれども、今理事長の方がおっしゃったように、コロナ対しては、非常に、とにかくかからない責任、うつさない責任というところがございます。できるだけ委員会につきましてはですね Web で開催をしていただくような形でお願いをいたしたいということで、理事長宜しゅうございますね。はい、続きまして④ 新理事 承認の件でございます。これはちょっとすいません、ご説明お願い致しますと思います。

仁科理事長：皆さんにも是非共有してもらいたいと思うんですが、私がメルビンジョーンズフェロー貰ったのは、今から40年ほど前ですね。それでそのままその時に純粋に思ったことがあってね、やっぱり10万円からの寄付をしたんで、なんかこれ税金の控除にならないのかなっていうことを考えました。そして質問もしました。その回答が、これはアメリカの財団であって、LCIFですね。それでアメ

リカの財団に寄付しても、日本では税金の控除にならない言うのが、今でもそうですけども。でアメリカの人は、もちろんなるんですね。ああそういうことかと。ならばもっと給付もできんのかなあ。というような思いがあって、そして、ここに次出てきますけれども、社団法人日本ライオンズとそれから財団が今度はできた。ということで、私は個人的に、すごく喜んでます。財団を両輪で回してくってというのは、去年のところでは、声が入ってますから。これは今言ったように、公益財団法人になれば、まあ税金の対象、税金が免除になるから、寄付をするとかしないとか寄付をする気のない人から見れば全く関係のないことなんですね。ただ我々は役員でもあるし、みんなもそういうリーダーとして、皆さんに寄付を募ってくる。日本の財団に寄付をして日本でまあ今ふるさと納税ってのあります。ふるさと納税ってのは、まあこれは自分の税額を故郷への決めたところへ納税すると。お土産もあるんですよ。お土産はともかくとして。そういうような形で控除の対象にならないかなあというのを非常に思っております。例えばまあ金額100万円を寄付したとすると。これは我々は私個人で言えば200万円を寄付したと同じなんですね。それはやっぱり税金を払って100万円寄付してますから。これが会社の経費で必要経費として、歳費でもいいですから、として認められれば50パーセント課税で良いわけですから。150万円で済むと。それからふるさと納税みたいになったとすれば、これは100万円は100万円ですね。そういう風にこの財団と社団が一体になって事業、言ってみればエンジンは社団であり金庫番は財団であるということが言えると思うんですね。で、ここに入ってますけれども、なんか日本 LCIF みたいになってたんですけども、これをやっと名義を財団日本ライオンズに変えることができた。これは最初からやりたかったんですけどもご存知のように先人で公益財団法人ライオンズ日本財団 っていうのががあるんですね。ここに類似で引っかかってどうしてもできなかった。ここをクリアして、今回は社団に財団ができたということになったわけですね。これはこの後にもまた提案があるんですけども、1つは財団がそういうことでウインウインで行くということになれば、この理事長に組織の理事として入ってもらうのがいいんじゃないか。それが一つの提案ですね。それからもう1つは日本大学校っていうのがあります。これも次世代育成、次世代の若い人達を育成するということで、まあライオンズクラブのメンバーは皆成功者ですから、成功者はいろんなスキルを持っておられる。その持っているスキルを皆さんにお伝えして人生並びにライオンズ活動の糧にしてもらうのがいいんじゃないか。ということともう一つは、まあ私もたまたま日本大学の付属校幼稚園小学校中学校こうやってんですけども、もう本当にそういう社会に出て働いてはいるんだけど、もう1回学び直しをしたい。やっぱり今になれば必要だと。いうような人たちもやっぱり日本大学でよければ、日本大学へ入学をさしてあげられるようなね。もうこれはライオンズメンバーなって、奉仕の心を持っている人は推薦で入れてやるとか。そういうような方向に、次世代の人たちも役に立つスキルアップもそうなんですけど、そういうまあ大学校を、財団と社団はま両輪で、そこに大学校が加わればトライアングル、この強いトライアングルで次世代の人たちも育てながらエンジンと金庫とそして次なるリーダーを育てながら前に進んでいきたい

など。それが、これからの日本ライオンズの目指すところではないかというふうに、思っております。それからこの財団を公益にもっていったりするには、やっぱりこの理事長1年ポッキリってのが、やりたいわけでもないんですけど、あのやっぱりそういう意味では識名前理事長をですね、やっぱりこの組織に残す、というのも識名さんだからじゃなくて、ま、ライオンズクラブっていうのは1年ぽっきりの任期、そしてライオニズムは続くというところに、そして100年続いた理由もあります。国際協会みても、第3副会長を1年やり、第2副会長を1年やり、第1副会長をやり、そして国際会長を、4年終わった後はLCIF会長、通5年で完結するようになってるわけですね。だから日本のこのトライアングルも方向とすると、これからコンセンサスを得ることですこの方向とすると、そういう強い体制の方向に持っていくのがいいんじゃないか、という。これはあの執行理事のみなさんへの相談です。よろしくお願いします。

菅原事務総長：財団の問題なんですけれども、当事務所に昨年も3回ぐらい問い合わせ、その前の年もありましたけれど、実は親父が亡くなったんですけど、あの法人寄贈したいんですけどということだったんですが、残念ながら税金は免れませんよと。それは相続税は払っていただかないとだめなんです。納めていただければって言ったら、全部あの、お断りされました。公益法人であればですね、これは税金から免除されるってということで、その方々も出して頂けたんじゃないかなと思います。そういう意味からですね、ぜひ財団を育てて頂いてそういう方々の意思を故人の意思、メンバーの個人の意思をですね、いかせるようなものでとってもお願いしたいと思います。財団の方で3年を目安に公益法人にするということもおっしゃってるようでございますので、その点は理事長どうぞ、よろしくお願い申し上げたいと思います。以上でございます。

仁科理事長：はい。わかりました。そういう話もあるでしょう。私はそこにも書いたようにライオンズクラブの素晴らしさってのは自らの手でお金を出して自らの手で奉仕をしてくという、この両方やってるんですね。でそれがまあ幹事さんが報告すべきマンスリーレポート。これは今クラブによっては事務局員さんにやらせてるところも多いんですけど、あれも古い時は幹事が自分で書いたんですね。そして、金銭アクティビティと労力アクティビティって分けてあるんですね。これは両方やってますから金だけの寄付じゃないんですね。奉仕じゃないんですね。労力で奉仕をした人数かける時間=そこへデパレート1000円かけた時には、私もやってみたんですけど、だいたい金銭アクティビティと同じぐらいの金額になるんですね。すごい額をやってるんですね。でこれを両方合わせて、せっかくせっかくすごい金額をやってるにもかかわらず、まあ要するに日本ライオンズそれは、国際協会って資料を見ればわかるんですよ。資料を見てフィードバックされてんですけど、そのデータを使って多かったね、少なかったね、もうちょっと頑張ろう。労力奉仕でも金額にすると、こんなになるんだよっていう会議がやられてないんですね。でそういうところを日本ライオンズっていうのは数字をまとめてやるべきだ。やっぱり日本ライオンズの役割っていうのは、そういうことで、野球でいえば、7回まではジャイアンツと阪神どっちか勝った勝った。8回9回行くとわかんなくなっちゃって、セリーグが4チーム勝ってパ

リーグは2チーム勝ったんだ。みたいな話になってて。こんな極端ではないけれども、国際協会いっちゃうと、そういう話で日本のライオンズオールジャパンの変遷がどのくらいで、労力はどのくらいで、トータルでこんなにやったんだってインパクトがやっぱり計算されてない。いや見て合わせれば自分で作れるんですよ。でもそのデータ使って会議が行われてない。だから日本ライオンズのやる事っていうのは、これからそういうことで、やはり昔は日本ライオンズ、ライオンズクラブは人の金を集めて、それを奉仕に使うっていうのは、NOだったんですね。だからポケットマネーを出して全部やると。だけどポケットマネーも出し切れなくなってるし、そこでやはり賛同する、ライオンズに賛同する人たちから集めてもいいですよ。そのさいたるものは賛助会員ですよ。例会でなくても。その他に寄付だけでもする。それがさっきの話ですね。そういう人たちが集められるようなそういう会に方向とすると、持っていくということはどうなんでしょうとかという私の提案でございます。

下間常務理事：（５）理事長提案で④の理事長承認の件となっておりますけれども、その前に3つほど教えていただきたいことがあるんですけども。まず1つは、あの先ほどその大学校を作ってそこに入学させてあげたいとかっていう話になったんですけども、例えば日本大学に入れてあげるとか、また本当の学校法人の大学を目指してるのか、そうでないのか。本当の学校法人の大学を目指しているのか、確認したいって事が1つ。2つ目がこの④の新理事承認の件ってことなんですけども、日本ライオンズの大学校の校長に例えば、城阪さんをその日本大学校の理事になることを承認するのか、日本ライオンズの一般財団の方の不老さんが日本ライオンズの理事になることを承認してるのか。それとも今私たちが所属しているその理事会に入れるっていう理事にするっていう意味なのか。どっちの意味なのか確認をしていただきたい。で、最後にもう1つが前、日本LCIFっていうやつがあったんですけど、一般財団のLCIF日本LCIFがあったんですけど、これが急に名前が変わって日本LCIFから一般社団法人の日本ライオンズという名前が変わったんですけど、この名前が変わった理由はどういうふうな形なのか。以上三点を教えてもらえればと思うんですけど。よろしくお願いします。

仁科理事長：はい。ありがとうございます。了解しました。まず本当の学校てのは、一条校っていうんですけども、これは至難の業です。無理ですね。だから推薦で、日本大学へ入れるってことですね。これは、地元でも全国どこでもWEBっていうか、昔でいう通信ですね。これ大学院までありますから。それが例えば関大とか提携日本ライオンズクラブ大学校と提携できれば西日本の方は短大でもいいし、どっか東北大学かちょっと無理かもしれないけど、私立であればそういうことは可能だと思います。私が今言ってるのは、そういうことで、日本大学の東京にある日本大学のそのいわゆるスキルを使っただけで、履修ということを今考えてます。それはもちろんこれからそんなこと私が言ったからって決まるわけじゃないんです。そういう方向やったらどう。それでトライアングルっていうのがでてくるわけですね。だから今現在は前理事長は一般社団の理事長は識名さんです。それから財団の理事長は不老さんですね。それから日本大学校の学長は城阪さんです。たまたま今そういうことですから、人とするとその人が対象となります。それがこの一般社団法人の理事に入

ってもらって、トライアングルを組んだらどうかとこういうことでございます。それからあのちょっと移るかもしれませんが。私がネットで開いたやつなんですけれど、これからのさっき申し上げました、皆さんもネットでちょっと見てもらえばすぐわかりますけれども、公益財団法人ライオンズ日本財団っていうのがもう先人でありまして、ここに引っかかって、どうしてもこのライオンズクラブが使えなかったもんで、LCIFをつけた。もともと LCIFは、Lions Clubs International Foundationすから、もう文字から間違ってるんですね、それだったらLCJFじゃないですかって私も最初聞いた時にそういったくらいですから、いや色々あっても日本のという意味でやっているということで、まあ本来やりたかったところに総会が通って、そして申請したら通ったということで、類似には判断されなかったということで、めでたく本来の名前に戻った。こういうことだと思います。まあその3点が今の質問の回答ですが。よろしくお願いします。

福永常務理事：あの、ちょっと聞くんですけども、あの私もあの財団の日本ライオンズの理事の一人でございますんで、流れ経緯というのは、第1回目から聞いております。これは要は今現在日本ライオンズというのは設立はされているんですけど、組織の中に、要はどこにも現れてこない理事会のような気がしまして、一体これは何なんですか、ということのを不老理事長にも質問をしたことが過去にあります。で、このままではただ作ったよということで、寄付行為だけを募集する団体と言いますか、まあ要するに日本ライオンズになってしまうということにもありましたので、やはり社団とに入っていてこの在りを、やり方というのを理解していただくには、理事長と一緒に入らないと難しいんじゃないですかというお話をして、前回理事会の中で是非そうして欲しいということはお伝えをし、このまた現在仁科理事長にその主旨を伝え、この皆さんに承認を受けたいということで出てきてるというふうに私は判断しております。ただあのこの中で日本ライオンズ大学校、これはですねちょっと私はよくわかりません。最初の流れでいうと日本LCIF を作った時の趣旨説明の中に、この日本ライオンズ大学校というのが入っておりまして、その時の話を聞かせてもらうのは、日本財団日本ライオンズの事業の一つとして日本ライオンズ大学校というものが入ってたわけです。それで意外に寺子屋とか薬物乱用防止とかといろいろ授業がずっとありまして、今財団を公式に認めてもらうためにその授業をやらないといけない、そうしないとさっき言う寄付がですね寄付行為にならないというふうに私も認識してたんですが、ここにはその新たにまたあの大学校の城阪さんが入られて、理事になるというのに今日初めてわかったんです。これはなぜこれが別個に表れているのかが理解が出来ないんで、日本ライオンズビジョン2025委員会があるからそうなるのか、ちょっと理解ができておりません。この辺はいかがなんでしょうか。

仁科理事長：はい。じゃあ、私の方から別にこれはあの今日提案してるのは私の思いで立ち上がりはそういうことなんでしょうけれども、やはりこれを拡大して活かしていくには、私が今説明したような方法で取り入れていったらどうかということを考えてますということです。

三宮常務理事：よろしいですか。日本LCIFですね。これはす発足したときは、有志でやるんで、社団の日本ライオンズは関係ないというようなことで社団の日本ライオンズの承認は必要ないんだ。ということで発足したと聞いているんです。でそれでも

3年目位になるんですかね。国際のLCIFに対して、最初日本LCIFという名前です設立されたということは、我々のLCIFの寄付金一旦、日本LCIFを経由しているような形になるのかな、というふうに解釈していたんですけども、その我々寄付したうちのいくらかを、国際の方へ納めて。残りは日本LCIFで管理して、各クラブの事業の交付金に使うと私は解釈していたんですけども。国際のLCIFはかなりの金額を集めていて、そのうちのいくらかを投資に使って運営費を捻りだしてると。日本LCIFはそれだけのことはできないと思うんですね。我々が寄付したうちのいくらかを事務員、事務運営費に使って、100%事業には使えないという状態になるのではないということも懸念されている。そういうような、具体的な話が表へ全然出てきていないんですよ。ですからまだちゃんとした、日本ライオンズとして認めた組織ではないのかなと私は解釈しているんですけどね。そういう組織の理事長が社団法人日本ライオンズの理事長になるのは、少し違うんじゃないかと思っております。ライオン大学校の話ですが、今まで講師の研修を受けた方々、そういうような方が日本全国にたくさんいらっしゃる。こういう方を放置しておくのは宝の持ち腐れだと。きちんと組織化して、活性化のために働いてもらったらどうかとおっしゃっていただきました。これは非常に良いことだという風に思います。外部から多額のお金をだして、ゲストスピーチしてもらいより、メンバーに来てもらった方が、ずっと安くあがりますし、実のある話もできますし。そういう意味では、非常に素晴らしい考えだと思います。その組織の長が日本ライオンズの理事に入るというのもそれもちょっと違うと思います。3つ目の社団法人日本ライオンズの前理事長に理事にはいってもらおうという話なんですけども、クラブ、地区、理事を除いて全部1年交代していくんです。だから100年も続いて、同じ人がずっと居残ってるのではなく、次々と交代して運営していくから、続いているんだと思うんですね。変な淀みがなくて、それは今の日本ライオンズの前議長8名、現議長8名をはじめ、それに現の国際理事、現のLCIF国際理事の理事で十分だと思います。これ以上増やす必要はないと思っております。それと、あのついでにこの5番の日本LCIFの名称が一般財団法人日本ライオンズになった件ですけど、一般社団法人日本ライオンズと一般財団法人日本ライオンズ、同じ名前というのは如何なものかと。会員は混同してくると思います。同じ名前にする必要性はなかったのではないかと。例えば、ライオンズ日本財団ですとか、日本ライオンズ財団とか色々な名前が考えられたんだと思うんですけど、わざわざ同じライオンズの名前にする必要があったのか、ちょっと疑問に感じるんですけど。以上です。

下間常務理事：実話私も三宮さんに近いところがありまして、理由は一見悪くないように思うんですけども、先程おっしゃったように、いい方向にも動くけども、特別良くはならないかもしれないけども、悪くもならないっていうイメージがあるんですけども、その例えばの話ですけど、一般財団の日本ライオンズが頑張って、公益財団の日本ライオンズにお金を寄付してくださいって言って、例えば100万寄付しました。貯まりりは100万あります。その時はまだ、日本ライオンズの方が強いんですけども寄付してください、寄付してくださいって言って。公益財団法人の日本ライオンズに1億2億のお金が貯まるったとき、じゃあ、それを使う時に誰がどういう風に使うか決める時に、日本ライオンズ私たちがいる日本ライオンズは関与できるようになるのかなと。逆にお金が貯まった公益財団日本ライオンズの方が強くなって

しまっ、これには金だすけど、これには金出さないというようなことが起きてしまうんじゃないかと。要は、一般財団でなくて公益財団の日本ライオンズにお金が貯まった時に、そこの人事権は今の日本にライオンズにはないわけですから、今の日本ライオンズは、ガバナーが35人1年で交替でやる事は出来ますけども、えーっとそこに一般社団法人の日本ライオンズの別の財布ができる形になって、それを今度制御不能になる可能性もあるし、そこの人事権が全くつかめない状態で、その理事を、私たちのいる一般社団法人の理事にすることが、本当にいいことなのかなと疑問を感じるところがあります。ゆえに、その例えば、寄付をやったときに、寄付にならないからこういうの作るんだ、とは聞いていますけども、まあ例えば会社であればその接待交際費で落とせないこともないし、別段そんなに泣くことはないと思います。ただ先ほどその仁科理事長が言ったように、全財産の大きなやつは、遺産相続の時に困るかもしれないんだけど、例えばそんなに言うのであれば、例えば日本の政府に働きかけをして、例えば日本ライオンズに寄付したやつは、寄附行為として認めてもらうような働きかけを、誰かが国がに働きかけるとか、例えば国境のない医師団とか日赤と同じような形で見ていただけないでしょうかという働きかけをしてみてもやっていかないと、一般社団法人の日本ライオンズが、何引かれ、何引かれ一般財布ができてしまっ、なかなか収拾がつかなくなって、逆に今度そっちのその権限とか、その人の人事は、例えば5年3年4年5年ってつながって、3年だけでも更新してまた3年計6年半前だけど、また更新して計9年ってなる可能性もあるもんですから、そこら辺の中が見えない状態でやるのは、いささか怖いように思うんですけど。理事長そこら辺どのような形でお考えでしょうかと思います。

仁科理事長：最初に私申し上げましたとおり、ここで決めたからって、決まるわけではありません。是非お願いしたいのは、ここでも言ってるように、私の考え方、その提案であるということで、その範疇でできるだけ理解をしてもらうように、私は何が何でもそこへ持ってくとか言ってません。ただこれから先を見た時にね、あの真剣に考える必要はあるんじゃないかなあ、ということで私は提案してるんです。三宮さんおっしゃるように、ライオンズクラブは1年ポッキリ、それは私もさっき申し上げた通りで、ライオニズムは続くんだという表現でやってます。一部、地区においては、そのまま何とか委員会はコーディネーターは3年ぐらいやらないと成果出ないねみたいだ。そういうのはあることは事実です。それは例外と言うか、特例でやってるのもありますね。じゃあ例えば、国際協会を見た時に LCI と LCIF という言い方してますけれども、ここは両輪で回すんだ。そしてうまくいってますよね。そして国際協会の真似しろってんじゃないけれど、うまくいってることが、あればその事例を取り入れればいいので。その一番皆さん心配してるころの国際会長が終わったらその後は LCIFの理事長になるんですね。そこに今は皆さんが懸念してることは払拭できるんじゃないかなあ、というふうに思ってます。それともう1つは国際会長は1年です。しかし1年ではあの国際会長の職務はできません。そうと優秀でも無理でしょうね。ただ第3副会長で入り、あなたは3年後に会長なんですよという前提のもとで色々勉強していくわけですね。今度は第2副会長ですよ。また翌年は第1副会長ですよ。いよいよ会長ですよとだからできるんであって、まあ私もこれ頑張りますけどね。今質問あった事だっ、全部は答えられませんよ。それはねやっぱり日本ライオンズだっそれはね、1年ポッキリはいいけれど、今度皆さんやるんですよ。まだ軽く受ければ誰

でもできるけど、本気になったらこれ1年じゃ受け難いです。でも今言った三宮さん仰ることも分かってますから、そこは第3からやらんでもいいけれどもまあ第2あるいは、第1ぐらいからはやらないとこれは非常に難しく思ってます。また元へ戻します。これは決めようとしてません。私の訴えとか、考えを真摯に受け止めていただいて、グッドアイデアがあれば、仁科こうだよとやってもらえばいいんで、年度のはじめですから、私も言わないで悶々としているのもあれですから、どうせやるんだったらこのぐらいまではいきたいよねっていう思いを入れて、これ発言してますから。今日言って、皆さん拍手してもらったって、そんなの半分もできるかわかりませんよ。特に大学校なんてそうですよ。大学校の行く末は、そそいうのも面白いんじゃないかな。いいとこいくんじゃないかなって、私は本気で思ってます。まあそういう意味で私の今日は、皆さんに対する思いを訴え、一人でも賛同していただければいいかな、と思ってますんで、またたび重ねて議論したり、またあのさっき8複合 まわる時には、またそんな話もしていきたいなと思っております。また指導してくださいよろしくをお願いします

三宮常務理事：言い添えますが、私はあの財団法人日本LCIF、ライオンズ大学校に反対しているわけではなく、日本のメンバーのお金を集めて、それを有効に使うゆうのは非常に大賛成ですし、ライオンズ大学校もその、先ほど言いました、そのクラブ活性化のために、そういう講師の資格持つる方に、有効に活動してもらうのは、非常に良いことだと思っております。日本LCIFの場合はですね、お金を会員から集めるわけですから、きちっとその辺の具体的な内容を提示して、これは各複合の年次大会、準地区年次大会でかけてきちんと承認を得る、必要がと思うんですね。手順を踏んでないから、どうしてもまだ認められてない組織だ、という言い方をしてるのであって、この考え方そのものを否定するわけではないんで。手順を踏んで、きちっとして頂いたら、各メンバーの賛同も得られて、きちんとしたものが出来上がるのではないかと思います。

仁科理事長：はいありがとうございました。特にあの三宮さん対策委員長なんで、その辺の技量をもよろしく。是非私の期のうちに。あのまあ去年はもう両輪でウィンウィンで行くというのは決まって、私もほっとしてますけれども、その辺はまたご指導ください。よろしくをお願いします。

村木常務理事：ありがとうございます。恐れ入ります、あの会議時間が長引き17時までという風になっとるんですが、少しちょっと延長させていただきますことをお許し頂きたいと存じます。

福永常務理事：すいません、私もあの三宮さんの考え方ってのは、全く一緒なんですけれど、ただあのえーまあ毎年常務理事が代わり、理事が変わりいってというのは、当然の事なんですけどそのたんびにそのこの財団のことについてはですね、もう3年前ですか、2年前ですかに結成をされて承認を受けてるというふうに私は聞いておりました。でただその何をやるのということについて私もあのいろいろ理事会へ出させて頂いて話は聞いておるんですけど、さっき言われた複合とか準地区の再度、この日本財団の日本ライオンズの承認を受けてくれというのは、私の前議長をやった岡村から前年度の議事録の中にも、それを記載してあるわけでございますんで、当然それをやるべきであろうというのは感じておりますが、まあ、ようはですね皆さん方が各地区で、お金を毎回のようにならんな形でアラートとか後の色んな寄付行為ってのが発生

してる中に、この日本財団に余裕があれば、そのお金の部分をですね、負担できるという反応もあるわけでございます。たんびにお金を出せではなくて、そういう事業に対しての寄附行為を、各準地区から取るのではなくて、その一部のお金をこの日本財団の方から使っていいんじゃないか、というような話が出ておるんでどうなんでしょう。理事長あの不老、財団の理事長にもですね、やはりこの説明と言いますかね、皆さんたんびに年度が変われば、顔が全員が変わってしまうという状態なんで、やっぱもう少し細かい説明と言いますかね、こういう風な考え方だ。今あのこれあの331の福嶋（鶴嶋の間違い）常務理事おられると思うんですが、あの一実際に、このフットサルのですね、特別支援学校のフットサルの授業をこの日本ライオンズがやろうとしているわけでございますが、このページの最後の方に記載してありますが、数千万の寄付行為ってのが出てるんですね。これがまたですね、タイミングが悪いと言うか、その SON と日にちがかぶってるんです。全く。で SON の寄付をしてください。また330の地区からも、同じような特別支援学校のフットサルの開催事業をやりましょ、って言うようなことがかぶっていくとですね、皆さん準地区のガバナーにも、そういう寄付を、お願いを連続してする格好になる可能性が出てくるので、まあこういうものですね、極力避けるためには、僕は財団にそれだけの余裕があれば、やっていいという考えもあるわけです。これは、私があの私個人の考え次第でございます。んで財団がそうする、ということ言ってるわけじゃございませんが、まそういうことも含めて、この財団はほぼ認められてないと言うのであれば、なんだこの財団解散ということのははっきり言われた方がいいし、やるのであればやっぱりこの財団というのは、社団と一緒に2輪車というのは、仁科理事長も言われる通りでございますんで、そういう方向というのは、やっぱりきり示していくべきではないんでしょうか。私の意見としてはそういうことです。よろしくお願いします。

仁科理事長：ありがとう。私も今日、長い時間かけてお話ししてるのは、財団を解散の方向へもってくための会議ではなくて、皆さんに理解をしていただいて、財団をもっと本当に引き込んでいんでいける、そういう体制を取って行きませんか、という電話をしているんで、そこんところはひとつよろしくお願いします。それからの財団の話、後項目がありますんで、そこでまた引き続きやっていきたいと思いますので、そういうことで、ちょっと村木さんここでひとまとめ方向性は手続きがあるけれども、ウィンウィンでやってくという方向づけに説明もしろとか、いろんな話もありますけれども、それはクリアしながらやってるということで是非お願いしたいと。

村木専務理事：今の理事長のお話、あのとりあえずって言うわけではないんですけど、このお3方を理事にお迎えをしたい、というお話つきましては、次の理事会にまた後でご提案されて、お話を進めていくということでよろしゅうございますか。

仁科理事長：はい。ではそのような方向で進めさせて頂きたいと存じます。

下間常務理事：私はやるべきでないと思っていますけども。上程するべきではないと思っています。

仁科理事長：何をやるべきではないと思っているの。

下間常務理事：④の新理事を3名追加っていうことは、私はやるべきでないと思っています。時期早々だと思っています。ただそれ私個人の考えですのでよろしくお願いします。

仁科理事長：わかりました。

三宮常務理事：私も同じですが、執行理事会でね、また継続審議というのは分かるんですけども、理事会上程するというのは、まだ執行理事会の中でも煮詰まってないんじゃないかなと思います。

仁科理事長：もちろん、そうです。

三宮常務理事：日本ライオンズの、日本LCIFですね、のお話をもっと伺わなきゃいかんと思うんですけど。それとどういう風に活動していくのか。お金をどういう風に集めて、どう管理するのか。その辺のことを1番大事だともおもいますが。

仁科理事長：じゃ次のところで議題がでけますので。⑥のところで、次お願いします。

村木専務理事：はい、⑥番、⑤ですね。一般社団法人日本ライオンズ及び一般財団法人日本ライオンズの両輪の活動についてということで、資料の⑤がございます。⑤から次のページまで、日本一般財団法人日本ライオンズのご説明がありますけども、これは理事長、よろしいですか。

仁科理事長：はい。 まずこここのところで一番大事なところはですね、実際に、一般社団法人、財団法人から具体的なお願い事が来ていますということで、1つは日本フットサルの日本大会、全国大会ですかね、全国大会を開催したいということで、お願いをしたいというのがきております。それから、その他に寺子屋とか色々あるんで、早い話が一般社団法人日本ライオンズに寄付をお願いをしたい、具体的には1クラブ5000円？。そこまでは書いてないですけど、2000万円1000万という額の大会費がかかるということになっております。それから、さっき決まった SON 広島大会、これに対しても、具体的に支援の要請が来ております。まあ提案というか、1つ、よくあるんですけども、これは決まったことなんですけれども、オリパラまだやっていますけど、オリパラの給付金がありまして、これ3年がかり5年がかりで寄付集めて、オリンピックレベルの支援をしよう、ということでやったんですけども、現在ご存知の通りの状況、無観客でやっております。そういう意味でいくと、金額は確定してませんが、返金になる。その返金を MD にお返しするという所まで前年度の決まっています。ただ金額は決まってません。それともう1つは傾斜配分っていうか、寄付をした時のバランスで、戻しもやろうということになっております。この辺は、去年の内に合意されたところで、ギリギリだったんですけども、まあそういうことですね。その時にこれは事業費として集めたものですから、飲み食いには使えません。従って事業費として、複合レベルで何か考えてもらえませんか。なんでそういうことになるかというと、これはキャビネット返し、クラブへ返すと、せいぜい少額というか、まあ大体想像できるような金額。それは飲み食いに使えない、運営費には使えない、すなわち事業をやってください、という感じになるわけですから、したがって、そのところはできれば複合、できればキャビネット辺りで止めて、何か別にオリンピックレベルで集めたからって、オリンピックのレベルのものをやる必要はないと、思うんですけども、周年積立金みたいなところってはいかがなもんかな。目的違うよね、みたいのところあって、まあできればそういう、ワンメイクをして欲しいなあ。でも現実にはこういう支援をしてもらいたい、とフットサルとか SON とかあるわけですね。それをまた集めるのもいいです。金には何の金って書いてないから、いいんですけども、できれば複合でコントロールをして、集めないで、上手に寄付とか事業をやるとか、いうのを段取りしてほしいな、っていうのは今日の相談ですね。まあそういう意味でいくと、金額も決まって

ないのに、どうなんだと。だからこれは方向性だけで結構ですけども、複合単位で差があってもいいと思う。例えば336のように、SONをやるから、そこに全部充てるんだっていえば、それでもいいと思うし、うちは半分は日本財団へいれるし、あとは複合にいれるんだ。それでも良いと思いますし。そここのところを検討していただきたい。結論はまた相談しながら、そのうちには金額も決まってくるでしょうから、お話をしていきたいこんな風に思ってるわけですけども、鶴嶋さん、なんかフットサルの方っていうか、何かそれでお話あれば。

鶴嶋常務理事：331、私に私の所属しているA地区ではですね、他の理事さんのおっしゃるように、これが地区で承認されてないとか、複合で承認されてないってのが、ちょっと私の方では、はてなでございまして、これができた時にもうちの複合も、地区も承認をされておりまして、実はもう去年から各クラブ単位でですね、クラブ単位だと、1クラブ5万円、もしくは1会員で3000円とか80人いるクラブであれば24万とかいう、寄付の仕方をもう財団には、あの一般財団の方には入れておるような状況でございます。まあ心ある有志で、もう相当な金額を、もう日本財団の方に入れてですね。まあ目標としてはですね、これは公益財団を取って頂いてという考え方が大事でございます。それからもう1点、あの去年のですね、今年ですか旭川で起きました、クラスターで医療崩壊で大変なことに旭川が331のB地区になったという状況で、当時私はLCIFのMMDのコーディネーターをやってて、緊急でLCIFのお金を使えないかっていうお願いをされたんですけど、緊急でどうやっても災害以外はMCATの資金が降りてこないで、どうやっても申請したら1ヶ月以上かかるので、必要に防護服が必要だということを頼まれまして、実は去年のあの社団のところに緊急動議でグアムに送るやつがあるって聞いてたもんで、それを一部その旭川に送っていただけないでしょうかって聞いて、緊急動議をうちの元議長達からあげてもらったっていう経過がございます。我々331としてはですね、この財団をどう考えるかって言うと、緊急の災害用の特にですねLCIFアメリカの財団から寄付されるものに関しては、時間がかかるし、用途指定が非常に厳しいと、ここをですね、日本版に変えたものにしていきたいというのが、331全体の考え方になっております。他の地区でまだコンセンサスが取れてないっていうのが、ちょっとよくわからない内容とですね、この財団がもう1つのお財布という考え方も、ちょっと私らは意味をしてないところでございまして、というのはですね、この災害の場合は、アメリカのLCIFに頼るしかない。時間と申請が非常に難しいと。ここを日本のアラートとかですね、またこの社団とですね、タックを組んでやってるためにということの考え方を説明をして、日々皆さんから寄付行為をお願いしてるという状況でございます。どうなっても、331としては、このフットサルは成功させたいと。あの去年ですね、スペシャルオリンピックスをやった関係上ですね、知的障害の子供達、またそれを持つ家族の色々な思いを感じておりまして、そういうところから、この財団に対しては力を入れてるというような状況でございます。私の方は以上です。

仁科理事長：参考まで申し上げますけども、SONも北海道から広島へと引き継がれてもその前愛知かな。そういう意味で336の福永議長、今度はSONの件で一言お願いします。

福永常務理事：今あの鶴嶋議長から、北海道が大会中止ということで、余剰金があるという風に私も聞いてはおりますけれど、まだあの私の方も今年度今からのはっきりした実行委員会の立ち上げをするようにしております。通帳その他をですねあの作っていかないといけない。入金を受け付ける通帳でございますが、1LCIF からはですね、30万ドルというのは、これはのパートナーシップを組まれておりますので、間違いなく入金をされるということですが、当然それだけでは足りないということの中に、各1クラブ5000円、過去にですねあの徴収をしております。鶴嶋議長の方からも余剰金がまあ最終的にいくらあるという事まだ私の方ではっきり聞いておりませんので、例えば5000円が4000円で済むよとなれば、それは4000円でも3000円でもいいという風な考え方は今のとこしております。これはあくまでも強制ではなくお願いの行為でございますので、過去の実績をみても、地区によっては全く寄付をなされない地域もあるというのは事実でございます。自分のとこは関係ないと言われればそれまでのことではございますが、我々受けてる以上は必死でやらないといけない部分もございますので、淡々と今この広島地区の SON の実行委員会と話し合いをやって、ライオンズ委員会というのも当然作っていきます。先ほど8複合の中に SON の委員会もあるんですが、それ以外に実行委員会を広島地区でのお願いをしていきたいのと、前回の社員総会の席上でも仁科理事長にはお願いした、あの文章を頂きたいというのは336でやりますと。やってくれという委任の文章と我々それがおりれば、一応336- C 地区に全面的にやってくれ、ということを複合からは通達をする予定でございますので、それによってすべての準備を整えるというふうに考えております。331の議長には、またいろんなことをご指導頂きながら動きたいと思っていますのでよろしくお願い申し上げます。以上です。

仁科理事長：具体的にに要請が出ている話をさせてもらいましたが何かご意見ございますか。

鶴嶋常務理事：ちょっと蛇足になりますが、まあのオリパラで戻ってきたお金はですね、まあ私の提案ですね、331の提案としては、まずこれ必ずスペシャルオリンピックスは成功していただきたいと言うので、まあこれを一部充てたいと。まあこの日本ライオンズのこのフットサルにも当てたいというように思っておりますので、3ガバナーと良く打ち合わせをしてですね、まあうちの3ガバナーは、スペシャルオリンピックスについて、非常によくわかってますし、この知的障害の子達の大会ですけど、自分の地区からこの大会に参加するんだっていうことをよく説明をしたらですね、皆さんよく理解をしていただいたがいたって事がありますので、まあ、私は蛇足ですけどオリパラのお金が戻ってくれば、これはもうこういうところに使いたい、というように思っております。以上です。

三宮常務理事：オリパラの事業費の残金は、MDへ返金となっておりますが、先日の社員総会で松岡、当時の委員長は地区へ返金というふうにしちゃってます。で議事録のそのようになっています。でもそれを元に地区ガバナーは、自分の地区で青少年健全育成のために使いたいと思いますので、各地区で拠出金の割合に応じて返金、というふうに議事録なってると思うんです。その用途はスペシャルオリンピックスとか、フットサルとか大変すばらしい事業ですので、MDでその辺のことも進めてみたいと思っております。広島大会の支援金の事ですけれども、1クラブ5000円っていうのは、クラブのメンバー数によっては、非常に負担を感じるかと思うんですね。会員1人あた

り、300円か200円か総額なんぼかということ。そしてそれを集めるためには、どれくらいか計算さんすればいいと思うんですけども。そういう金額の方が協力が得やすいんじゃないかなという気もするんですね。12、3人のクラブで急に5000円言われても大変かなと思ったりします。それとこの支援の決定が日本ライonzからトップダウンで地区へおりていってるんですね。それを各複合地区とか、キャビネット会議とかで、ちゃんと説明をして、議論をして、じゃあ、やろうというふうな賛同を得て、そういう手順が必要なんではないかなと思います。そうすれば、かなり盛り上がってくるんじゃないかなと。それとちょっと申し上げましたが、一般財団法人日本ライオンズに名称変更しました、いうてんですけど、理事長のライオン不老、早々たるメンバーの方々、本当に苦労をなさってるかと思うんですけども、これが日本ライオンズという名称でなければいけなかったのか。どういうわけで社団と同じ名前になったのか。その辺がどうもう一度お聞きしたいなと。他の名前はあったんではないかという気がするんですけど。その辺は如何でしょうか。

仁科理事長：私から見ればウィンウィンの良い名前に戻って良かったなという風に、思っております。誰かもおっしゃったように、機動力と財布と、これ一体でなければ作業でも福永議長からも日本ライオンズからお墨付のきやってくれ、みたいな文章を欲しいっておっしゃるけれども、私も出したいのは山々ですけども、皆さんの裏付けになればやって、財布もないし何もないしみたいなねそれではいくら元気あっても空手ができるわけにもいかない。そういう意味ではあの今日もいくつかの提案をしています。そして今日、結論は出しません、出ません。それはそうです皆さんのこれから考えてもらって、ただまあ私の提案してることは真摯に受け止めてもらって、そして是非このライオンズクラブ、日本ライオンズそして大学校も含めて私はいけると思うので是非前へ進めてもらいたいなという風に思ってます。それから今聴いていてもわかる通り、やっぱり度々お金を集めるんじゃなくて、もし返ってくるお金があれば、複合のコントロールの中で、このぐらいいはだせるけど、こうだね、みたいなガイドラインを示すっていえば、半分ずつとかまあそういうことなんでしょうけど、1皿あるから331は336は一生縁のあるからって言えば、それもそれで考慮のひとつだと私は思っています。ただ1番はやっぱり財団に集めて、そこからやっぱりこういうものにだしていくべきじゃないかな。時期尚早という意見なんでしょうけれども、方向性とする、ということじゃないかなと思ってます。また、アラート委員会っていうのがありますけれども、これは日本のアラート委員会っていうのは公益に渡ってかつ大災害そして人道的な支援が必要、という場合に動くべきであって、それは1地区にあればまずそこにはブラザークラブもあるし、そこにはキャビネットもあるし複合もある、その範疇で手が及ばない時は、日本ライオンズが出るべきだと私は思ってます。それに先んじて出る必要は全くない。すなわち、地区の皆さんとの意見意思疎通の中で、応援大使に会える。そのお金もそのたんびたんび集めるんじゃなくて、やっぱりキャビネットでは今年の予算を組んでますから、8月9月になってまたフットサルの金くれ、あの金くれってなったって、これは手続きとすれば当然のことなんですけれども、出す方も出しやりづらいいろんなものなんでしょう。私も経験上そう思います。だからやっぱり出すものは、日頃は集めておいて、そして出す時はその財布の中から出せるような、そういう形を将来は構築していくべきだと感じているもんですから、こんな提案をしております

す。いずれにしても、今お二人の議長さんからフットサル並びにSON対しては前向きに応援するっていう。そこんとだけは、どうしても、今日はいくらどうするって話じゃなくても、そこだけはやってもらわないと、私もこの後電話でもして、それぞれにお断りしなきゃいけない、どうでしょうか、今日よろしければご賛同お願いしたいな。こんなに思っております。よろしくお願いします

山本常務理事：財団がやろうとしてる事業については、何の問題もないというか、まあ是非向け取り組んでいただきたい、私も考えてます。ただ一点心配をしておるところが、LCIFでさえ各クラブの皆さんの理解度というのは、我々の理解でもはるかに低いところはたくさんあります。そういう中で、並行して取り組みを、まあ同じ目的でやり方が違うかもしれませんが、財団が出来上がるというのが、さらに混乱をきたす可能性が高い、と私は考えてます。ですのでこれまで以上に、情報の量を増やしていただきたい。財団から出てくる情報量の少なさというのは、私が昨年ガバナーやってる時でも、各クラブから質問をされたことに対して答えられない。そういう状況、やっぱり今でも続いているかと思いますので、名称が変わったってことも、私は私の認識不足かもしれないんですけど、今日は初めて知りました。そういうところからしても、情報不足ってのが非常に大きな問題じゃないかな。お金を出していただくのが、各クラブの皆さんあるいは会員の皆さん方からいただかなきゃいけない。とするとこの辺の理解度を高めていかないと、LCIFと同様に日本財団、財団法人がですね十分理解されない中で、そのLCIFと同じような取り扱いをのせ方をしてしまうんじゃないかな風に感じてますので、これがこの理事会で執行理事会で話しすることはいいかどうか、ちょっと分からないんですが、ぜひ財団の方にも伝えて頂いて、情報量の少なそうな私たちは感じてるので、改善をしていただきたいと思います。

仁科理事長：私の方からも各長にお伝えしておきます。それから我々も、必要書類を取り揃えて、できるだけ流すようにやって参りますのでよろしくお願いします。鶴嶋さんの方からお願いされている、フットサル、SON、これには金額の大小は決まりませんけどもこの執行理事会としては、支援してくということでもよろしいでしょうか。よろしければ挙手をお願いします。

はい。全員の皆さんの賛同を得ました。ここだけは鶴嶋さん福永さん今日はそこまでしかできませんけれどもよろしくお願いします。

村木専務理事：ありがとうございました。理事長の方から、5番6番7番にあたってご説明も決議も頂戴いたしましたので、最後になりますけれども4番の報告事項をお願い致します。SONゴリサーノのアワード受賞に関して。

仁科理事長：さっき申し上げた通り、これをこの案内は、皆さんのどこへいてるんですけね。

菅原事務総長：いっております。前回はこれは議決されておりました。当然あのSONの場合はですね、経験をしておりますので、やらざるを得ないっていうことで、前期でこれは決議されております。ただ現実には、細かいことについてはまだ決まっておりません。ただ北海道の方から、これ鶴嶋議長本日おいでになりますけれど、すでに渡辺元議長の方から資料がきておりまして、これも広島の方に既に資料がいてると思います。残金のが6646413円あるけれど、これについては口座をお知らせしていただきたい次第、広島の方へ送りますよということも前回報告申し上げており

ます。現時点ではそういうことになっておりますので、宜しく願い申し上げたいと思います。それから、オリパラの方に関しましては、残金については、先ほどから皆さんがおっしゃってる通り、一応全部それぞれのパーセントで出て併せて、実施権に合わせて返金すると、各準地区に返金するというようになってるだけは、決まっております。その後の処理については、今話し合った通りでございますので、よろしくどうぞお願い申し上げたいと思います。以上でございます

仁科理事長：事務総長ゴリサーノ受賞のことについては、ちょっと説明してください。

菅原事務総長：識名理事長が表彰されて、先ほどで理事長からお話のあった通りでございます。日本で初めての受賞でございます。ご立派なのが識名理事長の方に楯がいておりまして、それは皆さんに報告させて頂いたと同時にその時に出して、WEBで流しております。その楯を今回先ほど理事長お話しした通り、全地区に対してお配りするというようなことを、ちょっとお話が出ておりました。現実にはまだ細かいことまでは、ちょっとわかっておりませんが発注するって言うの言葉を聞いております。

仁科理事長：アワードについてこれは好識名理事長個人じゃないですよ。あの団体がもらったってことでしょう。

菅原事務総長：日本としてもらったことでございます。 社団法人に対してももらったことでございます。現執行理事の皆さんへその時の資料はもう一回流す。

仁科理事長：素晴らしいなかなかもらえない賞を一般社団法人日本ライオンズはもらったんだよ。識名理事長が代表でもらったんですけど、レプリカを各複合においてください。そういう意味でお配りすると。必ず作って下さい。

三宮常務理事：その実は先週の金曜日ですかねえ。LCIFの鈴木理事より各地区キャビネットにアンケートの要請がありまして、薬物乱用防止教室を日本でどれくらいしてるか。各クラブがどれだけしているかまとめてほしいと。直接お電話して聞いてみました。

そしたらLCIFの方にデータとしてちょっと示したいと日本でこれだけ薬物乱用防止教室をやってるんだと。すると国内では教育委員会とか警察とかに薬物乱用防止教室のPRに行く際にこのようなデータがあった方がいいだろうということでちょっと整理したいんやというお話だった。それは非常に良いことだと思うんですけども、鈴木理事個人が出されるよりも日本ライオンズのライオンズのクエスト薬物乱用防止委員会があるわけですから、理事長とその委員長連名で各複合地区々経由で各地区へ再度、鈴木理事からこういう依頼がある、あったかと思うけども、日本ライオンズとしても改めてお願いをしますというようなことを、出された方ががいいんじゃないかと思うんですけども。それで、その鈴木理事のメールには期日が書いてなかったんですけども、これも具体的に理事に聞きますとで、きるだけ早い方がいいんだというお話なんで 具体的に期日を書いてされたいかがかなと。思うんですけども

あの委員長さん、ライオンズクエストいらっしゃいますんで。

仁科理事長：三宮さん、失礼な聞き方なんですけども、三宮さんがそちらの方にたけておられるから、そちらへ電話入ったのかね。

三宮常務理事：いや、私がしたんです。締め切りの期日が書いてなかったもんでね。

どういう理由でこういう理由アンケートすることになったということもお聞きしようと思って電話しました。

仁科理事長：その辺は村木委員長とその辺の相談をしてもらって、急いでるのかね。

三宮常務理事：できるだけ早い方が良いとおっしゃっていました。

仁科理事長：じゃあ、委員会開いて事務局では、データの収集に

三宮常務理事：16年間位ありますからね……。各クラブで調べて地区でまとめて、それを複合でまとめて、日本ライオンズ送った方がいいかと思うんですけどね。

仁科理事長：私が就任にあたっての挨拶の時に言ったように、1952年に日本にライオンズの火が灯されて、来年の3月で70周年なるんですね。それでまあ、こういうコロナ禍の中ですから、プロジェクトと言うか、実行委員会というか、何か作って事に日本ライオンズとしてね、もう70のアニバーサリーをみんなで喜んで、また次の年度へ向かってく、みたいなそういう節目の何かをやられたらどうかなというのは、今日はあの提案というかね、私の口火をきっときますんで、その他で色々事情はあると思います。他のやっぱり東京ライオンズができて、まあその代わりをするのはもう本当に数寄屋橋ライオンズクラブしかないんじゃないかと思います。

村木専務理事：東京ライオンズクラブがありますから。

山川副理事長：その他のところで宜しいでしょうか。今日、三宮会則委員長さんもおられますんで、1つ。MDのコーディネーターの決め方なんですけども、前期日本の会則の委員会でエリアリーダーが推薦をし、議長が承認するという、一応決定事項という形で降りてきたんですけども、私はそれちょっとあの、実際現実的にどこなのかなと思ったんですが、実際議長さんで、それを承認した方っていらっしゃるのかなっていうもんですけど。少なくとも私はコーディネーターの承認をしておりません。そういう中でそういう決定をされたのであれば、ちゃんとしたルールとして、しっかりと定着させて頂く。基本的に、あの、エレクトの会議で役員さん全部決めますんで、会則ともちょっと違うのかなと思ひまして、もう一度あのその中身に関しては精査して頂きたいというのがありまして。三宮会則委員長に改めてお話をさせていただきます。もう1つの大きな問題として、LCIFのコーディネーターがですね、一般財団日本ライオンズの方から辞令のようなものをもらって降りてくるわけですね。辞令を貰うってことは、もう推薦の域を超えてるわけでありまして。だからその辞令というのはそもそも私はちょっとおかしいんじゃないかなと思ってまして。あのまあもちろんMD333のコーディネーターさんは問題が無い方で、その事について、文句を言ってるのではなくて、その決まり方っていうか、降りてきた問題があるかと。辞令を出すということは、決まってますねという形で降りてきてるわけですね。それはちょっと違うので、この後の話にもつながりますけど、お伝えいただきたいなと思います。それと今日の仁科理事長のご提案ですけれども、先程の3名に理事に関しましては、理事会で承認を頂くのは、当然でありますので、その中でよくご説明を頂ければいいのかなという風に思います。日本の前理事長でありますけれども、MDでも当然ガバナー協議会の構成員として前議長というのは残っておりますし、やはりアドバイザー、相談役的な立場で残って頂くのは、私は当然なのかなと考えております。また、オリパラ、広島の件

でございますけれども、準地区の方にお金を返すのは決まっておりますので、それはそれとして、ガバナー協議会、MDの方におろしていただいて、ガバナー協議会でもんで頂いて、その辺の拠出をしていった方が、私はスムーズに行くのではないのかなという風に思います。

三宮常務理事：先程のコーディネーターの任命の件、たしかにおっしゃる通り、ガバナー協議会からの任命は、別に日本ライオンズの方から、あるいは、国際協会の方から任命が降りてくる役職もございます。その辺の整理は必要かと思います。国際協会から降りてくる分については、日本ライオンズではないんですけど、日本ライオンズの中で、そういう区画割りというのは整理する必要があるんじゃないかと思います。例えばアラート委員会にしましても、日本ライオンズにもアラート委員会があります。各複合地区のアラート委員長さんが、委員として委嘱されて構成されているんですけども、それとは別にアラートチームといひがあるんですね。今2人の東日本統括リーダー、西日本の統括リーダー、その下に班長さんがおって、3人今期から副班長さん、そういう組織があるんですけど、それは、日本ライオンズから任命されるんですね。複合地区ガバナー協議会、あるいは地区ガバナーは、それにタッチしてない。アラートチームってなんやと。実働部隊です。実働部隊であれば、そんな並列の組織ではなく、アラート委員会の中の実働部隊でもいんじゃない気がして。この辺は今期考えていきたいと思います。特にアラートチームで職務任命された方のプロトコルがどこになるんか、全然不明なんですよ。決めようがないんですよ。その辺もやっぱりきちんとしていきたいな。本人からもプロトコルでどういう位置になるんでしょうかと聞かれてますしね。例えば地区外へ行って、災害の状況なんかを調査して。支援の情報を収集しても、行ってもプロトコルがはっきりしないから、どなたですかということになるんですね。その辺のことも考えていきたいと思います。

菅原事務総長：班長の任命に関しましてはですね、あくまでも議長のご推薦の下、理事長が任命するということになっていますので、議長が推薦されない方は、任命されませんので、これはあの規約に則りますのでよろしくどうぞお願い申し上げます。

三宮常務理事：それは、理解しております。日本ライオンズから任命されたんやと、いう風に言ってますんですよ。ガバナーに対しても。だからその辺がもうひとつ、やっぱり組織として、もうひとつできてないのかなと。

山川常務理事：たしかにプロトコルをつけてあげないと可哀そうな立場になっているのは、事実だと思います。班長さんに関しては、確かにMDの方で承認をしておりますので、まあそうは言いながらも、班長さんてなんなの。プロトコルないよねっていう話になってしまいますので。その整備は何とか今期中にしていただければ。わたしもアラートの委員長ということでお受けしましたので、解決すべきところは解決していきたいと思います。アラートの考え方については、仁科理事長と大きな考え方の違いはございませんので、ただ、私の考えもございまして色々とこれからご提案なりご承認なり頂きながら、進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

村木専務理事：それでは、本日のまとめに入らしていただいて、よろしゅうございますでしょうか。ちょっとだいぶ時間もオーバーしてしまいまして、ちょっと皆様お顔色が、だんだんお疲れになってきたような感じですので、次第に基づきまして、何か変わったところというのはですね、あのグラフ表等々参考にさせていただいて、先ほど下間常務理事が担当の委員会ですか、お変わりわりになられると、4番から2番に変わるというところが大きなところでございましょうか。あとは理事長の方からのご提案事項の④、ところからですね若干これは継続審議というような形でよろしいんでしょうか理事長。

仁科理事長：はい、そういうことですね。次回必要において、その長に加わってもらって説明してもらったり、そういう機会を設けようと思っております。方向性とする、何とかせつかくできている、まあ両輪である社団と財団、そして学校をうまく皆さんとのコンセンサスを得た中で、トライアングルでうまく推進できないかなというのを模索していきたいということであります。

村木専務理事：専務理事という立場をちょっと離れて申し上げるとすればですね、あの理事になっていただく、いただかないに関わらずですね、先ほどの一般財団法人ライオンズの理事長さん、それからライオンズ大学校長さんの方々にですね、是非あの理事会執行理事会にも来ていただいて、いろいろお話を伺いながら、一般社団法人日本ライオンズとどういう風にうまく関わっていけるのか、基本的には、変な言い方おかしいですけど、皆さんあの素晴らしい方がばかりなんで、どうやって上手くその2つの輪、4輪がですね、2輪4輪が回っていけるかということですね、積極的に理事長を含めて、理事長の方からご提案をいただいて、前に進めるように、この1年間やって生きていければという風に思っていますんで、よろしくお願いいたします。最後に鶴嶋議長最後の閉会のご挨拶していただけますか。

あの議事録も書いてかなきゃいけない、いろいろあれですけど。

鶴嶋常務理事：長時間にわたり皆さん、大変お疲れさまでございました。活発な議論ができてですね、これからの社団もすごく楽しみなところでございます。なかなか、たくさん問題が山積みになってるところでございしますが、皆さんの知恵をたくさんお借り頂きまして、いろんな意味で改革をしていきたいというように思うところでございます。本日は長時間にわたり、ご苦勞様でございました。またよろしくお願いします。



336 複合地区西日本水害復興支援委員会 次第

日 時：2021 年 10 月 19 日（火）13：30～15：30

場 所：ホテルグランヴィア岡山 3F 「クリスタル」

岡山市北区駅元町 5-1 086-234-7099

出 欠：

役 職	氏 名	出席形式
元国際理事・GAT 日本全域リーダー	中村 泰久	REAL
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	REAL
336 複合地区 LCIF コーディネーター	橋本 充好	REAL
336-A 地区ガバナー	蔵本 守雄	欠
336-B 地区ガバナー	平山 智雄	REAL
336-C 地区ガバナー	三島 英揮	REAL
336-D 地区第一副地区ガバナー ※大野ガバナー代理	中島 繁	REAL
336-B 地区元ガバナー (倉敷真備ライオンズクラブ)	小野 宗次	REAL
336-B 地区元キャビネット会計 (倉敷天領ライオンズクラブ)	眞治 憲之	REAL
倉敷真備ライオンズクラブ会長	田村 龍一	REAL
倉敷真備ライオンズクラブ	蒔田 典幸	REAL
倉敷真備ライオンズクラブ	守屋 弘志	REAL
倉敷真備ライオンズクラブ事務局員	丸川 和子	REAL
336 複合地区事務局運営委員会委員長	森田 安芸彦	REAL

1. 開会挨拶 元国際理事・GAT 日本全域リーダー 中村 泰久

2. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 福永 栄一

3. 議 題 「真備町復興支援に対する LCIF 交付金事業進捗状況について」
※現状報告

4. 質疑応答

5. 閉 会

申請NO.43 6B-08293

交付金給着

Multiple District 336

交付金管理責任者：：

Mitsuyoshi Hashimoto

2019-2020 Council Chairperson

交付金番号: DES 18015/336

DES 18015/336

交付金額：.

US\$366,972

¥40,366,920

交付金の目的：：

Disaster Prevention Community House

承認日：：

4-Mar-20

[illegible]

災害に強いまちづくり支援事業－標識と防災碑の設置

Multiple District 336

Mitsuyoshi Hashimoto

2019-2020 Council Chairperson

DES 17791/336

US\$45,110
¥4,916,990

Disaster 3D maps and signage in Mabi-cho

15-Jan-20

[illegible]

336複合地区 GMT報告書 (2021年9月末現在)

336複合地区GMTコーディネーター 真鍋 隆
(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度					0
前年度期首比	-104	-145	-66	-67	-382

(単位：人)

四半期会員増強計画 期間：2021年7月1日～2022年6月30日

	A地区 蔵本 守雄		B地区 平山 智雄		C地区 三島 英揮		D地区 大野 美雄		336複合地区 合計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	100	110	50	59	50	74	50	56	250	299
退会見込み者数	80	134	45	49	30	53	40	48	195	284
10月～12月	150		50		50		50		300	
退会見込み者数	80		10		30		40		160	
1月～3月	100		50		50		40		240	
退会見込み者数	80		5		30		30		145	
4月～6月	50		50		50		40		190	
退会見込み者数	90		30		80		69		269	
会員増強計画 計	400		200		200		180		980	
退会見込み者数 計	330		90		170		179		769	
会員純増目標 合計	70		110		30		1		211	

※チャーター20を含む ※チャーター60含む

会員増強計画に対する方法

A地区ガバナー 蔵本 守雄	純増70人を目標にし、会員の健康維持を第一に考えて現会員には長生きをしてライオンズ活動をと願っています。若い方に入会して頂くためにJC、IT関係の会合に出席して声掛けをします。女性会員を増やしたいのでデニス同好会等の会員にもお逢いして、そのような団体を支部結成できるよう努力す
B地区ガバナー 平山 智雄	例会が楽しくなければ退会者が増えるので、各クラブとも「楽しい例会」をして頂きたい。またASK1の運動、そしてクラブ内でも会員セミナーを実施していただきたいと思ひます。
C地区ガバナー 三島 英揮	ガバナー諮問委員会やセミナー等でスライドを用いてデイズカッション等を行い会員増強について周知徹底を行っている。 ※7月～9月のMYLCI上では退会者53名だが、実際には年度末（6月）16名の退会者の報告を行っていないため、今期になって退会処理されたため、実数は37名である。
D地区ガバナー 大野 美雄	あらゆる機会をとらえて増強を奨励する。期間後半での退会防止を呼び掛ける。楽しいライオンズライフが送れるよう、親子クラブ、近隣クラブとの交流を奨励する。
336複合地区 GMTコーディネーター 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2021年9月末現在 国際本部集計

*増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	193	0	0	0	5,584	82	65	17	4,033	1,551	27.8%	1,403	25.1%	465	938	4,181
330-B	151	0	0	0	3,749	94	51	43	3,139	610	16.3%	360	9.6%	105	255	3,389
330-C	74	0	0	0	1,829	21	23	-2	1,522	307	16.8%	229	12.5%	77	152	1,600
330MD	418	0	0	0	11,162	197	139	58	8,694	2,468	22.1%	1,992	17.8%	647	1,345	9,170
331-A	71	0	1	-1	2,452	44	15	29	1,999	453	18.5%	349	14.2%	78	271	2,103
331-B	74	0	0	0	2,191	21	29	-8	1,809	382	17.4%	307	14.0%	47	260	1,884
331-C	44	0	0	0	1,574	22	23	-1	1,285	289	18.4%	246	15.6%	63	183	1,328
331MD	189	0	1	-1	6,217	87	67	20	5,093	1,124	18.1%	902	14.5%	188	714	5,315
332-A	56	0	0	0	1,850	31	14	17	1,409	441	23.8%	355	19.2%	72	283	1,495
332-B	50	0	0	0	1,996	37	23	14	1,322	674	33.8%	697	34.9%	133	564	1,299
332-C	54	0	0	0	1,525	21	28	-7	1,093	432	28.3%	391	25.6%	85	306	1,134
332-D	69	0	0	0	2,307	48	22	26	1,741	566	24.5%	509	22.1%	115	394	1,798
332-E	52	0	0	0	1,703	43	16	27	1,363	340	20.0%	273	16.0%	49	224	1,430
332-F	45	0	0	0	1,278	21	13	8	931	347	27.2%	290	22.7%	54	236	988
332MD	326	0	0	0	10,659	201	116	85	7,859	2,800	26.3%	2,515	23.6%	508	2,007	8,144
333-A	71	0	0	0	2,701	64	23	41	2,295	406	15.0%	220	8.1%	69	151	2,481
333-B	46	0	0	0	1,429	17	21	-4	943	486	34.0%	430	30.1%	111	319	999
333-C	114	0	0	0	2,861	51	31	20	2,253	608	21.3%	364	12.7%	125	239	2,497
333-D	49	0	0	0	1,914	29	31	-2	1,417	497	26.0%	463	24.2%	105	358	1,451
333-E	80	0	0	0	4,202	72	51	21	2,966	1,236	29.4%	1,309	31.2%	401	908	2,893
333MD	360	0	0	0	13,107	233	157	76	9,874	3,233	24.7%	2,786	21.3%	811	1,975	10,321
334-A	110	0	0	0	5,320	102	57	45	3,676	1,644	30.9%	1,572	29.5%	314	1,258	3,748
334-B	77	0	0	0	3,871	52	51	1	2,854	1,017	26.3%	1,110	28.7%	262	848	2,761
334-C	76	0	0	0	3,034	68	55	13	2,610	424	14.0%	300	9.9%	39	261	2,734
334-D	93	0	0	0	4,800	99	90	9	3,397	1,403	29.2%	1,352	28.2%	235	1,117	3,448
334-E	49	0	0	0	2,359	32	13	19	1,652	707	30.0%	673	28.5%	162	511	1,686
334MD	405	0	0	0	19,384	353	266	87	14,189	5,195	26.8%	5,007	25.8%	1,012	3,995	14,377
335-A	69	0	0	0	1,805	44	24	20	1,430	375	20.8%	141	7.8%	28	113	1,664
335-B	151	0	2	-2	6,345	130	69	61	4,513	1,832	28.9%	1,577	24.9%	344	1,233	4,768
335-C	102	0	0	0	3,680	74	36	38	3,052	628	17.1%	345	9.4%	84	261	3,335
335-D	57	0	1	-1	1,767	40	13	27	1,405	362	20.5%	238	13.5%	53	185	1,529
335MD	379	0	3	-3	13,597	288	142	146	10,400	3,197	23.5%	2,301	16.9%	509	1,792	11,296
336-A	140	0	0	0	5,390	110	134	-24	4,146	1,244	23.1%	837	15.5%	166	671	4,553
336-B	87	0	0	0	2,840	59	49	10	2,203	437	16.6%	241	9.1%	46	195	2,399
336-C	82	0	0	0	3,024	74	53	21	2,488	536	17.7%	381	12.6%	74	307	2,643
336-D	88	0	0	0	2,761	56	48	8	2,425	336	12.2%	127	4.6%	18	109	2,634
336MD	397	0	0	0	13,815	299	284	15	11,262	2,553	18.5%	1,586	11.5%	304	1,282	12,229
337-A	113	0	0	0	4,572	101	52	49	3,388	1,184	25.9%	795	17.4%	159	636	3,777
337-B	64	0	0	0	2,299	56	30	26	1,863	436	19.0%	316	13.7%	59	257	1,983
337-C	73	0	0	0	3,222	38	47	-9	2,239	983	30.5%	968	30.0%	276	692	2,254
337-D	67	0	0	0	2,123	71	34	37	1,764	359	16.9%	201	9.5%	43	158	1,922
337-E	55	0	0	0	1,729	18	16	2	1,397	332	19.2%	251	14.5%	75	176	1,478
337MD	372	0	0	0	13,945	284	179	105	10,651	3,294	23.6%	2,531	18.1%	612	1,919	11,414
総計	2,846	0	4	-4	101,886	1,942	1,350	592	78,022	23,864	23.4%	19,620	19.3%	4,591	15,029	82,266

第1回 8複合地区 GST コーディネーター会議 議事録

日 時：2021 年 8 月 18 日（水） 13：30～16：25

会 場：ウインクあいち 18 階小会議室 及び web による

出席者：GAT 日本全域リーダー 元国際理事 L.中村 泰久

GAT エリアリーダー L.鈴木 誓男

GAT エリアリーダー L.識名 安信

330 複合地区 GLT コーディネーター L.濱野 雅司

330 複合地区 GST コーディネーター L.井田 渉

331 複合地区 GST コーディネーター L.松浦 淳一

332 複合地区 GST コーディネーター L.岸 秀年

333 複合地区 GST コーディネーター L.田中 勝司

334 複合地区 GST コーディネーター L.浜島 清美

335 複合地区 GST コーディネーター L.江草 長史

336 複合地区 GST コーディネーター L.澤 辰水

337 複合地区 GST コーディネーター L.高橋 抒見

OSEAL 調整事務局 局長 マーズ 佐子

GAT スペシャリスト 畠山 直子

1. GAT 日本全域リーダー挨拶と報告

今期は特に GAT 横の連携を強めることで、会員維持・増強を図りたい。GST においては、MyLion 報告率アップもさることながら、コロナ禍におけるインパクトの高い、そしてメンバー満足度の高い奉仕活動を準地区・クラブへ紹介できることが大切。

また、GMA プログラムにおいて、GST には「質の高い奉仕活動」についてのフォローをお願いしたい。

2. GAT エリアリーダー挨拶

鈴木 誓男 エリアリーダー

近年の退会者数の推移を鑑みると、各地区が2～3クラブをエクステンションしなければ、会員純増は為し得ない。そのためには、GAT メンバーの垣根を取り払って取り組んで欲しい。

識名 安信 GST 担当エリアリーダー

現下の会員減少を食い止めるためには、感動のあるアクティビティ、ニーズに沿ったアクティビティを実践することで、メンバーのライオンズスキルが高まっていくこと、崇高な精神を感じ合えることが大切と考える。つまり、これまでのアクティビティを見直し、継続すべきこと、見直すべきこと、今求められることを深く考え、実践していくことより他にはないと思われる。

3. 2021-2022 年度 GST の優先事項・活動計画と考え方について

「感動を覚える活動」を通じて、メンバー満足度を高めることに尽きる。そのための有用な情報を地区・クラブへ届けることが GST の優先事項と考える。

① 地区 GST・ゾーンを通してクラブへの働きかけ

- ・web ミーティング：地区 GST との連携を日本全体で図る
- ・『思いやりは大切なことアワード』の奨励喚起を通じて、アクティビティ成功例の集積を図る

② 他チームとの連携の強化

GST 主催のチャリティ企画などを実践することで、LCIF キャンペーン 100 への貢献を模索したい。

今期の活動を成功させるためには、地区コーディネーター、ゾーン・チェアパーソンとの連携がカギとなる。皆さんで、成果を上げて祝いあえることを願っています。

4. 2021-2022 年度複合地区今期の活動目標や行動計画・予定等の報告

MD330 L 井田 渉

今期の主な計画

- ・MyLion 報告率の地区目標達成
- ・複合地区内でのグループディスカッションについて、説明があった。

MD331 L 松浦 淳一

今期は地区コーディネーターもガバナー協議会のメンバーに入っていただくこととなり、GAT の連携強化を図るための体制を作ることができた。また、奉仕活動では、8 月 8 日に開催した札幌でのシングルマザー食糧支援活動は、今後の活動に示唆を与えるものとなった。今後継続する中で、よりインパクトを高めていきたい。

人口分布に偏りのある複合地区ではあるが、地域に根ざして多くのメンバーを確保しているクラブもある。そのような成功例を紹介しながら、複合地区全体を盛り上げていきたい。

MD332 L 岸 秀年

本来は明日ガバナー協議会が開催される予定だったが、急遽中止となった。GST コーディネーター会議は 8 月 26 日に web で開催する。

中心的な活動としては、昨年度取り組んだ「地域社会奉仕ニーズ調査」を今期も継続的に展開する。また、地区ガバナーが掲げる地区目標の中でも特に MyLion 報告率について、数字の推移を注視しながら、目標達成に向けて支援したい。

332-A 地区が GMA パイロット地区となっているので、複合地区内の全地区コーディネーターには、A 地区の推移を見守り、支援することで、来期の GMA 本格スタートに向けた準備を図りたいと考えている。

MD333 L 田中 勝司

昨年度は地区ガバナーとして奔走していたため、未だ GST コーディネーターの役割について理解が不十分ではない状況。会員増強に向けて、GLT・GMT・FWT コーディネーターとの連携を強化しながら取り組まなければならないと認識しているが、具体的な活動については、不明なことばかりなので、教えていただきたい。

MD334 L 浜島 清美

8 月 11 日に GST 会議を開催した。地区ガバナー、ゾーン・チェアパーソンとのコミュニケーションを強化する方策として、協議会議長より複合地区 GAT 会議を開催してもらうこと、準地区のキャビネット会議、ガバナー諮問委員会に GAT も出席させていただくことなどが挙げられた。また、若年層のメンバー交流会の中で、自らがやってみたい奉仕活動についてアイデアが挙げられたことを受け、それらを地域ニーズとマッチングをして、実践に結びつけることができればよいと考えている。多くのメンバーが共感する感動のアクティビティをストーリー仕立てにして紹介することで、感動の共有を図りたい。

MD335 L 江草 長史

7 月末に GST 会議を開催した。主な取り組みとしては、

- ・グローバル奉仕プログラムの推進
- ・視力保護プログラム（甲南大学での古眼鏡回収プログラム）
- ・アドボカシープログラム（京都でのイエローリボンプログラム）
- ・MyLion 報告率 100%達成

を考えている。

特に古眼鏡回収プログラムについては、甲南大学で収集が始まっており、主体となって活動するクラブとの橋渡しをしているところである。

また、京都において、一般市民の方々を対象に盲導犬だけでなく聴導犬、福祉用具についての PR をする準地区奉仕活動が計画されており、複合地区からの支援を検討中である。

MyLion 報告率については、前期 100%達成地区には、今期世界最速 100%を目指していただく。

MD336 L 澤 辰水

8 月 26 日にガバナー協議会が予定されているが、開催できるかは不透明な状況。地区としてはアラート活動に力が注がれており、地域社協との連携などが進められている。

MD337 L 高橋 杼見

新任コーディネーターとして、皆様の力を借りながら、MD337 を盛り上げていきたい。GST として、地域で注力されている献眼・角膜移植推進活動は、より多くのクラ

ブで取り組まれるよう支援していきたい。

5. 協議事項

- ・「思いやりは大切なこと」アワードの今後の進め方についての確認
マーズ局長より、各レベルの推薦書提出期限の延長案について説明があった。
提出期限の延長及び、推薦書式の変更について承認された。
- ・クラブ参加奉仕アクティビティウェブセミナーの開催計画について
中村日本全域リーダーより、趣旨についての説明があった。
11月頃の開催に向けて、詳細を検討していくこととなった。
- ・今期活動計画について
MD330GLT コーディネーター濱野雅司 L より GLT の取り組み内容について説明があった。
○次世代リーダーシップの育成
○会員維持及びクラブ活性化
という点について、GLT・GST が共有する事柄となっている。これらを連携して取り組む必要性が確認された。

6. 事務局報告事項

- ・MyLion 報告状況について
- ・アドボカシーについて
- ・地域ニーズ調査ほか、GST 関連国際協会リソースについて
それぞれマーズ局長、畠山 GAT スペシャリストより説明があった。

7. その他

次回会議開催予定は9月末と確認された。

第3回8 複合GSTコーディネーター会議議事録

日 時：2021年10月6日（水） 10：00～12：00

会 場：web

出席者：GAT 日本全域リーダー 元国際理事	L. 中村 泰久
GAT エリアリーダー（GST 担当）	L. 識名 安信
330 複合地区 GST コーディネーター	L. 井田 渉
332 複合地区 GST コーディネーター	L. 岸 秀年
333 複合地区 GST コーディネーター	L. 田中 勝司
334 複合地区 GST コーディネーター	L. 浜島 清美
335 複合地区 GST コーディネーター	L. 江草 長史
336 複合地区 GST コーディネーター	L. 澤 辰水
337 複合地区 GST コーディネーター	L. 高橋 攄見
OSEAL 調整事務局事務局長	Ms. マーズ 佐子
OSEAL 調整事務局 GST スペシャリスト	Ms. 畠山 直子

1. 開会挨拶 GST コーディネーター会議世話人 浜島 清美

早朝からの出席に感謝。

331 複合 GST コーディネーターの松浦淳一氏が欠席、337 複合コーディネーターの高橋攄見氏が遅れて出席と報告。

本日の会議は「フォーカス」に特化した旨を宣言。

2. 出席者紹介

出席者紹介は紙面をもつての紹介

3. 挨拶と報告

GAT 日本全域リーダー挨拶と報告 元国際理事 中村 泰久

先週に引き続き有難うございました。本日は「タウンミーティング」ということで、井田コーディネーターより色々と資料を頂きありがとうございました。識名エリアリーダーを中心に内容をほぼ決定していただきたい。開催に当たってはコーディネーターの皆様に運営に携わっていただく。MD330 及び 330-B 地区もお手伝いはするが主体はコーディネーターの皆様ですので識名エリアリーダー中心に本日検討の上決定してください。

GAT エリアリーダー挨拶 GST 担当エリアリーダー 識名 安信

日本の最南端石垣島より挨拶いたします。今日はこの件に絞って協議いただきます。浜島世話人、井田コーディネーター1週間足らずでこのような資料を作成いただきありがとうございます。コロナも全国的に収まりかけており、日常を取り戻しつつあり、希望が見えてきました。ライオンズも会員減少を確りと受け止め、この危機を乗り越えるために必要な活動を話し合い実践していく必要がある。本日確りと議論いただき決定し、皆様と共に「タウンミーティング」を成功させ、会員増強の足掛かりとしていきたい。よろしくお願いいたします。とご挨拶と強い意志を表明。

4. 協議事項

・全日本 GST フォーラム(案)について

330 複合地区 GST コーディネーター L. 井田 渉が同案の提案者として同案に沿って説明しながら、識名エリアリーダーの仕切りで各コーディネーターから意見を聴取した。

(1) 会場および日程

第 2 回コーディネーター会議で 12 月初旬 330-B 地区内での開催を決定し、井田コーディネーターに会場選定をお願いしていた。

本日は、初めに井田コーディネーターが、東京駅や羽田空港から近く、遠方からでも参加しやすい場所を選定してくれた 2 会場の特徴を説明

① 川崎市産業振興会館 1F ホール

神奈川県川崎市幸区堀河町 66-20

アクセス：JR 川崎駅より徒歩 8 分、京急川崎駅より徒歩 2 分

面積：336㎡（収容人数 440 名）

利用可能日：12 月 1 日(水)

利用料金：会場費 約 35,000 円 備品使用料：約 40,000 円/日

② 日本丸メモリアルパーク訓練センター 会議室

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-1-1

アクセス：JR 桜木町駅より徒歩 5 分

面積：230㎡ ※感染対策のため、定員 75 名厳守（関係者含めて）

利用可能日：12 月 2 日(木)

利用料金：会場費 約 27,600 円 備品使用料：約 10,000 円

浜島世話人：

最初に、開催日を決めましょうとの発言あり。

井田コーディネーター：

コーディネーター方々の都合を聞いたところ、

1 日は全員 OK、

2 日は出席不可の方もあった。

識名エリアリーダー：

本日出席のコーディネーター全員が 1 日なら出席可能とのこと、これから協議しますが、対面参加者が 100 名程度となった場合は横浜会場は収容できないので川崎会場を選んだ方が良いと思うとの発言

井田コーディネーター：

これを皆に諮ったところ全員賛成となり、

2021 年 12 月 1 日(水) 川崎市産業振興会館

で開催することと決定した。

(2) タウンミーティングテーマ

井田コーディネーター：

G S Tコーディネーター会議で識名エリアリーダーをはじめとして声を上げられている「感動の奉仕」をコロナで奉仕活動が行き詰っている多くのクラブを後押しできるきっかけとなればとの気持ちを込めて、

『拡げよう感動の奉仕 ～いまライオンズクラブができること～』
をテーマに掲げたとの説明があり。

識名エリアリーダー：

多くのコーディネーターから意見を聴取したが全員から賛意を受け、テーマが原案通り決定。

井田コーディネーター：

続いて「開催趣旨」として

- ・ G A Tの各チーム連携を具体的にイメージし、クラブで展開できる契機とすること
- ・ 他クラブの活動事例から、自クラブで出来ることを考えだす機会とすること
- ・ 多クラブが連携し、より大きなインパクトのある合同アクティビティを実施する契機とすること

を掲げた。

中村日本全域リーダー：

この趣旨をまっとうするには「フォーラムを開催して終了」ではなく、その後の検証とフォローアップが必要との意見。

識名エリアリーダー：

そのようしたい旨宣言。

(3) 参加対象者

- ・ クラブ会長、クラブ奉仕委員長
- ・ 対面参加と Web 参加のハイブリッド方式

<参加人数は>

中村日本全域コーディネーター：

対面参加は100名がソーシャルディスタンス、社会常識からみても良いのではないか。Webは100名でも150名でも良いと考えるとの発言有り。

岸コーディネーター：

対面100名、Webは人数が多くなると対面と同じような参加では無理が生じるので100名が限度。また参加費に関して、対面参加者は別途交通費等もかかることから参加費は対面もWebも同額にすべき の意見。

畠山スペシャリスト：

ハイブリットはハードルが高い。グループワークの時グループをリードするスキルのある会員が必要。

井田コーディネーター：

グループワークの時100名だとグループが17組×6名が適正か？グループに1人ずつ仕切る人を考える必要有り。Web参加のマックスは150名か？

マーズ局長：

ハイブリットは色々難しい面がある。対面で100名もの方が参加するのであれば、Web参加者は国際大会がそうであったように、視聴とチャットでの発言に限定した方がうまくいくと思う。視聴であればWeb参加者の制限はなくなるとの意見。

中村日本全域リーダー：

確かに国際大会のWeb参加者は視聴とチャットでしたが、一方今回はWeb参加者が視聴とチャットのみとなると会場とWeb参加者との間に温度差が出来てしまうのではないかと。皆さんの意見をきいて、Web参加者の数を制限することでリスクを軽減できるのではないかと。

識名エリアリーダー：

ハイブリッドでやるのが一番ベターということ？

中村全域リーダー：

ハイブリッドが一番良いのですが、技術的問題があるとすれば、Webは視聴のみにした方が安全だと思います。

江草コーディネーター：

視聴とチャットであれば参加人数は制限しなくてよいのですかと質問。

マーズ局長：

専門の技術屋ではないのですが、概ねOKと考えます。

井田コーディネーター：

今回の全体の流れとしては視聴とチャットによる方法で進行し、グループディスカッションのみ会場は会場で、WebはWebでそれぞれグループ（6名程度）分けし、グループ内（Webではルームを分けて）で討論していただくことを考えているとの発言有り。

畠山GATスペシャリスト：

当初会場とWebでまったく同じように行おう話とと思っていましたが、井田コーディネーターの話で会場とWebを分ける（会場とWebの間で討論は無い）のであればスムーズな運営になるかと思う。

識名エリアリーダー：

Web150名でも上手くいきますか？

井田コーディネーター：

皆様の協力で何とかいけるとおもいます。

識名エリアリーダー：

実施方法等詳しく説明して会員の皆様に納得して参加いただくことを前提として、参加者は対面100名・Web150名でよろしいでしょうか？賛成の方は挙手をお願いいたします。

中村日本全域リーダー：

参加者は皆様にお任せしますが、私は数にこだわる必要はないと思うので、対面100名、Web100名程度が予算を立てる面からも良いのかなと思う。

識名エリアリーダー：

本日参加の皆様のプロジェクトを成功させるぞとの決意が大切だと思う。是が非でも対面100名、Web150名の参加を目標に進めたいと思います。

※参加会費は

識名エリアリーダー：

「対面2,000円、Web1,000円」と全日本GSTフォーラム（案）に記載がありますが、先ほど岸コーディネーターよりWebの専門業者が関与するのであれ

ばWebも同質と考え、参加費は同額にすべきとの発言がありました。皆様のご意見をお願いいたします。対面参加費を2,000円とした根拠を井田コーディネーター説明願います。

井田コーディネーター：

対面 2,000 円×100 人+Web 1,000 円×100 人=30万円(会場費+機材費)として算出しました。プロに頼むと総額50万円足らずになるので厳しいかも

浜島世話人：

地区でのWeb会議の会費は2,000円なので2,000円は妥当だと考えます。また会場費+業者費は37万円のほか当日お手伝いいただく方々の弁当代、資料作成費用等があると思いますので。

中村日本全域リーダー

レオの方の参加も促したい。レオは参加費無料で。総数250名集まれば良いですが、集まらないことも考えて、参加費は3,000円ではいかがか？

江草コーディネーター：

私たちの方ではセミナー等は会費を取らず、地区などが負担しているので妥当かどうか分かりませんが、皆様妥当だということであれば、妥当なのでしょう。3,000円でもOKでしょう。

岸コーディネーター：

2,000円が妥当だと考えます。

田中コーディネーター：

2,000円でお願いしたい。

澤コーディネーター：

交通費がかさむので、2,000円が妥当。

中村日本全域リーダー：

250人集まれば良いですが、集まらなかったときに2,000円では予算不足となりかねないのでは？

井田コーディネーター：

総予算としては50万円あればなんとかなると思いますので、250人の参加があれば2,000円で何とかなると思います。参加者が少ない場合は我々は手弁当で、または不足分をコーディネーターでドネーションする覚悟は必要だと思います。

マーズ局長：

予算は余らない方が良い。余ると返さなければならなくなり厄介である。従って少ないかという予算で集め、実際に足りなかったら使える協会予算を探すとか中村PIDや識名リーダーの予算から捻出した方が良い。

中村日本全域リーダー：

会場費等75,000円はGATのイベント予算から捻出。2,000円の会費で足りなかったら識名エリアリーダーと私の手持ち予算から手助けいたしましょう。

識名エリアリーダー：

それでは会費は2,000円に決定したいと考えますが賛成の方の挙手をお願いいたします。

賛成多数。有難うございました。

井田コーディネーター：

レオは250名の枠外と考えて参加費無料で良いですね。
識名エリアリーダー：
了承です。

(4) 概要

井田コーディネーター：
概ね時間は2時間半ちょっと

① オープニングセレモニー <10分>

・役員紹介および挨拶等

② 奉仕活動を切り口にした GAT とは？ <30分（各5分以内）>

・ GLT

奉仕活動を前進させるクラブメンバー育成
クラブ奉仕活動を後押しする DG や ZC の役割 など

・ GMT

スペシャルティクラブ・支部の事例 など

・ GST

MD・SD レベル奉仕事業の好事例

・ SPC・FWT

インパクトの大きな奉仕活動とは など

井田コーディネーター：

各 G A T から 5 分程度の時間で奉仕を切り口に発表いただきたいと思います。
別案として、日本 G S T として考えると、この時間を山田 P I P の講演に切り替えて
はどうかと考えます

識名エリアリーダー：

そのほうが良いと思います。山田 PIP の都合を聞いて OK となれば差し替えたいと
思います。

③ クラブアクティビティ事例報告 <35分>

・ クラブインタビュー 4 クラブ程度か？

※インタビューの中で、以下のような参加者アンケートを取り、参加者を飽きさ
せず、尚且つ自分事として聞いてもらえる工夫をしたいと思います。

(i) 積極的に協力するメンバーはいますか？

(ii) 抵抗勢力というべきメンバーはいますか？

(iii) アクティビティ資金はどうしますか？

(iv) パートナー団体・協力クラブの発掘は可能ですか？

井田コーディネーター：

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード候補の中から4点ほど皆様と選んで、当日
対面か W e b で参加いただき、私の質問に答える形式で実施。

あらかじめ写真や資料を作っておき参加者に配布したい。参加いただいた皆様が、
事前配布することで時間を節約し、「どうやって奉仕活動を計画するか」をクラブに
持ち帰っていただきたいからです。

対面で参加するクラブにはこの場で感謝状などの独自のアワードを配布する。

④ グループディスカッション <30 分>

テーマ「あなたのクラブで新たなアクティビティを実践しよう」

- (ア) 奉仕ニーズをどのように発掘する？
- (イ) クラブで承認を得るために必要なことは？
- (ウ) メンバーのやる気を促進するためには？
- (エ) ライオンズクラブ内外に当該事業の協力者を増やすためには？

- ・ 6 名／1 グループ（対面・web 各 17 グループ）
- ・ 参加者には会場 or 後日、「実行宣言」（別紙添付）を提出していただく
- ・ 提出された「実行宣言」は各地区ガバナーへ配信してはいかがでしょうか？
- ・ 各グループで作成した発表資料は回収後、全ての地区ガバナーへ配信
- ・ web 参加グループは文書でまとめて、メールにて送付を依頼するか？

井田コーディネーター：

「いい話聞いてよかったね」で終わってしまっただけでは意味がない。クラブに持ち帰ってもらわなければ失敗となる。そこで参加者全員に実行宣言を提出していただき、集めたものを地区ガバナーに配信する。

書くことに時間を割くと議論する時間が無くなるので選択方式にしました。裏の狙いとしては奉仕活動をテーマに書いてほしい。

これをするので地区ガバナーにこのような支援をしてほしいと要望する。地区ガバナーに会員の生の声を知ってもらうチャンスとしたい。

⑤ 発表 <20 分>

- ・ 会場および web より 4～5 グループ程度か？

⑥ 講評 <5 分>

井田コーディネーター：

発表の方法で対面と Web で温度差が出ない方法を考える。

識名エリアリーダー：

対面と Web で温度差が出ないことが一体感をもたらすと考えるので、その配慮が必要だと考えます。

概要にカンシテ意見があれば賜りたいと思いますが、皆様いかがでしょうか？

岸コーディネーター：

発表グループ以外の議論の内容も素晴らしいものがあると思われるので各チームのリーダーよりまとめを提出いただき、後ほど冊子にしてはいかがでしょうか？

いい提案だと思いますが。

井田コーディネーター：

良いと思います。

識名エリアリーダー：

それではそのようにしましょう。そのほかございますか？

江草コーディネーター

クラブアクティビティ事例報告がインタビュー方式とはどういったものか。パネ

ルディスカッションとどう違うのか

井田コーディネーター：

発表チームが対面ばかりだとパネルディスカッションでも良いのですが、Webと対面が混在するとハイブリッド方式となりうまくいかない恐れがあります。そこで1対1で行い、聞いている方がクラブに有益な情報を持って帰れるよう、私から質問し、それに答えていただく方式です。

中村日本全域リーダー：

「思いやりは大切なこと」奉仕アワードにはレオクラブやクラブ支部からは応募が無いことも考えられます。でもレオや支部の中には優秀な奉仕活動をしているところもあると思われます。そういったところを入れ込むのかどうか？

井田コーディネーター：

応募されていなくとも、優秀な奉仕をしているクラブはたくさんあると思います。レオや支部に関しては、皆さんのネットワークの中で情報を集めてください。そうする4つでは少ないかな？

識名エリアリーダー：

そうですね。進めながら内容を詰めていきましょう。浜島世話人何かありますか？

浜島世話人：

「奉仕活動を切り口にしたGATとは？」ですが、山田PIPの講演に変われば問題ありませんが、GATからの「スペシャルティクラブ・支部の事例」はSPC・FWTが力を入れており、GMTの発表としては配慮が必要と思う・・・。

識名エリアリーダー：

まだ、山田PIPに聞いておりませんので、何とも言えませんが、講演に切り替えたいと思います。ダメな場合はGATからの発表となりますが内容には配慮が必要だと思います。

中村日本全域リーダー：

ライオン誌にも連絡を取り、取材いただき、特集を組んでいただく手はずを取ってください。

(5) 用意する物品

(1) 映像・通信機器

会場で借りる備品は

- ・スクリーン
- ・プロジェクター

程度と思われる。ハイブリッドでの会議を確実に実行するためには、相応の技術を持ったメンバーに、報酬を支払った上で依頼する必要があると思われます。

(2) 会場物品

- | | |
|-------------|------------|
| ・お茶（会場に確認） | ・模造紙 |
| ・サインペン | ・受付名簿 |
| ・役員用席札（前垂れ） | ・座席札（出席者用） |
| ・「実行宣言」回収箱 | など |

印刷物などの準備は330-B地区の協力をいただくよう、お願いしてみます。

(6) 事前準備

i 参加案内の配信 <10 月中旬>
全クラブへ配信

ii 「思いやりは大切なこと」奉仕アワード推薦事業の抽出 <10 月下旬>
8 複合地区から寄せられた推薦事業の中から、インタビューする案件を抽出したいと思います。

iii インタビュークラブへの事前確認 <11 月上旬>
既述の通り、ミーティング当日に伺う内容を事前に文書等で聞き取りをしておきたいと思います。

iv 参加者へ向けた事前資料の配信 <開催 3 日前まで>
・次第
・実行宣言
・各種発表の事前資料

井田コーディネーター：

今後の打ち合わせにあたり皆様と情報交換のために連絡を取り合わなければならぬのですが、手段は「Maile」または「グループ Line」の何れが良いでしょうか？

識名エリアリーダー：

まず、クラブへの開催通知の発信時期ですがコロナの情勢等を考えますと 10 月 18 日の週から月末と考えます。中村全域リーダーいかがでしょうか。

中村日本全域リーダー：

地区への配信、会費の徴収等考慮すると、11 月中旬締め切りとなりますので、18 日の週がぎりぎりだと考えます。

識名エリアリーダー：

有難うございます。それでは 18 日の週といたします。

今後の打ち合わせに関してですが、手段はいかがしますか？田中コーディネーター、Line はお使いですか？

田中コーディネーター：

あまり得意ではないので Maile のほうが良いです。

岸コーディネーター：

MD332 G S T ではグループ Line を使っています。添付資料があるときは Maile で。どちらでも OK です。

澤コーディネーター：

Line で結構です。

江草コーディネーター：

どちらでも OK です。

浜島コーディネーター：

どちらでも OK です。

識名エリアリーダー：

基本はMaileで。井田コーディネーターよろしく願いいたします。

グループLineも作ることはよいと思います。

大体これで予定していたものは終了です。今日の会議について皆様よりご意見を頂戴いたします。まずMD332の岸コーディネーターから。

岸コーディネーター：

他の奉仕団体との共同奉仕活動を模索していきたい。

中村日本全域リーダー：

国際協会でも他の奉仕団体と一緒に奉仕しようと言ってますし、今回の議題に合うかどうかは別としてそのような発信は必要だと思ってます。

田中コーディネーター：

2時間半が長すぎないか若干疑問です。

識名エリアリーダー：

その辺も今後検討していきます。

浜島世話人：

募集にあたり、参加の上限は記載してあるが、参加の最低数はお願いしなくてよいのか？

識名エリアリーダー：

その辺りの詳細も今後詰めさせていただきます。

江草コーディネーター：

対面で参加いただくクラブ、Webで参加いただくクラブをどのように選ぶか？・18日の週に複合で行う「思いやりは大切なこと」奉仕アワード選考会に相談するつもり。

澤コーディネーター：

28日にガバナー協議会が開催されますが、各ガバナーに早く趣旨をご理解賜り、4地区の全てから対面で3～4名の参加者を得たい。

識名エリアリーダー：

本日の総括を含めて井田コーディネーターよりお願いします。

井田コーディネーター：

これからやるべきことがたくさんあるので緊張感を持ってやっていきたいと思います。

今回参加いただく皆様に5・6月頃に「どこまで出来ましたか」というような検証報告会ができたと思います。今回のフォーラムが成功しないとつまらないと「二度と出るか」と言われてしまいますので、みなさまの力を結集して成功裏に開催できますよう私自身も努力いたしますので、ご協力お願いいたします。

4. 閉会挨拶

GST 担当エリアリーダー 識名 安信

識名エリアリーダー：

今季初めに中村全域リーダーより今すべての役職が全員で会員増強に取り組むん

だと支持されました。このセミナーを何が何でも成功させて数字につなげていかねばならない。そのために皆様の決意と覚悟が必要なので、心ひとつにして取り組んでまいりたい。何があってもこのフォーラムは成功させるという熱い思いが必要。

それでは中村日本全域リーダー、最後の言葉をお願いします。

中村日本全域リーダー：

有難うございました。

細かなことはこれから詰める必要がありますが、皆様のご理解がいただければ、識名エリアリーダー・浜島世話人・井田コーディネーターにお任せする方法もありますが、皆様で詰めてください。

今回のタウンミーティングは発表だけが盛り上がって、その後の実行が無ければ意味がないものになってしまいます。対面とWebの温度差が生じないようにし、ミーティングを成功させ、結果として各クラブがインパクトの高い奉仕活動を行うことで会員の増強を図って成功です。GSTコーディネーター皆様の活躍を期待しております。

識名エリアリーダー：

これから、進捗状況は井田コーディネーターからメールで配信してまいります。有難うございました。

差出人： Oseal
宛先： lions@md330.jp; md331@ruby.ocn.ne.jp; md332 ライオンズクラブ; md333@nifty.com;
lions334@lilac.ocn.ne.jp; ガバナー協議会事務局 335複合地区; MD336; MD337 ライオンズ
Cc： Sawada, Nohara; Merz, Yoshiko; Minowa, Kinuko; PacificAsian
件名： 2022モントリオール国際大会について
日付： 2021年10月7日 10:58:16

各複合地区ガバナー協議会議長様
各複合地区大会委員長様
ガバナー協議会事務局ご担当者様

お世話になっております。
早速ですが、2022年度モントリオール国際大会に関する情報が協会ウェブサイトに掲載されたことにより、いくつかお問い合わせを頂戴しております。
個人の登録以外に関する対応、具体的には公式ツアーコーディネーターの登録、団体登録、バーチャル参加の可否とその方法等については、現在まだ詳細が決定していないもしくは確認されておられません。10月国際大会以降、国際理事及び協会より随時お知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

現在協会ウェブサイト掲載情報の中で、特に「招待状」について問い合わせがありますのでこの点について以下お知らせいたします。

(<https://lcicon.lionsclubs.org/ja/travel/entry-requirements/> をご参照ください。)

日本のパスポート所有者はカナダへの観光のための渡航についてはビザ免除となっております。招待状は必要ありません。国際協会のウェブサイトは全世界に向けた英語での発信の翻訳であるため、日本からの渡航者に関する情報ではない点にご注意ください。ビザは必要ありませんが、事前に電子渡航認証(eTA)を受けることが求められています。この手続きに関しては、[カナダ政府の電子渡航認証の概要\(日本語ページ\)](#)をご確認ください。

あわせて、[外務省によるカナダ渡航情報](#)をご確認ください。

コロナ感染症対策に関連するカナダ政府の方針、および帰国時の日本政府の方針は、随時更新されていますので、それぞれ[在日カナダ大使館](#)および[厚生労働省](#)の情報をご確認ください。

よろしくお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会
OSEAL調整事務局
マーズ佐子
〒100-0011東京都千代田区内幸町1-3-1
幸ビル2階
03-4589-5012
oseal@lionsclubs.org

2021-2022 年度
一般社団法人日本ライオンズ
第 1 回アラート委員会 議事録

◎ 日 時 : 2021 年 9 月 10 日 (金) 14:30~15:40

◎ 場 所 : 各 PC から接続 (ウェブ会議システム Zoom 利用)

◎ 参加者 : 330 複合地区アラート委員 森川 明治郎 (330-C 地区 坂戸 LC)
331 複合地区アラート委員 能澤 正明 (331-A 地区 札幌トラスト LC)
332 複合地区アラート委員 木川田 明弘 (332-C 地区 仙台高砂 LC)
334 複合地区アラート委員 荒尾 勝彦 (334-D 地区 金沢城北 LC)
335 複合地区アラート委員 佐々木 健太 (335-B 地区 吹田江坂 LC)
336 複合地区アラート委員 高岡 英治 (336-A 地区 松山湯築 LC)
337 複合地区アラート委員 石永 扶佐夫 (337-C 地区 武雄 LC)

◎ 第 1 回アラート委員会会議招集者 :

理事長	仁科 良三	(334-E 地区 長野みすず LC)
委員長／副理事長 (MD333 議長／333 複合地区アラート委員)		
	山川 洋	(333-E 地区 牛久茎崎 LC)
専務理事	村木 秀之	(330-A 地区 東京数寄屋橋 LC)
事務総長	菅原 雅雄	(330-A 地区 東京堀留 LC)

◎ 開会挨拶 理事長 仁科 良三 (334-E 地区 長野みすず LC)

◎ 議事録作成人の選任

337 複合地区アラート委員 L 石永扶佐夫が選任された (会議後 MD335 佐々木アラート委員代理作成)。

◎ 各地区委員挨拶

◎ 審議

1. 基本方針の確認

アラート委員長 L 山川

「被災地域での心得」(資料配布)

ライオンズの活動はクラブ単位だが、以下を基本方針として浸透させる必要がある。

(1) ボランティアは危険に近づかない

災害現場での支援活動は危険と隣り合わせである。二次災害を防ぐために、まずは自分の身の安全を確保すること。

(2) 地元ボランティアに従う

外部ボランティアが自己満足から独善的に振る舞うなどして、地元との間に軋轢を生むことがある。支援の目的を見失わず、地元ボランティアの指示や予定に従うこと。

不要な物資を送って被災地に負担を強いた例も多い。被災地の現状について情報収集を徹底し、望まれている支援を見極めることが最重要。

(3) 観光厳禁

どれほど支援活動を行おうが、観光したが最後、遊びに来たのと同じことになり、被災地には不快感しか残らない。

「アラート組織の在り方についての検討資料」（資料配布）

山川委員長

前期担当者との話し合いでの意見をまとめたもの。今期方針というわけではなく、こういう意見があると知ってもらうため共有する。今期役員としてもプロトコルの問題は重く捉えている。

また、発災時に現地入りするのが最善と言うわけではないことは周知したい。その都度情報収集を行い、現状把握した上でライオンズとしての動きを決めねばならない。

仁科理事長

日本ライオンズ・アラート委員会の役割は、基本的には、大災害、激甚災害、複合をまたぐ規模の災害に際しての大規模支援・人道支援と考えている。その規模に達しないのであれば複合や地区の中で対応し、必要がある時だけ助けを求めてくれたら良い。また、日本ライオンズの委員会としては、地区内組織との連携を重視したい。

「検討資料」を読み、災害に備えて体制を整え準備を進めておく重要性を改めて認識した。ただ、他委員会や他団体をアラート委員会が評価するのは避けるべきであると考えます。

MD331 アラート委員 L 能澤

この「検討資料」はいつ、どこで配られたものか教えていただきたい。日本ライオンズの組織に対する批判が強い内容であり、安易に拡散したら混乱を招くと思われる。

山川委員長

引継会議にて出席者に配布したのみである。この記載内容を全肯定しているわけではない。透明性のある運営のために、こういう意見が提出されたことを知っていただいた。今後も寄せられた意見は共有していきたい。

2. アラート委員長の引継報告

MD330 アラート委員 L 森川

引き継ぎとして、今期委員長 L 山川、アドバイザー L 柿原、東日本統括リーダー L 橋本、西日本統括リーダー L 坂本と会議を行った。また、坂本リーダーと班長とで熱海の土砂災害や豪雨災害に関する会議を行ったと伺っている。それらの会議での検討結果をまとめたものが「検討資料」である。個人的には他団体への言及は控えた方が良く考えるが、前任者の思いとして受け取っていただき、昨年度解決できなかった点に今期取り組んでいきたい。

アラート規則は昨年度総会で承認済み。この規則を遵守し適正に運営していただきたい。

山川委員長

組織はこれから固めていく。役員の立ち位置を明確にして、活動を容易にしたい。

3. 今年度の活動計画

山川委員長

現時点では特に計画はないが、前期より引き継ぎされたアラート委員会の動きについて勉強し、組織を整備するのが今期の計画と言える。

毎月のように災害が起きており、対応すべき事柄は多いが、無暗に現地入りするのではなく、何をすべきかを見極めた上で迅速に対応する。「いざとなれば自腹を」というような対応は日本ライオンズでは不可となる。日本ライオンズが対応すべき範囲をまず確認する。

資金は、拠出元を明確にして流れを可視化するのが重要である。

平時における活動について

MD331 アラート委員 L 能澤

班長を2年半担当し、発災時において社協・ボランティアセンターと各現場のクラブ・地区ガバナー・ZC・アラート委員長・班長とで対策本部を立ち上げてどう動くか、具体的に検討してきた。これを継続し、全道並びに各市町村との協定締結を進めると共に、複合や地区での役員任命などの組織作りを進めている。

市民は、ライオンズの防災における役割に目を向け、期待を寄せている。災害が起きていない間は何もしなくて良いと言うのは違うと思うが、いかがか。

山川委員長

社協やボラセンとの連携は全国的に必須である。複合や地区では広まったが、クラブレベルでは不十分である。被災経験のある地域とそうでない地域でLCと行政との関係に差が出ている。クラブに浸透するよう、事例紹介を含め複合・地区からの発信を強化してほしい。被災の少ない地域の社協やボラセンは福祉が主な仕事になっており、災害対応のイメージを持っていない。興味を持ってもらうようライオンズから働きかけ温度差を埋めていきたい。

仁科理事長

準地区と各県の社協とで協定を結び、日頃から災害への備えを怠らぬようにしてもらいたい。各地区ともアラート資金は用意していると思うが、LCIFには地区が申請できる防災準備交付金もある。ガバナー協議会やアラート委員会でも、お金の出し方やそれぞれの役割を明確にしておいていただきたい。

MD330 アラート委員 L 森川

社協のニーズは明確で、また、地域によって異なる。地元社協の要請をアラート委員長がま

とめてガバナーに伝えるシステムが適切と考える。

発信に関しては、期日を定めるのが望ましい。337 複合地区の武雄市の現状も含めて情報共有し、タイムスケジュールを組んでほしい。

山川委員長

森川委員のご指摘通り地域ごとにニーズは違うだろうから、複合ごと、地区ごとにまとめて現状把握してもらいたい。そのまとめの期限について 24 日の会議までに提案する。

副班長の任命について

MD330 アラート委員 L 森川

副班長について各地区に周知されておらず、ほとんどの地区で任命されていないのは問題である。地区に対して副班長任命の要請を出すべきである。どの複合も 10 月くらいに第 2 回ガバナー協議会があると思うので、それまでに副班長を選出し発表してもらいたい。

アラート規則に副班長の選出方法が明記されている。議長は統括リーダーではなく班長と相談すべきとの意見もあった。班長が副班長を選ぶ方が良ければ規則を変更する必要がある。

山川委員長

副班長を地区で指名するよう委員長権限でお願いする。副班長はリーダー育成の点からも必要。今期中に決めていただき、次年度の班長は今年度の副班長から選んでいただきたい。

4. 組織の決定と確認

山川委員長

日本ライオンズの委員会組織が確定していないため、第 1 回アラート委員会を 9 月 24 日に開催する前に、事前打ち合わせと言う形で今日の会議を開催した。

仁科理事長

日本ライオンズには 8 つの委員会があり、アラートはその 1 つである。本日の会議メンバーがアラート委員会であり、L 山川ももう委員長に決定している。今回の会議は理事長が招集したが、次回からは委員長が招集する。

各複合地区でも日本ライオンズの基準に沿って委員会を組織していただきたい。多くの意見を聞き連携を密にするために、山川委員長が拡大委員会を招集する可能性もある。

山川委員長

前任者の方々が固めてきた上で活動していることを忘れずに、大勢の意見に耳を傾けながらも機動的であるよう努め、地域、そして準地区やクラブの役に立つ委員会を目指す。

日本ライオンズのアラート役員のプロトコル

MD330 アラート委員 L 森川

プロトコルが不明なため日本ライオンズのアラート役員の立ち位置が曖昧である。会則委員会とも相談の上で早急にプロトコルを決め、委嘱状を出してほしい。

山川委員長

プロトコルの問題は今期中に解決する。立ち位置が決まらなると複合地区や準地区での発言もままならず、活動にも支障がある

5. その他

アラート委員会専用口座の資金

菅原事務総長

アラート委員会専用口座を前期の小林委員長名義で作り、2019 年 10 月から 2021 年 6 月 30 日まで使用した。東北の丸森町、熊本の武雄、福島、旭川、グアムなどで 3,300 万円ほど拠出し、現時点で 852 万円ほどの残金がある。この資金を社団の本会計に移すべきとの意見が理事会で出ており、仁科理事長の承認のもとで移行していただきたい。

山川委員長

日本ライオンズとして預かったアラート資金の使用システムについて、今後委員会において検討し整備していく。

全国アラートフォーラム

MD332 アラート委員 L 木川田

昨年度の全国アラートフォーラムは福島で予定されていたが、コロナ感染拡大により中止となり、各地区に DVD を配布した。フォーラムは今年度も MD332 がホストか確認したい。

MD330 アラート委員 L 森川

前期の社員総会や理事会において MD332 での開催と全会一致で承認されている。

◎ 次回委員会について

日時 9 月 24 日（金） 14:30～16:30

場所 ウェブ会議（zoom）

※ 各複合地区・準地区の班長・副班長が不明のため、案内は複合地区あてに発信する。

2021～2022 年度
一般社団法人日本ライオンズ
第 1 回アラート全体会議 議事録

日 時：2021 年 9 月 24 日（金）14:30～16:30

形 式：WEB プラットフォーム Zoom

出 欠

[一般社団法人日本ライオンズ]		
理事長（334 複合地区元議長 334-E 地区 長野みすず LC）	仁科 良三	○
副理事長（333 複合地区議長） アラート委員会委員長	山川 洋	○
333 複合地区アラート委員（333-E 地区 牛久茎崎 LC）		
専務理事（330 複合地区議長 330-A 地区 東京数寄屋橋 LC）	村木 秀之	○
[各複合地区委員]		
330 複合地区アラート委員（330-C 地区 坂戸 LC）	森川 明治郎	○
331 複合地区アラート委員（331-A 地区 札幌トラスト LC）	能澤 正明	○
332 複合地区アラート委員（332-C 地区 仙台高砂 LC）	木川田 明弘	○
334 複合地区アラート委員（334-D 地区 金沢城北 LC）	荒尾 勝彦	欠
335 複合地区アラート委員（335-B 地区 吹田江坂 LC）	佐々木 健太	○
336 複合地区アラート委員（336-A 地区 松山湯築 LC）	高岡 英治	○
337 複合地区アラート委員（337-C 地区 武雄 LC）	石永 扶佐夫	○
[アラートチーム]		
アドバイザー（335-B 地区 高槻 LC）	柿原 勝彦	○
東日本統括リーダー（332-D 地区 郡山東 LC）	橋本 修一	○
西日本統括リーダー（335-B 地区 松原 LC）	坂本 恵市	○
[各複合地区アラート班長・副班長]		
330 複合地区班長（330-A 地区 五反田 LC）	野村 起成	○
331 複合地区班長（331-B 地区 北見中央 LC）	浅野 敬一	○
332 複合地区班長（332-E 地区 山形アルカディア LC）	山下 里美	○
332 複合地区副班長（332-A 地区 青森 ZERO LC）	木村 知紀	欠
332 複合地区副班長（332-B 地区 水沢中央 LC）	及川 三美	○
332 複合地区副班長（332-C 地区 仙台高砂 LC）	鈴木 二三子	○代理
332 複合地区副班長（332-D 地区 田村 LC）	箱崎 哲司	○
332 複合地区副班長（332-E 地区 米沢松川 LC）	伊藤 剛	○
332 複合地区副班長（332-F 地区 中仙 LC）	草薙 孝悦	欠
333 複合地区班長（333-E 地区 水戸葵 LC）	若林 純也	○
334 複合地区班長（334-D 地区 鯖江王山 LC）	西村 和之	○
335 複合地区班長（335-A 地区 明石魚住 LC）	藤之原 美津子	○
336 複合地区班長（336-B 地区 岡山みらい LC）	藤井 信英	○
337 複合地区班長（337-D 地区 鹿児島島谷山 LC）	青木 和彦	欠
[一般社団法人日本ライオンズ 事務局]		
事務総長（330 複合地区元議長 330-A 地区 東京堀留 LC）	菅原 雅雄	○

司会者：MD333 アラート班長 L 若林 純也

1. 開会挨拶

アラートチーム西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

一般社団法人日本ライオンズが発足し、また、アラート委員会が設置され既に2年と数カ月が経過する間にも各地で大災害が発生しているが、当アラート委員会の機能は発揮出来ていない。一般社団法人日本ライオンズ自体の問題であるとも言えるが、各複合地区や準地区との関係において組織や制度的にもまだまだ不明確であり、相互の信頼関係も構築出来ていないことが根底にあるのではないかと感じる。

また、プロトコルの問題については、当委員会発足当初から要望をしていたが、2年間務められた識名理事長も解決出来ないまま退任をされた。これに関しては遺憾に思う。

問題は山積であるが皆様の力で実のある会議としていただきたい。

2. 出席者確認と議事録作成人・署名人の確認

司会：MD333 アラート班長

L 若林 純也

- ・ 出欠確認が行われた。
- ・ 議事録作成人は336 複合地区高岡委員であることが確認された。
- ・ 議事録署名人は山川委員長であることが確認された。

※前回会議の議事録がMD337 より未提出である旨確認がされ、会議後速やかに提出をするようにとの話があった。

3. 理事長挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長

L 仁科 良三

コロナ禍、社会の在り方が大きく変わろうとしているが、その一方で気候変動による災害への対応をも余儀なくされる世の中である。

アラート委員会は日本ライオンズで設置されている8つの委員会の1つである。先日、アラート委員会を開催したが、本日の全体会議は各複合地区から選任されたアラート委員、班長・副班長、アドバイザーによって構成されている。

国が指定する激甚災害時、また、県や複合を跨ぐ災害発生時には特に当アラート委員会の活動が必要となるので横の繋がりと絆を築き、迅速に動ける体制づくりをしていただきたい。

今年度は山川委員長を中心に闊達な意見を出し合いたい。

4. 専務理事挨拶

一般社団法人日本ライオンズ専務理事

L 村木 秀之

アラート委員会メンバー全員がコミュニケーションをしっかりと図ることが大切であると感じる。委員会には出来るだけ出席したいと思うのでよろしくお願いしたい。

5. 委員長挨拶

一般社団法人日本ライオンズアラート委員会委員長

L 山川 洋

アラート委員会メンバー皆様の長年のご苦労をお察しする。村木専務理事のお話の通り、コミュニケーションを図り、情報を共有化し迅速な行動につなげることが最も大切である。プロトコルについても問題点を共有している。今年度中には複合地区、準地区内においても、例えば社会福祉協議会との協定に際して等、様々な場面で発言が可能となる位置付けになるよう立場を確立したい。

災害発生時、まず中心となるのは被災地域のライオンズクラブ単体であるが、地域の要望をいち早くキャッチし、複合地区、日本ライオンズが加わり可能な活動を行えるよう準備を充実させたい。

今後日本ライオンズアラート委員会のあり方について皆様とバランスをとりながら議論を深めかたちにしたい。

6. アドバイザー挨拶

アラート委員会（アラートチーム）アドバイザー

L 柿原 勝彦

4 年前にガバナーとして日本ライオンズへ出向している時であったが、当時の国際会長ナレシュ・アガワル氏はしきりに「“We”の力」と言っていた。
災害が多発している中でライオンズクラブとしての役割を考え、アラート委員会設置を提案した。シカゴ国際大会後に開催された理事会に出席した足で、当時の藤川議長、識名議長、本日出席をしている坂本統括リーダーと共に倉敷市真備町大水害被災地の視察を行い、社会福祉協会が開設するボランティアセンターとの関わり方等、色々提案をさせていただいた。
今回の会議名簿からも見えるように、今期初めて委員に着任の方が 5 名、留任の方が 3 名、実動部隊となる班長においては 5 名が留任、3 人が新人となっている。新たに着任された方には当委員会の重要性を十分に理解していただき活動をしていただきたい。
ライオンズクラブの基本理念は、1 人では出来ないことを「“We”の力」をもって世の為人の為に尽くすというもの。多発する自然災害やウイルス感染拡大においても自分だけが立ち振る舞うべきではなく、被災者皆様の心に響く人間味溢れる支援活動を行うことが我々の使命ではないかと思う。日本ライオンズアラート委員会は発足したばかりではあるが、一昨年よりの課題でもある緊急支援、復興支援についても山川委員長の下、行動力、決断力、組織力をもってお互いに英知を絞って取り組んでいただきたい。
皆様のなお一層のご理解とご協力をアドバイザーとしてお願いしたい。

7. 審議および報告

① 災害支援運営規則（案）並びに全日本アラート体制組織図の確認…………… L 山川 洋

※一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会 緊急アラート災害支援運営規則（案）（資料 4）
※全日本アラート体制組織図入力フォーム（資料 3）

山川委員長より、運営規則について一部改正が必要との話があった。

第 1 章 第 14 条【班長・副班長】副班長の任命について P3

2.（副班長）

[現行]

“担当エリア統括リーダーと相談をして指名推薦し、社団の理事長が任命する。”

⇒

[改正案]

“複合地区班長と委員長が相談をして、委員長が任命する”

各準地区より複数人任命されることも可能とする。

“（班長選出の準地区は除く）”の部分は削除。班長は複合地区より 1 名任命。

改正原案をまず委員会で確認し、次回社員総会で議案として提出、その後内容変更を行う。

【被災地域での心得】（資料 1）

山川委員長より資料に基づき説明があった。

MD335 藤之原班長より、3. の内容に付随して下記内容の追記案があった。

「被災地域での写真撮影については、被災された方々の生活や心情に十分配慮すること」

承 認

② 日本ライオンズアラート活動の現在までの組織について…………… L 森川 明治郎

【アラート組織図の構築に関して】

現在、全日本アラート体制組織図（資料 3）はまだ空欄の状態であり、仁科理事長の下、山川委員長より各議長へ要請をしていただき、準地区皆様の協力を得て早急に人選を行っていただきたい。また、次年度はスタート時点でこの組織図が完成している状態をお願いしたい。期の途中であっても皆様からの意見を聞きながら随時変更を行って参りたい。

【アラート委員会の立ち位置と日本ライオンズ組織の改善点に関して】

現在の日本ライオンズにおける立ち位置はアラート委員会に限ったことではなく、仁科理事長や村木専務理事についてもプロトコール上立ち位置はない。

国際協会的には、現実問題 GAT 日本エリア統括リーダーの L 中村泰久の下、GMT、GLT、GST、SCP・FWT エリアリーダー、また各コーディネーターが任命されている構図である。国際協会からの様々な運営方針については複合地区、準地区、クラブへこちらを通じて伝えてくるという現状の中で、日本ライオンズ自体はそのルートに乗っていない。その為、“正式なもの”という認識がない。すなわち、これが障害となっている。これについての解決策を見出す為、前期にローカルプロトコールを設けてもらえないかと提案をしたが、採択には至らなかった経緯がある。

この大きな目標については仁科理事長の指導力をもってぜひとも皆様の知恵で皆様自身の立ち位置を明確にしていきたい。また、立ち位置を明確にする上で非常に問題となってくるのが災害発生時、我々一般社団法人日本ライオンズとしての考え方と各地区ガバナーがそれを受け入れるかどうかという軋轢がここ数年多岐に渡って認められる。これについては特に班長の皆様は大いに実感しているのではないかと察する。この問題は本質的にはガバナーの皆様、そして地区の皆様が日本ライオンズに嫌悪感を抱いていることが大きい。

日本ライオンズが今まで構築してきた組織の在り方に異論がある。また、現在の運営体制に対する批判的な意見が大いにあるということで、我々日本ライオンズに参画するものとしては、改善すべき点が多々あるのではと強く感じる。この点をぜひ仁科理事長を筆頭に現執行部においては透明性を確立し、参加意識が持てる日本ライオンズに変えていく努力をお願いしたい。この件については、参加しているアドバイザー、統括リーダー、班長、皆様の思いもダイレクトに伝えていきたい。

変化を遂げることが出来なければ、日本のライオンズとしてこの組織を有効に活用することは不可能である。日本ライオンズ自体が変化を遂げなければ危機的な局面に立つ可能性があるということを確認していただき、委員会や執行部の運営をお願いしたい。組織の構築については、ガバナー皆様が日本ライオンズに参画している意識を強めていただけるような運営を再度お願いしたい。

山川委員長より下記話があった。

英知を以って改めるべき部分はしっかりと改善をする必要がある。また、ライオンズクラブの認知度も薄れつつある為、更なる PR 活動が必要である。改善すべき点の一つとして冒頭の話でもあった議事録の提出が非常に遅いことについても、即対応すべきである。デジタルで速やかに承認署名を付し、郵送ではなく、メールでやりとりを行う時代である。

③ 今後の課題と活動指針、社会福祉協議会との協定等……………L 森川 明治郎

※自然災害発生時における災害ボランティア支援に関する協定書（資料 5）

各都道府県、各市町村レベルで社会福祉協議会と協定を締結していただいている地区が多いと思うが完全ではない。委員長、班長を通じて協定の輪を広げる為の要請をお願いする。極力協定を締結していただけるよう都道府県レベルの社会福祉協議会から各地域の社会福祉協議会へ連絡を入れてもらっている。

次回までに各地区どのような状況であるか、進んでいない地区については何が障害であるかも含めて、各複合地区、各準地区の委員長、班長、統括リーダーを含めて検証を山川委員長へお願いしたい。なおかつ、協定締結後も“顔の見える関係”を構築出来るよう定期的に連絡を取り合って準備を進めていただきたい。

この点については、現在 MD337 の L 石永が現地で支援活動を続けており、実体験をもとにお話をうかがいたいと思う。

L 石永による現地報告

8 月佐賀豪雨災害発災前から県社協との災害協定を進め、9 月初旬に締結予定であったが直後に大水害が発生した為社協側が対応に追われ延期となっていた。現在は、むしろ社協側から協定締結の申し出がある状況である。

一般社団法人日本ライオンズと全国社会福祉協議会で締結された「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」、また、前年度に前ガバナーと委員長が長崎県と締結した協定書の内容が細かいので、実際に社協の中でライオンズクラブでどこまで活動が可能であるか社協担当者と協議を行い検証を行った。

社会福祉協議会からの回答⇒

細かい内容を記載する必要はなく、まず協定を締結し災害の種類や規模に応じてその都度話し

合いを行えばよい。

坂本西日本統括リーダーより下記話があった。

一般社団法人日本ライオンズと全国社会福祉協議会との協定締結はとくに終わっており、その連絡が各都道府県および各市町村の社協に入っている。社協側から締結のオファーがあるというこのタイミングを有効に利用し、全国の社協と協定締結を実現するべく体制をとりたい。

各複合地区、準地区の締結進行状況について都道府県レベル、市町村レベルでの調査を行っていただきたい。

⇒山川委員長より、調査報告を2週間以内に行うよう話があった。

MD332 山下班長より下記話があった。

協定締結については各地区ガバナーによって温度差がある。啓発する為に地区内の委員会等にも出席しているがなかなか進まない。ゾーンチェアパーソン等と連携がとれない状態では市町村レベルでの協定は難しい。積極的な話をする為に、複合レベルのこの会議だけではなく、キャビネット会議等にも出席出来るような立場を構築していただきたい。

⇒山川委員長より、その通りであり、ぜひ広げていきたいとの話があった。

MD330 野村班長より下記話があった。

日本ライオンズの運営側から明確な指示がないまま約3年半が経つので、また進展のない会議になるのではと懸念する。ガバナーに対して班長の話を聞くようにとの指示もされない。また、アラートは多くの仲間を募って情報共有出来なければ活動はなしえない。発災時に班長のサポート役となる副班長の配置なくしてスムーズな活動は行えない。理事長が交代してもリーダーシップのないリーダーの場合日本ライオンズ自体は何も変わらないのではないかと。今後、複合地区や準地区ガバナーに我々の考えを理解していただけるような立場に置いていただきたい。

⇒山川委員長より、リーダーシップを発揮し組織を活性化させたいとの話があった。

柿原アドバイザーより下記話があった。

「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」(資料5)

P12 自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書に係る連絡担当者

毎年、社会福祉協議会とは担当者の情報について連絡し合うことを約束しているが、この資料は昨年度の情報のままなので、更新をして社協に連絡をする必要がある。

- ・第1連絡先：森川委員長⇒山川委員長へ変更
- ・第2連絡先：坂本西日本統括リーダー（※昨年に引き続き）

また、各準地区、各クラブにおいても地域の社会福祉協議会との協定を締結していると思うが、同様に双方の連絡担当者の情報を確認しあい、少なくとも年に2回は社協、行政、ライオン3者にて地域における防災に関する会議等を開催し関係を密にしていきたい。

⇒山川委員長より、あらためて社協へ提出をするとの話があった。

石永委員より、進行中の案件については後日まとまり次第報告するとの話があった。

※MD337 石永委員はボランティアセンターとの打ち合わせの為、ご退席

MD332 木川田委員より下記話があった。

9/10のアラート委員会の内容について聞き逃しがあった為、Zoomのレコーディングを日本ライオンズへ依頼したが、いただくことが出来なかった。いつ何時誰でも視聴出来るようにしていただきたい。

⇒山川委員長より、透明性確立の為に今後一切のレコーディングを公開するとの話があった。

④ 2021-2022 年度全国アラートフォーラム開催について…………… L 橋本 修一

東西交互に年1回開催することで決まっており、前回 MD337 福岡での開催に引き続き、今回は MD332 が担当となり、打ち合わせを進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、来年あらためて話をすすめることで決定した。

⇒山川委員長より、感染防止対策を第一に、収束を見届けてからの開催としたいとの話があった。

※司会若林班長より会議を16:30まで延長するとの話があった。

8. アラート委員報告 現状報告と年間活動目標と計画

MD330 L 森川

第1回委員会を開催し、第2回会議までに連絡網のたたき台を作成、班長と副班長の選出も正式に行われると考える。また、各地域の社会福祉協議会との協定締結についても進めていただく話を行った。緊急事態宣言解除後にあらためて、発災時即対応可能な体制づくりを構築する為の話をすすめる。

MD331 L 能澤

ガバナー協議会と並行してアラート委員会を開催し、各準地区アラート委員に副班長を兼任していただき、班長を交えて綿密な打ち合わせを行う。そして、ガバナー協議会で今年度の活動方針を発表する。協定締結に関しては北海道とは締結済であるが、クラブ解散等を含め、ライオンズクラブのない市町村から協定締結について問い合わせが入っている為検討が必要。また、各アラート委員会は1年ごとに委員長が変わり、委員の再任もある場合とない場合がある。班長に関しては大半が再任となっている。班長を任命される際に任期は3年が望ましいとの話があった。地域社会に対して責任を果たす上で、事業に対する継続性と組織に対する申し送りを明確にする為に協定書は非常に責任ある文書となるので、地域の市町村長に理解していただくためにも「ライオンズクラブは毎年役員が変わる」旨文言の記載を検討していただきたい。

MD332 L 木川田

9/10の第1回アラート委員会の際に、班長と副班長を選出してもらいたいとの通達があったので即対応して本日の会議に出席している通りである。2019-2020 ガバナーであった際に災害支援活動を行ったが、その際に LCIF 交付金で集会場を建てる事が出来た。これについて PR を行いたい。社協との締結については再度確認の上報告を行う。

MD334 L 西村（班長）※L 荒尾代理

前期は年に4回班長、委員長、各準地区のアラート委員長を交えて会議を行った。今期は10月に予定をしている。D地区（福井・石川・富山）各県に1棟ずつ備蓄倉庫を配置する場所が決定したので、今期後半に倉庫内に資材を入れる段取りを行っている。これに関して、社協が所有している資材とダブらないよう3県の社協に依頼をし、各市町村の在庫状況を聞き、そのリストをいただいた。10/18に3県の社協担当者とガバナー、第一・第二副地区ガバナーとで会議を行う予定。この資材リストについても何かの機会に日本アラート委員会に提示出来ればと思う。

MD335 L 佐々木

昨年からは準地区に依頼をしていることは、緊急支援の体制をどう構築するか。335-B地区では、地区内で災害が起きた場合、災害対策委員会が設置される（本部長／地区ガバナー、副本部長／第一・第二副地区ガバナー、本部長補佐／キャビネット幹事・会計、委員／アラート委員長、その下にRC・ZCが配置）されるが、緊急支援を行う場合は、何も発動する組織ではないということなので、災害が起きた場合、対策本部をこの上に設置しては、という提案をしている。この災害対策本部において災害レベルの判定をして、支援内容を決める。

議長各位で連絡網を作っていたいて、支援・受援いかなる場合も対策本部を設置したい。どのような支援を行うべきか、複合・準地区で考える委員会組織を作ってはと提案している。その委員会の中に日本ライオンズアラート委員会班長・副班長を入れてもらえないか。335-Bでそのひな型を作成中である。

国際協会と一般社団法人日本ライオンズが災害時には連携して支援も受援も行えればと思う。

335-Bの第二副地区ガバナーと話を進めている。

各地区から副班長の選出をすることになっている、できれば複合事務局宛に副班長選出の依頼文書を送っていただき、そこに選出のルールを記載していただきたい。

私見であるが、出来れば日本レベルのアラート委員は準地区で1年間アラート委員長をやって、副班長として活動され、その副班長が準地区の委員長と連携して活動をしていく。335-B地区では災害対策本部の中に一般社団法人日本ライオンズの役員も入れて組織図を作成中である。

また、次の会議までに各複合単位で対策についての案や、委員会のあり方について等、意見を募ってそれを基に模索してはどうかと提案したい。

⇒山川委員長より素晴らしい案であるので、次回委員会までに提出していただき、様々な観点から議論したいとの話があった。

※第2回会議までに意見書を準備することで決定。

※MD330 森川委員は所用の為、ご退席

MD336 L 高岡

緊急アラート災害支援運営規則（案）の第14条2.(副班長)について、副班長はガバナー協議会で決めることとする。MD336 議長より、条項に記載されている“原則”のとおり行うようにと指示があった。委員と班長のみで任命することは出来かねる。

なお、県社協との協定締結については、各地区全県ともに完了している。

336-A 地区香川県で、10/18に「第1回アラート組織設立研究会」と題して、RC・ZCがハイブリッド形式にて全員参加の上会合が開催され、日本レベル、複合レベルでのアラート委員会組織がどの様なものであるか、役職の役割や規約を含め皆様へ説明を行った。香川県については、日本赤十字、青年会議所とも連携をしており、今期はこの研究会を4回開催する予定である。

また、支援体制を樹立させる為にはまず原資が必要となる。四国の場合9リジョンあり、リジョンの中には既にクラブから支援金を集める体制が出来ている地区もある。リジョンで100万円弱を集め発災時何かの為に利用する。

複合地区では今期、災害対策本部を設置し、近日予想される台風にも備える為まだ解散には至っていない。災害発生時には複合地区から班長と副班長がまず実動し、情報を複合事務局にて集約する。特に今年は甚大な被害を受けた西日本（MD335.336.337）での協議を重ね、協力体制を構築したい。併せてクラブやキャビネットにおける受援体制についても今期確立させる。

MD333 山川委員長

緊急援助資金委員会の構成員について、委員長は議長、委員は現ガバナーとなっているが、これについてあらためて皆様の意見を聞きたいが、本日は時間の都合上、その他も含めて次回とさせていただきます。

司会若林班長より、組織に関する懸念部分についても意見書にて次回会議までに提出いただきたいとの話があった。

9. 意見交換 プロトコールの問題等

山川委員長より、仁科理事長としっかり打合せを行い、なんとか今期中に着地したいとの話があった。

司会若林班長より、下記について仁科理事長と山川委員長に精査していただき、アラートチームがいざという場面で活躍出来るよう皆様に問題点を解決したいとの話があった。

1. アラート委員長とアラート班長の区別
2. アラート班長のプロトコール上の立ち位置
3. 一般社団法人日本ライオンズと国際協会との連携

坂本西日本統括リーダーより、下記話があった。

プロトコールは、ローカルルールではなく、8複合地区統一された内容でないと意味がない。班長から、キャビネット会議にもガバナー協議会にも出席出来ず、肝心の発災時に意思の疎通が図れないとの報告がある。

司会若林班長より、“班長はオブザーバーであるので発言不可”と言われた方もいる、との話があった。

山川委員長より、次回第2回の開催日程について話があった。

仁科理事長より、今後の理事会スケジュール概要について下記話があった。

今期第2回理事会は11月25日（木）REAL形式で開催予定。

この日までに第2回アラート全体会議を開催するとなると、山川委員長には本日の会議と合わせて2回分の会議報告を執行理事会を経て理事会にて行っていただく流れとなる。

坂本西日本統括リーダーより、10月29日（金）石巻市で開催される地区アラートフォーラムに招聘されている為、前後の日程は避けていただきたいとの話があった。

※次回第2回アラート全体会議は、**10月27日（水）14:00～16:00 WEB**にて開催決定。

山川委員長より、下記次回までの課題について委員会開催前に再度確認があった。

1. 各準地区、複合地区における社会福祉協議会との協定締結状況についての調査
※提出締切日：10月8日（金）
2. 意見書
※次回委員会開催までに提出、事前に目を通していただき、10/27に議論を行う。

MD335 藤之原班長より、下記質問があった。

日本ライオンズアラート委員会の支援金残高について、班長には情報が何も入っていないがどのような状況であるか資料を閲覧することは可能か。

⇒山川委員長より、現在9/10に開催された第1回アラート委員会議事録（作成人：MD337 石永委員）を待っている状況、提出があり次第お送りするとの回答があった。

MD336 高岡委員より、本日の会議レコーディングをMD336事務局へ送っていただきたいと依頼があった。

⇒菅原事務総長より、必ずお送りするとの回答があった。

MD332 木川田委員より、議事録を作成する方だけにお送りするのではなく、希望者全員に配信するようにとの話があった。

⇒菅原事務総長より、お送りするとの回答があった。

10. 総 評

一般社団法人日本ライオンズ理事長

L 仁科 良三

各地区議長にも承認をいただいているが、来月から全国を回り35名のガバナーと会う。内容については想像にお任せするが、今行動を起こすべくタイミングであると思っている。

災害に携わることは専門職の域であり、この観点からみると未経験者が活動を行うことは難度の高い事であるため、班長を配置している。この部分を地区でうまく融合してコンセンサスを得ながらやっていくことが重要である。

一般社団法人日本ライオンズについては、フリーハンドとはいかないが、今後手作りで改善していこうと思っているのでご理解とご協力をお願いしたい。

11. 閉会挨拶

西日本統括リーダー

L 坂本 恵市

※東日本統括リーダーL 橋本 修一、音声不具合の為挨拶はL 坂本へ急遽変更。

様々な問題に対して前向きに考えていただけるということを確認出来る会議であった。

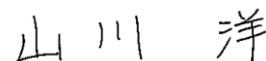
今まで活動し辛かったアラート委員会であるが、リーダーシップでもって、また、我々班長、委員の方々一丸となって盛り上げていきたいと思うので今後ともよろしく願いしたい。

ありがとうございました。

議事録作成人 336 複合地区アラート委員 高岡 英治



議事録署名人 一般社団法人日本ライオンズ アラート委員会委員長 山川 洋



承認年月日 2021年9月29日

2021-22年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議（ウェブ）

日 時：2021年10月7日（木）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
国際理事	永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
委員長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
編集長	星野 勝美（333複合地区／群馬県・太田ライオンズクラブ）
委員	吉原 成昌（331複合地区／北海道・苫小牧ハスカップライオンズクラブ）
委員	高堂 裕（332複合地区／秋田中央ライオンズクラブ）
委員	山邊 正重（334複合地区／長野県・上田城南ライオンズクラブ）
委員	玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
委員	吉田 勲（337複合地区／福岡県・北九州紫水ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 PRマーケティング委員長	古川 隆（337複合地区議長／福岡くしだライオンズクラブ）
事務総長	菅原 雅雄（東京堀留ライオンズクラブ）
欠 席：国際理事	川島 正行（茨城県・土浦北ライオンズクラブ）
国際理事	渡部 雅文（岡山県・倉敷西ライオンズクラブ）
委員	大屋 保（330複合地区／埼玉県・川越ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）



団委員長の開会あいさつの後、藏、永田両国際理事、一般社団法人日本ライオンズの古川副理事長からあいさつがあり、団委員長、星野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2021-22年度7～8月度ライオン誌関係会計報告

社団の正味財産増減計算書（2021年7月1日～8月31日）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。8月にはライオン誌の発行があり、印刷費や送料等が発生した。直接出版費は年間発行予定6回のうち1回が完了した現時点で予算消化率17.0%となった。デジタル版関連費の予算消化率は13.4%で、コロナ禍で取材回数が減ったことが影響し費用が抑えられている。

2. 印刷版関係

- 2021年11・12月号(10月20日発行)台割

「国際理事だより：川島国際理事」、「編集室：団委員長、星野編集長」。
東京パラリンピックで活躍した日本ライオンズ支援選手に関する記事を3ページで掲載、選手の写真2点を写真エージェンシーから購入した。前回委員会後、一般財団法人日本ライオンズ(旧・日本LCIF)から改称告知と事業内容、寄付報告書の掲載依頼があり、委員長、編集長で対応を検討。連載ページの休載で対応可能な1ページで改称告知と事業内容を掲載するようにしたことが報告された。今号では「国際理事会会議決議事項要約」と「日本LCIFから日本ライオンズへ」掲載のため、連載の「日本ライオンズ物語」「もう一度読みたいあの記事」は休載する。

3. ウェブマガジン関係

- 2021年10月号(10月1日更新)出来

ウェブマガジン10月号の出来を確認した。

- 2021年11月号(11月1日更新)更新予定(案)

- 2021年12月号(12月1日更新)更新予定(案)

11、12月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され、承認した。12月号「奉仕活動」は取材対象が未定の分があり、候補が固まり次第、確認する。

4. 主要記事予定

- 2021-22年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2021年9月取材経費

9月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認した。

- 2021年10月取材経費概算

10月の取材予定経費概算が提出され、承認した。ウェブマガジン12月号の取材未定分は、取材候補が決まり経費概算が提出され次第、委員長、編集長の承認により取材を進める。

5. 小委員会報告

- ウェブマガジン推進小委員会(第1回：9月30日)

ウェブマガジン推進小委員会の星野委員長から提出された第1回会議報告を確認した。報告ではまず、2020-21年度PR小委員会の成果を振り返り、ウェブマガジン普及用のPRパンフレット作成し、地区ガバナーエレクト・セミナーでPRを行うなど各地区でトップダウンによるPR効果を狙ったものの期待した成果が得られなかったと評価。社団の古川副理事長は

337-A地区の現職地区ガバナーであることから、パイロット的に地区内でウェブマガジンのPR推進に積極的に取り組んで頂けるよう依頼し、承諾を得た。続いて2021-22年度の目標として、LINEの友達登録推進、ウェブマガジンPRパンフレット活用、クラブ会長へ「ウェブマガジン普及キャンペーン」の働き掛け、印刷版のPRページ活用、サポーターの活用、ウェブマガジンのレベルアップの6項目が掲げられた。このうちLINEの友達登録に関しては、現在と同じ月3回のメッセージ配信とした場合に登録者数が1万5000人を超えると利用料が非常に高額になるため、他の手段も検討する必要がある。また、ウェブマガジンのレベルアップについて編集部のリニューアル案を確認。開設から3年半が経ってクラブ投稿が増加し、2020-21年度は「活動報告」が月平均7.9本、全体では月平均15.6本の記事を公開している現状を踏まえ、記事更新やサイト内の情報をより多く「ホーム」画面に掲載して活気のあるサイトにする案と、現在は毎月1日にしている取材記事の更新を随時更新に切り替えてより新鮮な情報を提供する案が示された。報告に続いて意見交換を行い、印刷版とウェブとの連動、クラブ例会でのライオン誌活用推進、動画の有効性などについて意見が出された。

ウェブマガジン推進小委員会の第1回会議報告を受けて、委員会は小委員会の今年度目標を了承。今後の小委員会で目標達成に向けた具体的な対策を検討する。ウェブマガジン推進はライオン誌にとって重要な案件であることから、小委員会メンバー以外の委員もできるだけ議論に加わることにした。

6. その他

●ライオン誌サポーター・アンケート

印刷版9・10月号発行後に行った今年度初回のライオン誌サポーター・アンケートの回答を確認。回答の中から特にライオン誌の改善につながりそうなコメントをピックアップし、内容を確認した。サポーターからは、ライオン誌に対して会員増強と退会防止に関する記事を求める声や、ウェブマガジンならではの動画配信を望む声が多い。これらの意見を参考にしながら誌面の改善につなげていくため、ウェブマガジン推進小委員会で詳しい検討を進める。

閉会あいさつ 団委員長

【次回開催予定】

11月4日（木）14:00～16:00（ウェブ）

一般社団法人 日本ライオンズ
2021-2022 年度 第 1 回 YCE 委員会【WEB】要録

◎日時：2021 年 9 月 29 日（水）13:30－15:30

◎場所：各 PC から接続（ウェブ会議接続システム Zoom 利用）

◎出席者：

330 複合地区 YCE 委員	青 木 秀 茂	(330-A 地区 東京吉祥寺 LC)
331 複合地区 YCE 委員	大 澤 勝 雄	(331-B 地区 釧路ぬさまい LC)
332 複合地区 YCE 委員	高 堂 裕	(332-F 地区 秋田中央 LC)
333 複合地区 YCE 委員	小 吹 勇	(333-E 地区 石岡 LC)
334 複合地区 YCE 委員	加 藤 万 寿 夫	(334-B 地区 土岐織部 LC)
335 複合地区 YCE 委員	吉 川 二 郎	(335-C 地区 奈良 LC)
336 複合地区 YCE 委員	高 橋 淳	(336-C 地区 広島デルタ LC)
337 複合地区 YCE 委員	北 由 美 子	(337-D 地区 鹿児島第一 LC)

第 1 回 YCE 委員会会議招集者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	仁 科 良 三	(334-E 地区 長野みすず LC)
委員長 (MD334 議長)	山 本 基 博	(334-B 地区 恵那 LC)
専務理事	村 木 秀 之	(330-A 地区 東京数寄屋橋 LC)
一般社団法人日本ライオンズ 事務総長		
	菅 原 雅 雄	(330-A 地区 東京堀留 LC)

オブザーバー

333 複合地区 YCE 特別委員	大 久 保 雄 司	(333-E 地区 水戸 LC)
334 複合地区 YCE 副委員長	川 嶋 秀 典	(334-C 地区 浜松葵 LC)

◎ 開会の辞

- 村木専務理事は開会を宣言し、開会のあいさつを仁科理事長に依頼した。

(仁科理事長)

◇ 私は 334-E 地区長野みすず LC 所属、ライオン歴 49 年のチャーターメンバーです。2021-2022 年度一般社団法人日本ライオンズの理事長として皆さんと共に日本ライオンズを運営していくことになりましたので、よろしくお願いいたします。

（一社）日本ライオンズにはこの YCE 委員会を含め 8 つの委員会があり、ライオン誌委員会、アラート委員会、会則委員会の会議がすでに終わっており、今後予定されている委員会会議もすべてウェブで開催予定です。昨年度、私はこの日本ライオンズ YCE 委員長をさせていただきました。今年度も委員をしていただいている高橋委員 (MD336) からこの新型コロナウイルス感染症拡大はすぐには収束しないであろうという見解をいただきながらも、各委員は早期の収束を期待していたと思いますが、今日まで引き続き派遣・受入が実施出来ない状況にあります。その状況の中、昨年度は「花の咲かない時は根を伸ばそう」ということで、YCE の長い歴史の中でそれぞれの MD で培ってきた想いや慣習など、日本全体で統一してい

るというわけでは無かった事柄について加藤委員（MD334）をはじめこの YCE 委員会で整備できるところをしてきました。YCE 委員に留任できる人は留任して欲しいとして前年度を締めくくりましたが、多くの方が留任されているので、今年度に期待したいと思います。今後、新型コロナウイルス感染症拡大は続く可能性もあると思いますが、10 月 1 日より「緊急事態宣言」が解除されることなり、行動制限も少し緩和されることを受け、「with コロナ」ということで感染症対策を十分とった上で、出来るところから集中してライオンズクラブ活動をしていきたいと思っています。今回は私が招集者ですが、次回以降は山本委員長中心にこの YCE 委員会を進めていっていただきたいと思っています。

◎ 本日の出席者確認及び進行について

- 村木専務理事は山本委員長に議事録作成人指名および議事進行を依頼し、また、出席者の自己紹介を依頼した。
- 出席者は自己紹介をした。
- 山本委員長は MD333 大久保 YCE 特別委員と MD334 川嶋 YCE 副委員長のオブザーバー参加を認めた。
- 山本委員長は前年度から 6 人の委員が留任したことに言及した。

◎ 議事録作成人の指名

- 山本委員長は加藤委員（MD334）と吉川委員（MD335）を議事録作成人に指名した。

◎ 議案

1. 基本方針の確認

- 山本委員長はライオンズ国際協会ウェブページ掲載の YCE 基本方針を示し、YCE 事業の目的を確認し、この事業が 60 年続いてきた意義について言及した。

2. YCE 委員会の引継ぎ報告

- 山本委員長は YCE 引継ぎ報告についての説明を加藤委員（MD334）に求めた。
- 加藤委員（MD334）は下記の事項について説明した。
 - 前年度「複合地区 YCE 委員長の手引き」「幹事旅行代理店業務内容（例）」「YCE 不測事態によるキャンセル時と緊急時連絡方法」「派遣生の出発前オリエンテーション資料」「YCE リーダー・サブリーダーの手引き」を実態に則した分かり易い資料に改訂した。
 - 2021 年冬期交換の中止が申し送られた。
 - 前年度、加藤委員（MD334）より提案があった「YCE 海外交渉通信窓口」制度について本年度に協議すること、そして、協議するにあたり月 1 回の会議開催の要望について申し送られた。
 - 仁科前 YCE 委員長から委員会名称を YLO とし、YCE 事業、LEO および YCE-OB 会活動が青少年育成事業を総合的に推進できる体制を整えたいとの提案が申し送られた。
- 北委員（MD337）より前年度改訂した資料を編集可能なワード形式資料の要望があり、今年度の各委員および写しを各 MD 事務局に送ることとした。

3. 本年度の審議事項

（1）2022 年春期・夏期交換について

- 山本委員長は 2022 年春期・夏期について各委員の意見を求めた。
 - 青木委員（MD330）は窓口国の春期交換タイおよび夏期交換 MD4 との通信内容について下記のように報告した。
 - ・ タイ（MD310）新委員長 PDG スパに「日本において新規感染者数は減少傾向にあるが交換実施は困難である」と伝えた。それに対しタイは「新規感染者数は減少していないが、交換実施については新規感染者数だけではなく他の要素も加味する必要がある、引き続き情報交換したい」の要望があった。
 - ・ MD4 新委員長アンジェラ・ルイス氏から「ユースキャンプ日程は 2022 年 6 月 27 日～7 月 2 日、7 月 3 日からはロサンゼルスとサンフランシスコにてホームステイを予定している。申請があれば参加可能である。」との情報を得た。それに対し青木委員（MD330）は「6 月下旬から 7 月上旬は学校の問題があり参加は困難であるため、例年通り 8 月で企画できるかどうか。また、日本における新型コロナウイルス感染症拡大状況があるので、参加できるかどうかの判断はもう少し時間がかかる。」と伝えた。
 - 青木委員（MD330）は日本ライオンズ YCE 事業（ユースキャンプ及び交換）の実施、中止の判断基準について、山本委員長に質問した。
 - ・ 山本委員長は青木委員（MD330）の質問に対し、YCE 事業の実施・中止の判断については各通信窓口国の情報を得て本委員会にて決定すると回答した。
 - 大澤委員（MD331）は MD331 各準地区 YCE 委員長とウェブで会議をし、前年度の申し送り事項を報告した。そして、現在、各準地区で伝えていただいている状況である。10 月 12 日 MD331 ガバナー協議会に MD331 各準地区 YCE 委員長が出席するので、その時に本日の本委員会内容を伝えると回答した。
 - 高堂委員（MD332）は MD332 では未だ委員会会議を開催していないが、準地区 YCE 委員長と個別に情報交換をしている状況であり、その中で交換の実施もしくは中止決定の時期などプロセスについてどのようになっているのかという疑問の声が多々あったことを報告した。そして、MD332 内において新型コロナウイルス新規感染者数はそれほど増加しているわけではないが、青少年たちを集団で派遣、受入することは現在の状況においては困難であり、当分の間、交換実施は難しいであろうという感覚であると述べた。
 - 小吹委員（MD333）は 8 月 25 日に MD333YCE 委員会会議を開催し、全国の複合地区と一部の通信窓口国を対象に今後の YCE 事業についてリサーチをした結果、現在のコロナ禍においては派遣・受入は困難であり、2022 年 YCE 事業の実施は不可能であろうという意見が多かったと報告した。そして、本委員会各委員の意見、方向性を確認した上で判断する状況であると述べた。
 - 加藤委員（MD334）は MD334YCE 委員会を 7、8、9 月と 3 回開催し、下記の理由により 2022 年春期・夏期交換の中止を本委員会に提案することを決議したと報告した。
 - ・ 現在の状況において 2022 年春期交換は不可能である。

- ・ 夏期派遣の予備調査は例年 9 月下旬から開始する関係上、今回の本委員会第一回会議にて 2022 年夏期交換の実施もしくは中止の決定をすべきであり、現在の状況においては中止すべき。
- 吉川委員(MD335)は今年度 MD335YCE 委員会を 2 回開催予定であったが、緊急事態宣言によりいずれも中止となり 10 月 4 日に開催予定であるので、各委員と個別に情報交換をした結果、2022 年夏期交換について「派遣生募集に応募があるかどうか、また、ホストファミリーの受け手があるかどうかという点において」困難であろうという意見が多かったと報告した。
- 高橋委員 (MD336) は MD336YCE 委員会会議未開催であるので、高橋委員個人の所感として、春期・夏期交換実施の条件は「2 週間という自主隔離期間が必要なくなる事」「新型コロナウイルスが通常の風邪と同じくらい大きく弱毒化する事」「内服の特効薬が開発される事」であり、現在の状況からすると今後、3 年くらいは YCE 事業の実施は不可能との印象を持っており、2022 年春期・夏期交換は中止の決定をすべきであると述べた。
- 北委員 (MD337) は MD337 の窓口国は 6 ヶ国あるが現在は交換実施もしくは中止の日本の決定を待っている状況である。MD337YCE 委員に個別に確認したところ、派遣については海外の新型コロナウイルスを恐れ、派遣申請が無い、来日についてはホストファミリーのなり手がいないとの予測があり、また、9 月から 2022 年夏期派遣の準備が始まっているので、本委員会の決定を待っていると述べた。
- 山本委員長は各委員の意見を聞いた上で、安全性を最優先に考えなければならない事業であるとの理由により 2022 年春期・夏期交換は中止すべきとして、各委員の同意を求め、全員一致で 2022 年春期・夏期交換中止を決定した。

(決定事項) 2022 年春期及び夏期交換は中止とする。

(2) 日本ライオンズ YCE 委員会 会議開催日程について

- 山本委員長は本委員会の 2022 年春期・夏期交換中止の決定を受け、交換事業がある場合の YCE 委員会活動計画とは大きく変更となるが、日本ライオンズ YCE 事業の課題を協議する必要がある、基本的に月一回の会議開催を目指すことを提案し、各委員は承認した。
- 山本委員長は 2022 年冬期交換について今年度末くらいから検討を始めたいとの意向を示した。

(3) 日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムについて

- 山本委員長は日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムについて加藤委員 (MD334) に説明を求め、加藤委員はスライドを使用し、「通信担当窓口としての役割の確認」および「日本ライオンズ YCE 海外交渉通信窓口システムの概要」について説明した。
- 加藤委員 (MD334) は下記の MD334YCE 業務の課題および方向性について説明した。
 - YCE 業務担当事務局員が 2023 年 3 月に定年となる。

- MD334 は通信窓口としてヨーロッパ 29 カ国を担当している。
- YCE 業務に精通している事務局員不在となった場合は、MD334YCE 委員会委員 7 人で通信業務を担当する必要があるが、29 カ国と通信業務を行うには困難が多い。
- 前年度、今年度の MD334YCE 委員会において YCE 通信業務を YCE 委員のみで行う場合について協議を重ねた結果、3 カ国であれば可能かもしれないという結論に達している。
- 通信する国を 29 カ国から 3 カ国に減少させた場合、日本全体の交換数の減少が考えられる。
- 日本全体の交換数減少を解決することについて本委員会にて協議したい。
- 前年度、本委員会において MD334 は担当しているいくつかの通信窓口国を他 MD で担当することの可能性について尋ねた。
- 加藤委員 (MD334) は MD334YCE 業務の課題について集合での協議を要望した。
- 山本委員長は MD334 の課題について、各 MD にこの課題の再認識と理解を求め、各 MDYCE 委員会での協議を依頼し、今年度中に何らかの結論を導きたいとした。
- 吉川委員 (MD335) より加藤委員がスライドで説明した交換数はキャンプ参加者も含むかとの質問があり、加藤委員はキャンプ参加者も含めた交換数であると回答した。
- 吉川委員 (MD335) よりヨーロッパの国を通信窓口国として担当する場合、ヨーロッパ YCE 委員長会議への出席義務があるかと質問があり、加藤委員はヨーロッパ YCE 委員会に出席しない国もあり、必ずしも出席する必要はなく、その場合はメールなどによって通信すると回答した。
- 北委員 (MD337) は MD334 が担当しているいくつかの窓口国を MD337 が担当することについて前向きに検討していると述べた。
- 北委員 (MD337) は担当窓口国との契約について、各 MD に下記の項目について調査を依頼した。
 - 契約書の有無
 - 契約書の内容
 - キャンプ情報入手過程
- 北委員 (MD337) は担当窓口国との契約については日本レベルで統一し、その契約書を元に各国と交渉した方がよいと意見を述べた。
- 北委員 (MD337) は YCE 業務担当事務局員の退職という課題は各 MD とも共通した課題であるとして、下記のアイデアを提案した。
 - 日本ライオンズが一括して YCE 海外交渉通信を行い、派遣・来日の分配をする。
- 北委員 (MD337) はライオンズクラブ国際協会 YCE ディレクトリ (YCE 委員長情報およびキャンプ情報) に言及し、現在、YCE ディレクトリへの登録がはっきりされていない様子であるので、日本ライオンズにて YCE ディレクトリへの登録について確認を依頼した。

- 青木委員(MD330)は前年度田中委員より引継ぎがあり、9月初旬のMD330YCE委員会においてMD334の課題について「2ヵ国くらいは担当してもよいかどうか」について協議をし、継続審議中であると報告した。
- 青木委員(MD330)はMD330YCE委員会会議にて通信窓口制度を縮小して、各MDが国際協会YCEディレクトリにYCE委員長情報およびキャンプ情報を登録し、MD単位でYCE事業を行うという方法についても議論され、この方法も選択肢として模索することが可能かどうかも本委員会での意見も参考にしながら10月のMD330YCE委員会会議にて協議していきたいと述べた。
- 青木委員(MD330)は加藤委員(MD334)が示したスライド資料送付を希望し、山本委員長は加藤委員にそのスライド資料の配布を指示した。

(4) ユニフォーム・頒布品について

- 山本委員長はユニフォーム・頒布品について加藤委員(MD334)に説明を求めた。
 - 加藤委員(MD334)はYCE派遣生ブレザーの注文は地区キャビネットで取りまとめをして取扱業者に注文する必要があると説明し、山本委員長は加藤委員に今年度の注文用紙を作成し、地区で取りまとめて注文するように指示をした。
 - 加藤委員はグローリーシバタ製頒布品の価格について確認するとした。
 - 加藤委員はチヂキ社製YCE交換ピン・スティックについて今年度、発注して次年度用に準備しておくべきかどうかを確認したいとし、山本委員長は各MDにチヂキ社製YCE交換ピン・スティックの在庫を確認するよう指示した。

(5) アプリケーションフォームについて

- 加藤委員(MD334)は10月開催ヨーロッパYCE委員長会議で検討予定のアプリケーションフォーム改訂について説明した。

(6) その他

- 2022年春期・夏期交換中止は11月10日開催予定の一般社団法人日本ライオンズ執行理事会にて承認の後、正式に文書にて発表する。それ以前は日本ライオンズYCE委員会の方向性として各準地区に伝えることとし、通信窓口国への伝達も同様とする。

次回委員会：

◇ 日時：2021年11月9日（火）13時30分～16時

場所：一般社団法人 日本ライオンズ事務所（集合）

2021年10月4日

議事要録作成人：

YCE委員(MD334)加藤万寿夫

YCE委員(MD335)吉川二郎



2021～2022 年度

第 1 回 336 複合地区 YCE・国際関係委員会 議事録

日 時：2021 年 10 月 18 日（月）13:30～15:00

使用プラットフォーム：Zoom

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄	○
336 複合地区 YCE 委員会担当ガバナー		
336 複合地区 YCE・国際関係委員会委員長	高橋 淳	○
336-A 地区 YCE・国際関係・ライオンズレオ委員長	香川 洋二	○
336-B 地区 YCE・青少年健全育成（YCE 担当委員長）	伊澤 新一	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員長	川西 和雄	○
336-D 地区 YCE 委員長	瀧本 和宏	○

司会進行：336 複合地区 YCE・国際関係委員会委員長 高橋 淳

議長挨拶

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一
-------------------	-------

新型コロナウイルスの影響で、YCE 活動のみならず会員増強についても大変厳しい状況である。今後感染者を増やすことなく、WEB 会議を REAL 会議に切り替えて直接皆様とお話ができることを望む。

担当ガバナー挨拶

336 複合地区ガバナー協議会幹事（A 地区ガバナー）	蔵本 守雄
-----------------------------	-------

交流活動はゼロの状況であるが、既に新しい事業を始めている地区や、これから始めようとしている地区の動きも見えるので意見を参考にしたい。

出席者紹介

高橋委員長（336-C 地区 広島デルタ LC）

2013-2014 年度 336-C 地区 YCE 委員長 2019-2020 年度 336-C 地区ガバナー

今年度日本ライオンズ仁科理事長より話があり、前年に引き続き複合地区 YCE 委員長を留任。

A 地区（高松 LC）：香川委員長

色々なプログラムについて考えておったが実現出来なかった、今回は新しい提案について話したい。

B 地区（倉敷西 LC）：伊澤委員長

YCE は最もライオンズ活動らしい事業であり、所属クラブでは特に活発であるため、1 年間頑張りたい。

C 地区（三原 LC）：川西委員長

2020-2021 年度 336-C 地区 YCE 副委員長

事業が中止となった為内容について不明な点が残る。委員長として地区委員の方へ明確な伝達を行い、地区全体で活動について考えたい。

D 地区（大島中央 LC）瀧本委員長

2020-2021 年度 336-D 地区 YCE 副委員長

昨年、委員長の下で活動をみてきたが、まだまだ不明点も多いので勉強をしていきたい。

議 題 1. 今期の予定について

派遣、受入とも 2021 年冬期は中止で決定。2022 年夏期については、8 複合 YCE 委員会で中止予定である旨話があったが、日本ライオンズ本体からは正式に通達されていない。

福永議長より、モントリオール国際大会開催について現時点では開催予定、個人の早期登録は既に開始、団体登録等については通達が未だであるとの話があった。

議 題 2. 海外交渉窓口の追加について

高橋委員長より下記話があった。

336 複合地区は台湾と米国マサチューセッツ州の交換交渉窓口となっている。334 複合地区がヨーロッパ 28 カ国との交渉窓口となっており、業務軽減の為 2 カ国ずつでも各複合地区へ割り振って欲しいとの意見があった。昨年 1 度断った経緯があるが、皆様の意見をお聞きしたい。

A 地区香川委員長

ヨーロッパ生、アメリカ生が多くなることについては個人的には賛成である。

⇒交渉窓口の業務について高橋委員長から下記話があった。

【派 遣】

相手国委員長と募集人数、渡航スケジュール、ホームステイ先、キャンプ内容、費用を含む全ての情報をやりとりし、8 複合地区へ情報を配信、希望者を募集、派遣生情報を現地へ連絡。

※派遣オリエンテーション、申込みは幹事旅行会社へ委託。

【受 入】

相手国委員長へ、募集人数、受入期間、それぞれの学生の受入地区（330～337 のキャンプ内容とともに）を連絡、受入地区到着時帰国時送迎担当の確認、個々の学生の来日中のスケジュールを連絡、等。※来日生送迎については幹事旅行会社へ委託。

また、台湾が 2024 年に現在の 1 複合地区から 5 複合地区に分割される為、業務の負担が増えるのではないかと。

B 地区伊澤委員長

具体的にどういった業務が負担になるか分からないが、ヨーロッパのどこかの国との窓口が増える事は賛成である。

C 地区川西委員長

台湾との交換業務については、派遣、受入ともに人数が多いこと、台湾サイドの業務のスピードが遅い実状から考えると現行のままでよいのではないかと。

D 地区瀧本委員長

このままでよいと思う。

蔵本担当ガバナーより下記話があった。

ヨーロッパ生は過去の経緯において途中帰国をするケースがあり、台湾生やマレーシア生、シンガポール生についてはそのようなことはなかったと思う。こういった面から考えてもヨーロッパ窓口は引き受けない方がよいと思われる。

高橋委員長より、受入生の途中帰国は何よりも負担が大きいとの話があった。

ヨーロッパ窓口追加については断ることです承された。

議 題 3. YCE 委員会改訂資料について

※YCE 委員会改訂資料 2021 年 3 月 16 日（日本 L）

※各委員長へ配信済み。また、336 複合地区 HP 資料保管庫内“YCE 関連”の欄に PDF 版と PPT 版をアップロード。（※資料保管庫パスワード：336336）

高橋委員長より、8 複合地区委員会で頻繁に会議を重ね、有用な仕上がりであるので活動が再開された際にはぜひ活用いただきたいとの話があった。

議 題 4. コロナ禍での活動について

D 地区瀧本委員長

2021 年 3 月 8 に 336-D 内（萩 LC・長門 LC・秋芳 LC）にてオンライン国際交流事業を実施。2020 年夏に長門 LC では 2 名の高校生をマレーシアへ派遣する予定であったが中止となった。その代替え事業として派遣予定であった 5 名の高校生とフランス料理の調理法をオンラインで実施、この試みが大成功した。この試みを基にして 3 クラブ合同事業が行われた。受入予定であったイタリア生と派遣予定であった日本の高校生とで巻きずしとパスタ料理を調理し、Zoom 上でコミュニケーションをはかった。メンバーの方からは大変好評であり今年度も予定をしている。クラブ⇒ゾーン⇒D 地区での活動として今後もっと内容を詰める予定。（※詳細についてはライオン誌 2021.7 月号に掲載）

C 地区川西委員長

地区内において今年度の計画はまだ決まっていないが、外国人留学生を支援する会や日本語学校を経営されている方に話をし、コロナ禍活動が可能であれば複合地区レベルで国内にいる留学生と日本の学生とで国内キャンプ等実施出来ればと考えている。

B 地区伊澤委員長

過去派遣生となった方や受入をされた方等 YCE の OB にあたる方に加わっていただき、国内にいる留学生とのアクティビティを進めるための議論を地区内で重ねたい。

A 地区香川委員長

当初、四国内の日本人学生と留学生や技能研修生を対象に大歩危小歩危でデイキャンプを行う予定であったが、感染拡大が収束しない為断念、来年 1 月中旬頃に四国中央市にて Zoom を使用しての“おしゃべり会”を実施することとした。11 月 4 日に参加人数、トピック等を含め詳細についての最終打ち合わせを行う。この活動が成功すればライオンズレオにも広げていきたい。実施してみたい内容はたくさんあるが、コロナ禍スムーズに話が進まないことが多いので、現状可能な範囲で進めている。

高橋委員長より下記話があった。

2013 年冬にミラノからフランチェスコ君という学生が来日、2019 年ミラノ国際大会の際、パレードの後に彼のお母さんやメンバーの方に食事をごちそうしていただいた。YCE 生を通じて大人同士も交流を深められるケースもある。ぜひとも YCE を再開したい。

現在日本では、帰国後 10 日間の自主隔離が要求されるので、この状況下ではリモート交流のみが現実的である。

現状、企画を考える上でのキーワードは下記 2 つであるので、各地区でご相談いただきたい。

1. リモートでのアクティビティ
2. 国内に滞在する外国人学生とどのように交流をはかるか
ex.)2022 年夏期国内キャンプ

※キャンプローテーション：2020/10/15 開催 YCE 委員会(WEB)にて確認された。

開催年度	夏期	冬期	備考
2020 年	B,C	D	※夏期・冬期とも中止
2021 年	A,D	B	※夏期・冬期とも中止決定
2022 年	C,D	A	※夏期中止予定
2023 年	A,B	C	

その他

日本レベルでの YCE マニュアル冊子改訂版の発行は予定されていない。

蔵本担当ガバナーより、今後は“ウィズコロナ”で少々の事は皆で強行するという気持ちを共有出来れば活動出来るのではとの話があった。

高橋委員長より、世界レベルで考えると難しいがワクチンの接種率が重要なポイントになるとの話があった。

福永議長より、“ウィズコロナ”で活動を再開する為の方法論を、ぜひ医療従事者である蔵本担当ガバナーや高橋委員長には練っていただきたいとの話があった。

福永議長より、来年 5 月開催の 336 複合地区年次大会開催における感染対策ガイドラインを高橋委員長が現在作成中であり、10 月 28 日の第 2 回ガバナー協議会で提示するとの話があった。

閉会挨拶	
336 複合地区 YCE・国際関係委員会委員長	高橋 淳

年内に再度 WEB 会議を開催する。それまでに国内で日本の学生と外国人の学生を集めて出来る企画を探したい。

※キャンプローテーションについて事務局にて確認すること。

※次回会議についての日程調整は後日行う。

議事録署名人：336 複合地区 YCE・国際関係委員会 委員長 高橋 淳

承認年月日 ：2021 年 10 月 21 日

高橋 淳

2021～2022 年度
第 1 回 336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会 議事録

日 時：2021 年 9 月 28 日（火）13:30～15:30

形 式：WEB 使用プラットフォーム Zoom

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長(D 地区ガバナー)	大野 美雄	○
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会担当ガバナー		
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一	○
336-A 地区青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長	宮内 利弘	○
336-B 地区 YCE/青少年健全育成（青少年担当委員長）	壺岐 昇一	○
336-C 地区 LCIF・ライオンズクエスト・アラート委員長	橘高 寛二	○
336-C 地区青少年健全育成（薬物乱用防止・平和）・大会参加委員長	上野 寿幸	○
336-D 地区青少年健全育成委員長	守谷 光広	○

司会進行：336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長 酒井 公一

出席者紹介	
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

酒井委員長により、あらためて出席者の確認がされた。

議長挨拶	
336 複合地区ガバナー協議会議長	福永 栄一

コロナ禍でライオンズクラブ自体の運営も難しい 2 年間となっているが、社会の情勢はようやく第一ステップを迎えたと感じる。WEB 会議の場合、意思の疎通がスムーズではないケースもあるが、会議についてはいずれかの方法で今後も進めていただき、色々な問題点についての審議内容をぜひ各準地区の皆様へお伝えいただきたい。

担当ガバナー挨拶	
336 複合地区ガバナー協議会副議長(D 地区ガバナー)	大野 美雄

日本ライオンズからも全ての活動において自粛をするようとの通達があり、予定していた地区内全ての会合の中止が余儀なくされる中、顔を合わせての会議や懇親会の中で貴重な意見や情報が得られるというコミュニケーションの大切について痛感している。
青少年ライオンズクエストの活動については皆様の意見をお聞きしながら勉強させていただく。

委員長挨拶	
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

ライオンズクエストの活動の内容が全地区に浸透して活動されているのかと考えると、知らない方も多くいるのではないかと感じる。私自身もこれから更に勉強をして参りたい。

議 題 1. 各準地区における“青少年”と“LQ(ライオンズクエスト)”の活動状況について

A 地区：宮内委員長

青少年については、コロナ禍中止も相次ぎ活動出来ていない。LQ については、高知で開催予定であったが中止となった。LQ に関しては浸透率が悪いと感じている。7 月に各地区委員が高松に集まり話をした中で、実施地区は 2 地区であることが分かった。10 月に“LQ セミナー”を予定している。

B 地区：壱岐委員長

青少年に関しては、平和ポスター・作文コンテストの募集を 11 月 12 日を締め切りとして各ライオンズクラブから小学生を対象に募集を行った。LQ ワークショップについては一昨年から未開催となっているが、岡山ライオンズクラブが積極的に取り組まれているので全面的にお願いをしている。

C 地区：橘高委員長(LQ 担当)

LQ については、福山地区のライオンズクラブを中心に今年も 7 月 26 日、27 日に福山市内私学 3 校の 15 名の先生方に集まっていたいただき、講師を招いて勉強会を開催した。充実した内容であった旨のアンケートをいただいている。

C 地区：上野委員長(青少年担当)

三島ガバナーの思いもあり、薬物乱用防止「ダメ！ゼッタイ！」国連募金について、7 月～9 月末までの募金活動に力を入れている。また、クラブに「ダメ！ゼッタイ！」のうちわを 1 万 2000 部購入いただき、各地域で配布していただいた。

メインの活動となる「薬物乱用防止教育認定講座」を毎年東部地区福山と西部地区広島で開催しているが、今年度はコロナ禍の為 10 月 9 日に WEB にて開催する。現時点で、学生 30～50 人を含め総勢約 170 名の参加が見込まれており、準備を進めている。

平和ポスターコンテストについては、各クラブより 11 月 15 日までに選考された作品を送っていただき、11 月 25 日に C 地区選考会を開催、12 月 1 日までに地区ガバナーへ送る段取りである。

D 地区：守谷委員長

LQ について、D 地区では青少年健全育成委員会の担当となっている。コロナ禍昨年からの活動が出来ていない。意味のある活動であると聞いておるが環境が整っていない。その要因は構造的な問題であると思うが、基本的に学校は毎年 2 月頃には次年度の行事を全て固める為、企画を話しても既に予定が積んでいる為不可能に近い。これについては校長先生の理解が必要だとも聞いており、説得する為のノウハウも勉強し、その仕組みを引継ぎ残していくことが大切と考える。

今年度はその環境づくりを行いたい。皆様とお話出来る機会も限られているので難しいが、少しでも前に進めたいのでご指導をお願いしたい。

一方ライオンズクラブの新年度は 7 月スタートなので、前年度の委員会がケアを始めてくれない場合、学校の 4 月スタート年度には間に合わない。このケースは LQ だけではなく平和ポスター事業や薬物乱用関連の事業についても同様である。“年度をまたぐ”ことが障害となる。

LQ に限って話すと、その様な構造を超えて活動されている地区もあると思うので、そのノウハウを習得し、いかにして開催するかが重要なポイントになるのではないかと理解している。

また、ハードルは高いかもしれないが、WEB でのライセンス更新を含めた「薬物乱用防止教育認定講座」にチャレンジしてみたい。

平和ポスターコンテストについては例年通り。その他、青少年健全育成に関する事業について地区内で委員と議論したいが、今は環境がない為年度が変わってからも委員会を特別に設けて WEB で開催したいと考えている。

酒井委員長より、“年度をまたぐ事業”であるので、次年度へ向けた活動を早い時期（2 月～4 月）から始め、特に学校の先生との意思疎通が途切れない様にすることが重要である、とあらためて話が合った。

また、LQ の活動については今なお浸透しにくく、ワークショップとは何であるのか等、理解出来ていないクラブも多いのではないかとのお話が合った。

議 題 2. 2021-2022 年度平和ポスターコンテスト概要について

参加資格：2021 年 11 月 15 日時点で 11～13 歳の学生
今年度のテーマ：私たちはみんなつながっている

※コンテストの案内とキットの販売期間については、毎年 1 月中旬頃～10 月初旬頃。

2021 年 12 月 1 日（水）までに複合事務局宛で各準地区での入賞作品 1 点を送る。
2021 年 12 月 1 日（水）～12 月 13 日（月）までに議長、各地区ガバナー、酒井委員長にて MD336 内最優秀作品 1 点を選考し、12/15（消印有効）までに国際本部宛発送。

D 地区守谷委員長より下記話があった。
夏休み期間中にポスター作品を募集する団体が多くあり、競争が激しいと聞く。対抗する為に景品を配る等工夫が必要ではないかと痛感するがどの様にされているかをお聞きしたい。
また、主に小学生への依頼となると思うが、作品のレベルから考えるとかなり高く中学生レベル以上にも値するのではないかと感じ中で、中学校の美術部の中で該当する年齢の生徒さんに取り組んでいただくのがよい、との話を聞いたことがある。これについては多くの子供に考えてもらうという趣旨からそれることになるかもしれないが、1 つの方法であると考え。
また、美術や図画工作の先生の協力を得て、授業の中で描いてもらうことも可能ではと考える。
色々ノウハウがあるかと思うがよい方法があればお聞きしたい。

⇒

酒井委員長より、A 地区高知りょうま LC では、応募者には鉛筆とノート、入選者 5 名には図書カードを気持ちとして差し上げているとの話があった。

A 地区宮内委員長より、高松紫雲 LC では、入選者にはボールペン、キャビネットへ送る 1 点に選考された方については、丁度 12 月ということで、クリスマス家族会へご家族を招待してお祝いをしている。また、毎年同じ学校にご依頼をしている。

酒井委員長より、あらためて、継続と次年度へつなげる為の早期からの活動が重要であるとの話があった。

議 題 3. 各地区レオクラブの現状について

酒井委員長より、レオクラブの有無、結成の予定、結成の為に必要なことについて質問があった。

D 地区：守谷委員長
はっきりとした状況は把握出来ていない。

大野担当ガバナーより下記話があった。
現在 D 地区にはレオクラブが 1 つある。2 つあったが、前々年度末に 1 つ解散した。また、今期 1 クラブ結成するかもしれないとの話を聞いており、ぜひ実現して欲しい。

C 地区：上野委員長(青少年担当)
地区内でレオクラブについての情報はない。

B 地区：壱岐委員長
同様にはっきりとした情報がない。

A 地区：宮内委員長
1 クラブあったかもしれないが、はっきりと把握していない。
⇒ ※後に 4 クラブあることを確認した。

酒井委員長より下記話があった。

高知県では高知 LC と宿毛 LC がレオクラブを結成している。高知 LC では日本で一番最初のレオクラブが結成され、その 50 周年式典に出席した。私立高知高校の生徒と先生を中心として長年続いている。また、高知県西端に位置する宿毛市にある県立宿毛高校でも 25 年～30 年程続いている。

レオクラブは学校単位となるので、熱心な先生の協力なくして継続は難しい。特に公立高校の場合、先生の異動も伴うので、私立の学校か大学を巻き込んで、と思うが結成にはエネルギーを要する。

宮内委員長より、高松市には、高松フェニックス LC によって、香川県立高松養護学校高等部に結成された“高松しらうめレオクラブ”があるとの話があった。

酒井委員長より、A 地区には、西条石鎚 LC によって結成された、西条石鎚レオクラブを合わせて 4 つのレオクラブがあるとの話があった。

議 題 4. ライオンズクエスト (LQ) とは？

酒井委員長より、薬物乱用防止啓発活動とは少しアングルの違う青少年健全育成にあたるのではないかとの話があり、各地区の活動について質問があった。

D 地区：守谷委員長

ミーティングや関連資料を見る機会もなく、昨年の委員会でも話題にならなかった。

酒井委員長より、大野担当 (D 地区) ガバナーへ、地区の中には熱心に活動をしているクラブもあるのではないかと質問があった。

⇒

大野担当ガバナーより、下記話があった。

コロナ禍に伴い昨年度は全く活動を行っていないと思われる。

参加された先生からは高評価を得るが、過密な学校行事に組み込んでいただくことは容易ではないので、まず来年度に向けて先生への根回しが必要だと感じる。

加えて、LQ は特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD) から資金をいただき、JIYD 主導で進むが、一般のメンバーには浸透しにくい現実がある。また、JIYD からいただく資金は運用についてきつい縛りがあり正直面倒なものと感じる。

酒井委員長より、熱心に活動をしているクラブを起点として、根気よく長いスパンで取り組んでいただきたいとの話があった。

大野担当ガバナーより、クエスト、ポスターに関わらず、学校へのお願いについては人脈が非常に重要なポイントになるのではないかと話があった。

C 地区：上野委員長(青少年担当)

我が宮島口 LC では力を入れており、広島県廿日市市の 3 分の 2 の小中学校の先生方に 5 年間かけて受講いただいている。残りの何校かについては校長先生から難しいとのことで、受講していただけない。クラブの委員長が早い時期から教育長を訪問し、小中学校の先生方に参加いただくよう啓発活動をしている。昨年と今年は未開催であるが、廿日市市の先生方には、年 2 回夏休みと冬休み参加していただいている。

B 地区：壱岐委員長

岡山 LC が積極的に活動しているので、全面的にお任せしている。

A 地区：宮内委員長

数年前までは 10 年程継続したクラブがあったが現在は辞めている。高知とさみずき LC さんが熱心に活動をされているということで 8 月 26 日に予定されていたワークショップに伺おうと思っておったが中止となった。また、10 月に LQ の活動自体を理解出来ないメンバー対象に JIYD を含めて勉強会を行う予定。

酒井委員長より、下記話があった。

高知とさみずき LC は女性のみで十数名の会員から成るクラブであるが、大変活発な活動を行っている。特にクエストの活動については積極的である。8 月 26 日にワークショップ開催予定であったが中止を余儀なくされた。

熱心に活動をしているクラブをお手本としていただき、ぜひワークショップに取り組んでいただきたい。

JIYD（窓口：馬淵委員長）がワークショップの指導をすることになっている。諸々の指導や講師の派遣、LCIF 補助金についてのアドバイス等も気軽にお話しただけなので、実施はしなくとも、地区内クラブに周知していただきたい。

その他・質疑応答

大野担当ガバナーより、平和ポスター最終選考会について、MD336 内における最優秀作品を選考するという大変重要な場であるので、ぜひプロの方にも見ていただいた上で決定をしていただけないかとの話があった。

⇒

酒井委員長より、A 地区は学校の美術の先生等、審査に加わってもらってるとの話があった。

福永議長より下記話があった。

プロの方が所属されているクラブについてはその方が審査をされているようだが、ほとんどのクラブが美術の先生に依頼をしているのではないかと聞いている。

シカゴ国際大会時に歴代の作品をみたが、世界中から国際協会に送られる作品は、とても小中学生が描いたと思えるレベルではなく、やはりプロの方に任せるべきである。

C 地区三島ガバナーにもどなたか審査を引き受けてくれるプロの方がいないかお尋ねしてみる。

平和ポスターの申込みについて、キットは毎年 1 月頃から国際本部のサイトで案内されているので、学生が夏休みに入る前、6 月頃までにはお届けする必要がある。来年度へ確実に引き継ぐ為にガバナー協議会でも説明を行う。

LQ について、ワークショップ開催にあたっての JIYD への講師派遣申込みは、複合地区、準地区レベルでは出来ない。単一クラブレベルでの申し込みとなる。LCIF 補助金をいただく際には特別会計での処理が必要となり、会計年度をまたぐ部分でややこしいという問題点もある。今年度プランされた事業が来年度実行されるという考え方からみると、各準地区の LQ 担当者は今年度中に全てを計画し、例えば、岡山 LC が担当するとなると、岡山 LC から JIYD へ申請をしていただき、LCIF から拠出してもらうというスキームがクリアになっていないと実行し辛いと思う。委員長の皆様には、大変ではありますが、来年度の事業としてぜひ今期から組み立てていただきたい。

ガバナー協議会の際に協議事項として大野担当ガバナーより、本日の内容に基づいてお話をしていただくこととしたい。

上野委員長より、平和ポスターについて、C 地区は福山美術館の学芸員の方に審査を依頼しているとの話があった。

⇒

福永議長より、ぜひ MD336 の最終審査もお願い出来ればと思うので、三島ガバナーへお話ししていただきたいとの話があった。

最終審査会の賞品については、例年通り最優秀賞 1 名、優秀賞 3 名、ともに 5000 円の図書カードとする。

総 評・感想

福永議長

色々な問題点があるが、委員会の回数を増やしていただき、ぜひ今後は REAL 開催も行っていたきたい。本日は 1 回目であったが、大変内容の濃い話が出来たと感じる。

D 地区：守谷委員長

色々な話が聞けて大変為になった。特に LQ については、今後まず JIYD に連絡して関わりをもつことから始めたい。可能であれば活動風景を動画で視聴したい。

C 地区：橘高委員長(LQ 担当)

本日の話の内容をクラブやゾーンにて生かしたいと思う。

B 地区：壱岐委員長

我が鳥取いなば LC が来年 55 周年を迎えることもあり、クラブで平和ポスターの募集に関して予算を付けて力を入れてみようと思っている。LQ については岡山 LC に全面的にお願いをする。

A 地区：宮内委員長

大変有意義な会議であったと感じる。特に LQ に関して気になる点があった為、今後成功例に基づいて、C 地区宮島口 LC 様のお話を参考にしたりして取り組んでいきたい。

※大野ガバナー所用の為ご退席。

閉会挨拶	
336 複合地区青少年ライオンズクエスト委員会委員長	酒井 公一

この会議を 2 月または 3 月、5 月あたりで今後 2 回開催をしたい。開催形式についてはまだ未定であるが決まり次第お知らせする。WEB での開催であったが、議題をあらかじめ決めておればスムーズに開催することは可能である。次回会議については REAL で実際お会いして開催したいとも考えるのでぜひ今後ともよろしくお願いしたい。

議事録署名人：336 複合地区 青少年ライオンズクエスト委員会 委員長 酒井 公一
承認年月日 ：2021 年 10 月 1 日

酒井 公一